

第七十四回帝國議會 院 軍用自動車検査法案委員會會議錄(速記)第八回

會議

昭和十四年二月二十二日(水曜日)午前十時

二十五分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 山本 厚三君

理事田村 秀吉君 理事鹽川 正藏君

理事伊藤東一郎君 理事中田 儀直君

多田 滿長君 信太儀右衛門君

山田 順策君 小泉 純也君

瀧澤 七郎君 小平 重吉君

伊東 岩男君 金井 正夫君

前川 正一君

同月二十日委員三木武夫君辭任ニ付其ノ補闕トシテ今井新造君ヲ議長ニ於テ選定セリ

出席國務大臣左ノ如シ

文部大臣 男爵荒木 貞夫君

陸軍大臣 板垣征四郎君

厚生大臣 廣瀨 久忠君

出席政府委員左ノ如シ

陸軍參與官 中井川 浩君

陸軍少將 中村 明人君

文部政務次官 小柳 牧衛君

文部省專門 男爵山川 建君

文部省普通學務局長 藤野 惠君

厚生省體力局長 佐々木芳遠君

厚生省衛生局長 林 信夫君

厚生省豫防局長 高野 六郎君

厚生省社會局長 新居善太郎君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

短期現役小學校教員俸給費國庫負擔法中

改正法律案(政府提出)

兵役法中改正法律案(政府提出、貴族院

送付)

○山本委員長 是ヨリ開會致シマス、一應

御諒解ヲ得テ置キタイコトハ、午前中厚生

大臣、午後ハ陸軍大臣、若シ都合ガ付ケバ文

部大臣、斯ウ云フ風ニ今日ハ大臣「デー」ニシ

テ、質問ヲ集中シテ戴キタイト思ヒマス、厚

生大臣ニ對スル御質問モ皆サン御希望ノヤ

ウデアリマスカラ、重複ニ互ラヌヤウニ、

厚生大臣ノ質問バカリヲ御願シタイト思ヒ

マス、其ノ御合ミデ御願致シマス、成ベク

簡潔ニ御願シマス——瀧澤君

○瀧澤委員 私厚生大臣ニ御聽キシタイト

思フコトハ、段々壯丁ノ體格ガ惡クナツテ、

今マデノ乙種ノ者モ甲種ニ引上ゲナケレバ

ナラナイヤウニナツテ参リマシタ、其ノ體

格ガ年々低下シテ参リマス、國家ニ非常

ナル惡影響ヲ與ヘルモノデア、斯ウ考ヘ

テ居リマスガ、厚生省ニ於キマシテハ、國

民體位向上ニ關シテ、現在ドウ云フ施設ヲ

シテ居ラツシヤルカ、尙ホ又將來ドウ云フ

方法ヲ以テ國民體位ノ向上ニ努メラレル

カ、此ノ根本方針ヲ御尋致スノデアリマス

○廣瀨國務大臣 國民ノ體位向上ノ根本方

針如何ト云フ御質問デアリマス、是ハ我國

ノ將來ニ對シテ非常ナ重大ナ問題デアリマ

シテ、殊ニ將來ノ我國ノ東洋ニ於ケル地位

ヲ考ヘマス、是ハ非常ニ力ヲ入レナケレ

バナラヌト思フノデアリマス、之ニ付キマ

シテハ、心身共ニ立派ナ日本人ヲ作ツテ行

ク、斯ウ云フ建前デ進マナケレバナラヌ、

ソレニハ今マデドウ云フコトヲシテ來タカ、

又將來ドウ云フコトヲスルカ、斯ウ云フ御

質問デアリマス、御承知ノヤウニ私ノ省ハ

昨年ノ春ニ生レタノデ、隨テ私ノ厚生省ト

シテヤツタコトハ、一年バカリノ極ク短イ

間ニ於ケル仕事デスガ、從來内務省ノ衛生

ツテ居ツタ事ヲ引繼イデ致シ、其ノ内容ハ

各般ノ衛生行政、防疫行政、竝ニ體力向上

ニ關スル行政施設ニ付テカヲ致シ、尙ホ一

般ノ體力向上ニ關スル指導啓發ニ力ヲ入レ

テ參ツタ譯デアリマス、ソレデ將來ドウ云

フ心持デ仕事ヲヤツテ行クカト云フコトニ

付キマシテハ——此ノ點ハ非常ニ重要ナ點

デアリマシテ、厚生省ノ生レタノモ、此ノ

問題ノ爲ニ相當生レル原因ガアツタノデア

リマス、是ハ非常ニ重要ナ問題デアリマシ

テ、體力向上ニ付テハ、根本的ニ云ヘバ色々

ノ問題ガアリマス、何時デモ申シテ居ル

ヤウニ、ヤハリ國民ノ生活安定ヲドウシテ

モ根本ニ考ヘ、國民ノ自覺ニ懇ヘテ、其ノ

上デ色々施設ヲシテ行カナケレバナリマセ

ス、之ニ付テ大體私ハ二ツノ方面カラ見テ

行キタイト思ツテ居リマス、一ツハヤハリ

何ト申シテモ極クデミチニ仕事ヲ進メテ行

カナケレバナラヌ、之ニ付テハ體力管理制

度ト云フモノヲ作ツテ行カナケレバナラヌ

ト思フ、米ニ付テモ米ノ管理制度ガアリ、

馬ニ付テモ此ノ頃ハサウ云フ制度ヲ設ケラ

付託議案(審査終了ノモノヲ除ク) 短期現役小學校教員俸給費國庫負擔法中改正法律案(政府提出) 兵役法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)

ト云フ工合デ、色々ノ問題ノ管理制度ガアルノデアリマス、人ノ體力ニ付テモ、ヤハリ國家ガ全體ヲ通ジテ見テ行クト云フ建前カラ、一ツノ管理制度ト云フモノヲ設ケタラドウカト云フノガ、學術振興會ニ於テ論議サレマシタ、是ハヤハリ厚生省ニ於テ、其ノ後引續イテ體力管理制度ト云フモノヲ一ツ樹立シタイ、此ノ内容ハ要スルニ壯丁検査ミタイナコトヲ、ズット子供ノ時カラ一定ノ年數ヲ限ツテ數回行フ、壯丁検査ニ至ルマデ豫備検査ミタイナコトヲ行ツテ、サウシテ國民ノ體力ノ現狀ヲ明ニスル、ソシテ其ノ國民ノ體力ノ現狀ノ如何ニ依ツテ國家ノ對策ヲ立テ行ク、例ヘバ此ノ地方デハ斯ウ云フ疾病ガ多イ、此ノ地方デハ斯ウ云フ缺陷ガアル、又此ノ年齡ニ於テハ斯ウ云フ缺陷ガアルト云フコトガ明ニナレバ、ソレニ從ツテ國家ノ對策ヲ立テ行クト云フコトガ根本ニナル、其ノ他ニ個人的ニモ體力ノ検査ヲシテヤル度ニ、オ前ハ何處ガ惡イカラ此處ヲ治セト云フヤウニ、個人的な色々指導モ與ヘテヤル、國家ノ體力管理制度ト云フモノハ大キナ制度デアリマシテ、昨年一年準備調査ヲ致シタノデアリマスガ、本年モ尙ホ繼續シテヤル積リデアリマス、其ノ準備ヲ十分完了シテ其ノ制度ヲ立テ行ク、

之ヲヤハリ基本ニシテ、體力ノ一般的指導ヲヤリタイト云フコトヲ一面ニハ考ヘテ居ルノデアリマス、又一面ニハサウ云フ體力管理ト云フヤウナ靜的ナ制度ダケデハマダ十分デナイ、ヤハリ國民ノ體力向上ニハ熱意、詰リ動的ナ方面ガナケレバナラヌト云フコトヲ私ハ信ズルノデアリマス、體育運動ノ中ニハ、所謂武術ノ獎勵ノ如キモアリマス、其ノ他ニ色々ナル體育、運動ニ關スル獎勵方法ト云フモノモアルト思ヒマスガ、是等ハヤハリ國民ノ心持ニ懇ヘテ、動的ナ運動ヲサセナケレバナラヌト云フコトヲ他面ニハ考ヘルノデアリマス、之ヲ十分ニスル爲ニハ、全國ノ體育ノ指導網ト云フヤウナモノヲ完全ニスル、ソレカラ從來動トモスルト、體育ノ問題ガ國民的ニ考ヘラレナイデ、學校ダケト云フヤウナ風ガアツテ困ル、生レテカラ老年ニ至ルマデ、體力ノ問題ハ國民體力トシテ考ヘルノダト云フヤウナ觀念ニ國民ヲ指導シテ行ク、隨テ體育ニ關スル指導網ト云フモノヲ出來ルダケ完成シテ、ソレカラ體育ニ關スル一般の指導獎勵ト云フコトニ力ヲ入レルト云フコトヲヤラナケレバナラヌ、是ニハ色々ナコトヲ制度上ハ勿論、現ニ豫算上デモ考ヘテ居リマス、大體カラ申シマスレバ、ヤハリ國民ノ心持

ニ懇ヘテ、體育ノ指導ヲ一般的ニシテ行ク、普遍的ニシテ行ク、斯ウ云フ所ニ力ヲ入レテ居ル、ソコデ毎年ノ仕事ノ現ハレトシテ私ガ非常ニ希望シ、又是非完成シテ行カケナレバナラヌト思ヒマスノハ、我國ニ於テ體育ニ關スル毎年ノ一ツノ行事ガナケレバイカヌ、明治神宮體育大會ト云フモノヲヤハリ國民ノ動的ノ働キノ中心ニ考ヘテ行キタイ、從來ノ明治神宮體育大會ハ東京ダケデアツタノデアリマスガ、私ノ考ヘテ居ルノハ、之ヲ全國的ノモノニシタイ、サウシテ體育ニ關スル毎年ノ國民的大祭ト云フコトニシテ、此ノ明治神宮體育大會ト云フモノヲ行ツテ行キタイ、全國町村デ以テ廣クヤツテ行キタイ、サウシテ毎年ノ行事トシテ體育ニ關スル熱意ヲ表ハサシテ行クト云フコトヲ一面ニハヤラナケレバナラヌ、勿論明治神宮體育大會ト云フモノハ、是ハ從來トハ餘程趣ヲ異ニシテ、之ヲ我國ノ特色アルモノニ出來ルダケ其ノ内容ヲ改メテ行ク、サウシテ之ヲ只今申シマシタ如ク、國民ノ體育方面ニ關スル毎年ノ重大行事ト致シテ行キタイ、斯様ナコトヲ根本ニ考ヘテ居リマス、ソレデ私ノ考ヘテ居ルコトヲ一言ニシテ申シマスナラバ、動的方面ニ於テハ、ヤハリ體育ノ獎勵ト云フコトヲ徹底

スル、靜的方面ニ於テハ、今ノ體力管理制度ト云フヤウナモノヲ作ル、斯ウ云フコトヲヤラナケレバナラヌ、勿論是等ノ根本ニ於テハ、國民生活ノ安定デアルトカ、或ハ國民ノ自覺デアルトカ云フモノニ懇ヘテ、啓蒙運動或ハ經濟運動、衛生運動ト云フヤウナコトモナケレバナラヌト思フノデアリマスガ、ソレ等ノ基礎ノ上ニ、主トシテ今申上ゲタ二ツノ根本方針ヲ立テテ、其ノ根本方針ニ向ツテ總テノモノヲ適合サシテ行ク、結論トシテハ心身共ニ立派ナ日本人ヲ作ル、斯ウ考ヘテ居リマス

○瀧澤委員 只今大臣ヨリ將來ノ指導方針ヲ承リマシテ、洵ニ御尤ノコトト存ジマスケレドモ、私ハモウ少シ根本的ニ考ヘテ戴カナケレバナラヌト思フ、今度ノ豫算ニモ乳幼児保護ト云フモノガ出テ居ルサウデアリマスガ、既ニ此ノ乳幼児保護ト云フコトデ、ソコニ乳幼児ノ營養食糧ニ關シテノ考ヘ方ヲ持ツテ居ラレル筈デアリマスガ、私ハ是ガ根本デアリ、進ンデ吾々ノ體位ノ低下シタ原因ハ那邊ニアルカト云フコトヲモウ一ツ考ヘテ戴カナケレバナラヌト思フノデアリマス、私共日本人ハ數千年前カラ米ニ依ツテ、即チ五穀ニ依ツテ此ノ體位ヲ維持シテ參リマシタ、而シテ戰國時代ノ書物ヲ見

マシテモ、或ハ戦記ヲ見マシテモ、或ハ今
日色々ナ書物ニ依ツテ見マシテモ、例ヘバ
加藤清正ガ八貫目ノ三尺ノ兜ヲ被ツテ、ア
ノ大身ノ槍ヲ提ゲテ戦フ、ソレニ從フ武士
其ノ他モ鎧ヲ著テ、今日以上ノ力ヲ以テ戦
場ニ馳驅シタコトハ、御承知ノ通りデアリ
マス、アノ體格ト雖モ、是皆米ニ依ツテ維
持サレテ居ルノデアリマスケレドモ、私ハ
日本國民ノ體位ノ低下ハ、専ラ榮養上主食
デアル所ノ米、味噌ト云フコトニ關シテ、
モウ少シ徹底的ニ御研究ニナラナケレバナ
ラナイコトダラウト思フノデアリマス、米
ノ分析ナドヲ見マシテモ、良イトカ惡イト
カ或ハ玄米ガ良イトカ、白米ガ良イトカト
申シマシテモ、其ノ分析表ニ現ハレル所ノ
數字ト云フモノハ極メテ僅ナモノデアアル、
此ノ僅ナモノガ——或ハ海軍デ玄米食ヲ採
用サレタトカ、或ハ白米食ヲ禁止サレテ、
麥ヲ澤山使ツタラ脚氣ガ起キナイトカ云フ
コトデアアルガ、其ノ分析ト雖モ、表ニ現ハ
レタ所ハ極メテ微量ナルモノデアアルガ、其
ノ結果ハ重大ニナツテ居リマス、私共ガ健
康ト云フ上カラ、今日國民體位ノ低下スル
ノハ何デアアルカト考ヘタ時ニ於テ、私ハ我ガ
日本ニ於テ精白ヲ非常ニ好シク食ヘルヤウ
ニナツテ來テカラ、吾々ノ體位ハ段々劣ツ

テ來タ感ジテ私ハ持ツテ居ル、専門家デアリ
マセヌカラ私ハ左様ナコトヲハツキリ申
上ゲラレマセヌガ、私ハ爾ク痛切ニ感ジテ
居ル、吾々ノ子供ノ時分ニ食ヘル米ハ、一俵
搗キマシテモ手搗デアル場合ニハ小糠一升
カ一升五合シカ出マセヌ、今日ハ一斗ノ小
糠ガ出テシマス、其ノ小糠カラ立派ナ油ヲ搾
ツテ榮養ノアルモノガ亞米利加邊リニ澤山
出來テ居ルノデアリマス、斯ウ云フ良イモ
ノヲ日本デ造ツテ外國ニ賣渡シテシマツテ
居ルト云フヤウナコト、ソレガ一面ニ於テ
體位ノ低下ニナリハシナイカト云フコトヲ、
私ハ密ニ憂ヘテ居ル者デアリマス、兎ニ角
小糠ト云ヒ、麩ト云ヒ、アア云フモノハ馬
ノ飼料ニシテモ大變良イ飼料ニナル所ヲ見
テモ、其ノ中ニ榮養分ガ非常ニ多イト云フ
コトヲ私ハ信ジテ居ル、而シテ以前ハ農家
ニ於キマシテモ、多ク手搗デアリマス、サウ
シテ味噌トカ、野菜バカリ食ベテ居ツテド
ウシテ立派ナ丈夫ナ國民ガ出來テ居ツタカ
ト言ヘバ、今失ハレテ居ルガ、油ナドニ搾
ラレテ亞米利加ヘ輸出シテ居ル、其ノ中カラ
榮養ヲ攝ツテ居ツタカラ肉類ヲ食ベナク
モ、其ノ榮養ニ依ツテ吾々ノ立派ナル強健
ナル體格ヲ養ツテ居ツタト私ハ眞ニ感ジテ
居リマス、近來白米禁止ト云フヤウナコト

ヲ世間ニ唱ヘラレルヤウニナツテ參リマシ
タガ、私ハ此ノ主食物ニ付テ根本的ノ御研
究ヲナサラナケレバナラナイ、是ガ國民體
位向上ノ私ハ唯一ノ鍵ダラウト信ジテ居リ
マス、此ノ點ニ付テハ厚生省ニ於テハ如何
ニ金ガ掛ツテモ十分ナル御研究ヲナサラナ
ケレバナラヌ、尙ホモウ一ツ食料ノコトニ
付テ考ヘテ見マシテモ、例ヘバ吾々ノ調味
料ト致シマシテハ、以前百姓ナラバ人蔘ト
カ柿ダトカト云フモノデ甘味ヲ付ケ、或ハ
麩ト云フモノガ調味料トナツテ居ルヤウニ
解シテ居リマシタガ、吾々ノ子供ノ時分ノ
コトヲ考ヘテ見ルト、田舎ノ山ノ中ヘ入レ
バ饅頭ナント云フモノハ容易ニ手ニ入ラス、
而シテ今日デハ各種ノ調味料ガ化學作用ヲ
以テ出來テ居リマスケレドモ、私はモ
此ノ公開ノ席デ私ノ研究シタコトヲ申
述ベルコトハ甚ダ獨斷的ニ失スルカラ
此處デ申述ベルコトハ、差控ヘマスケレド
モ、此ノ調味料ヲ一夜置キマシテ又煮返シ
テ之ヲ食ベル時ニ於テ如何ニ其處ニ化學的
變化ガ起キテ來ルカ、良イ變化ガ起ルカ惡イ
變化ガ起ルカ私ハ存ジマセヌケレドモ、是
等ノコトハ本當ニ私ハ座談ノ時ニ於テ私ノ
色々經驗ヲ御話申上ゲマスケレドモ、私ハ
其ノ變化ガ良イト致シマシテモ惡イト致シ

マシテモ、ソコニ非常ナル影響ノアルト云
フコトダケハ確信シテ居リマスルガ、米ノ
問題ニ付テ御考ニナル場合ニ於テハ、ソレ
ニ調味料、副食物トシテノ總テノモノヲ御
研究ニナツテ見ル時ニ於テ初メテ日本人ガ
以前ノヤウナ立派ナ體格ノ持主ニナツテ行
クコトガ出來ルノダト、私ハ平素健康ト榮
養ト云フコトヲ考ヘテ居ル上カラ、痛切ニ
感ジテ居リマス、只今大臣ノ御述ニナリマ
シタコトハ、ソレガ主トナツテ、而シテ此
ノ方法ヲ行ハレテ行ク上ニ付テ吾々ノ體格
ヲ維持シテ行クコトガ出來ルト私ハ斯様ニ
信ジテ居リマスルガ、此ノ考ヘ方ニ付テ大
臣ノ御考ヲ承リタイト思ヒマス
○廣瀨國務大臣 龍澤サンノ御意見、洵ニ
御尤ニ存ジマス、乳兒ノ保護ヲスルトカ、
或ハ榮養ノ問題ヲ研究スルトカ、殊ニ榮養
ノ問題ニ付テ御話ガアリマシテ、是等ノ問
題ニ付キマシテハ、私ノ省ニ榮養研究所ト
云フモノガアリマス、榮養研究所デ日本食
ニ付テノ研究ヲ色々致シテ、其ノ結果ハ相
當ナ成績ヲ擧ゲテ居リマス、大體ハヤハリ
龍澤サンノ御話ノヤウナ工合ニ今進行ヲ致
シテ居リマス、米ノ問題其ノ他ノ問題ニ付
テサウデアリマス、此ノ點ニ付キマシテハ
衛生局長カラ尙ホ少シク附加ヘテ申上ゲタ

イト思ヒマス

○林政府委員 只今御述ニナリマシタ點ニ付キマシテハ、米ノ問題ニ付テ先ヅ申上ゲマス、御説ノ通りデアリマス、榮養研究所ニ於ケル研究ノ結果、昨年來、厚生省ノ出來マシタ第一回ノ全國健康週間ニ當ツテ精白度ノ低イ米ヲ食ベル、胚芽米乃至胚芽含有七分搗程度ヲ以テ國民ノ常食トスルノ運動ヲ起シテ居ルノデアリマス、御承知ノ通り此ノ點ハ詳シク申シマセヌガ、陸軍ニ於テハ既ニ十數年前カラ胚芽米ニナリ、又日露戰爭當時ニ於ケル脚氣患者ノ發生狀況カラ見マシテ明ニ精白度ノ強イ米ガ吾々ノ榮養上ニ缺陷ノアルコトヲ示シテ居リマスノデ、御説ノ通りノ運動ヲ將來トモ起シテ行ク考デアリマス、尙ホ又前提問題トシテ榮養ノ必要デアリマスコトハ、昨今各地方デ行ツテ居リマス榮養食ノ共同炊事ニ依リマシテ其ノ地方乃至其ノ學校ノ體位ノ向上ヲ致シテ居ル實例ハ多々アルノデアリマシテ、只今御申述ニナリマシタ點ハ當局ニ於テモ十分ノ留意ヲ以テ處置シテ行キタイト考ヘテ居リマス

○瀧澤委員 只今私ノ述ベマシタコトハ、研究所デモ御研究ニナツテ其ノ方法ヲ執ツテ行クト云フ御話デアリマスルガ、既ニ海

軍ニ於テモ陸軍ニ於テモ長イ間白米食ニ付テハ御研究ニナツテ居ラレコトデアリ、既ニ厚生省ニ於テモソレヲ御認メニナツタノデアリマスルカラ、斯ウ云フ非常時局ノ際ニ於キマシテ、サウシテ米ノ澤山要ル時ニ於テ、一生温クナリ、厚生省ガ斷乎トシテ力ヲ以テ白米ヲ禁止スルト云フ御考ヲ持ツテオ居デニナリマセヌカ、之ヲ伺ヒマス

○廣瀨國務大臣 米ニ搗粉ヲ入レテハイカスト云フノデ、是ハ全國ニ禁止スル方針ヲ以テ進ンデ居リマス、即チ胚芽ヲ大切ニサセヨウト云フ意味デヤツテ居リマス、米ニ搗粉ヲ入レテ搗イテハ胚芽ヲ落シテシマフノデ、米ノ榮養價值ヲナクスル、是ハ全國的ニ禁止ノ方針ヲ以テ逐次ニ進ムト云フコトデヤツテ居リマス、唯白米食ハ、此ノ問題ニ付キマシテハ永年ノ慣習ガアリマスカラ、是ハ國民ノ自覺ニ訴ヘテ成ベク白米ヲ止メテ胚芽米ヲ食ベルト云フ工合ニ獎勵ヲ以テ全國的ニ進ンデ行クト云フ方針デアリマス、之ヲ急ニ斷然禁止スルト云フコトハ少シ變化ガヒト過ギルノデヤナイカ、白米食ノ方ハ獎勵、搗粉ヲ入レテ搗ク方ハ大體ニ於テ禁止ノ方法ヲ以テスル、斯ウ云フヤウナ態度デ當分進ム積リデアリマス

○瀧澤委員 御方針デ出來得ル限リ強化シ

テ戴キタイト云フコトヲ申上ゲテ置キマス、尙ホ他ノ方ノ御質問モアルト云フ委員長ノ御注意モアリマスカラ、私ハモウツツツダケ伺ヒマス、是ハ厚生省ノ政府委員ノ御答デ宜シイノデアリマス、乳兒ヲ保護セラレルト云フコトデアリマスガ、其ノ方法ハドウ云フ風ニシテナサイマスカ、此ノ間御説明ガナカツタヤウニ存ジマスカラソレヲ御伺致シマス

○佐々木政府委員 乳幼兒ノ保護ノ爲ニ約四十五萬圓ヲ豫算ヲ計上シテ居ルノデアリマス、其ノ方法ト使ヒ方ニ付キマシテ、生レマシタ乳幼兒ヲ二三箇月經テマシテカラ檢診ラスル、是ハ自發的ニ、強制ハ致シマセヌケレドモ、成ベク兩親ニ勧誘ヲ致シマシテ、全部檢診ヲ致シタイ、其ノ檢診ノ費用ニ二十三萬圓ヲ上ゲテ居リマス、其ノ後又數箇月經テマシテカラ、更ニ檢診ラスル、是ハ一箇所ニ集メマシテ町村毎ニヤル積リデアリマス、サウシテ數回檢診ヲ致シマシテ、丈夫ナ子供ニ育テル、一人モ死ナナイヤウニスル、御承知ノヤウニ乳幼兒ノ死亡率ハ世界デ一番高イノデアリマシテ、ソレヲ一人モ殺サナイト云フ氣持デ保護シテ行キタイト思フノデアリマス、併シ唯豫算ガ非常ニ少イノデアリマスノデ、當方デ

考ヘテ居ルヤウニ實行出來ルカドウカト云フコトハ多少懸念ガアルノデアリマスガ、併シナガラ此ノ大事ナ時デアリマスカラ縣知事ヲ中心ト致シマシテ、日本醫師會ハ勿論地方ノ醫師會、看護婦會、産婆會其ノ他ノ團體ヲ總動員致シマシテ、少イ經費デアリマスガ此ノ經費ヲ十二分ニ活用致シマシテ、萬全策ヲ立テタイ、斯ウ考ヘテ居リマス

○瀧澤委員 尙ホ御聽キ致シマスガ……

○山本委員長 瀧澤君ニ御願シマス、局長ハ何時デモ參リマスカラ、ドウカ大臣ニ限ツテ御尋シテ戴キタイ

○瀧澤委員 今ノ問題ガ一寸殘ツテ居リマスカラソレヲ御聽キシタ後デ御讓リシマス、檢診ヲシテ惡カツタト云フ時ニハドウ云フ風ニナサルカ

○佐々木政府委員 其ノ兩親ニ注意ヲ致シマシテ、此ノ赤ン坊ハ此ノ點ガ惡イヤウダカラ、他ノ醫者ニ掛ルヤウニト云フヤウナ注意ヲ致シマスルシ、ソレヲ全部引取ツテ治療ヲシテヤルト云フ豫算ハゴザイマセヌガ、是ハ地方ノ知事サンニ相談致シマシテ、資力ノアル者ハ勿論デアリマスガ、資力ノナイ人ノ赤ン坊ニ對シマシテハ、又便宜ナ方法デ治療ヲシテヤルト云フ氣持ヲ持

ツテ居リマス

○瀧澤委員 私モウ少シ此ノ點デ御尋シタ
イノデアリマスガ、只今委員長ノ御話デ、
厚生大臣ニ聽クコトノミト云フ御話デスカ
ラ、私ハソレヲ留保致シマシテ後ノ他ノ方
ニ大臣ニ伺ツテ戴キマス

○山本委員長 次ノ順番ノ方ガアツタノデ
スガ、不在デスカラ伊東君御發言ヲ願ヒマ
ス

○伊東委員 國家ノ防衛力ト壯丁ノ體力ノ
良否ト云フコトハ全ク不可分ノ關係ニアル
ノデアリマス、ソコデ體位ノ向上ヲ圖ルト
云フコトガ非常ニ問題ニナツテ居リマスル
ガ、此處デモ段々承ルヤウニ、或ハ昨日カ
ラ承ルヤウニ、或ハ體位ハ段々低下スルト
云フコトガ一般人ノ常識ニナツテ居リマ
ス、然ル所陸軍省ノ御出シニナツテ居ル參
考書ニ依リマスルト、無論十二年ト十三年
ハ新體格検査ノ規格ニ依ツタノデアリマス
ルカラ、是ハ正鵠デハアリマセヌケレド
モ、表ニ依ルト段々體位ハ向上致シテ居ル
ノデアリマス、此ノ點ガ非常ニ疑シイノデ
アリマスガ、併シ私自身ハ低下シテ居ルト
信ジテ居リマスケレドモ、表ニ依ルト低下
シテ居リマセヌ、徴兵検査ノ甲種合格ノ百
分比ノ一番低クカツタ年ハ、大正カラ昭和

ヲ通ジテ昭和七年デ、此ノ時ガ千ニ對スル
二百八十、八年ハ二百八十四、九年ハ二百
八十九、十年ハ二百九十七、十一年ハ三百
十、斯ウ云フ工合ニ順次體位ガ向上致シテ
居ルト云フコトハ、ハツキリ統計ニ依ルト
示シテ居ルノデアリマスルガ、但シ十二年
ト十三年ハ別デアリマス、此ノ定義ヲハツ
キリ致シテ置クコトガ必要ダト思ヒマスル
ガ、併シ大正時代ニ比較スレバ大分違フノ
デアリマス、併シ一番低クツタ時代ヨリモ
段々高マツテ來ルノデアリマス、此ノ向上
シツツアル率ハ又低クナル時期ガ來ルト想
像サレテ居リマスルカ、此ノ儘デ向上スルト
云フ御確信ガアルノデアリマスルカ、先ヅ
此ノ點ヲ承ツテ置キタイ

○廣瀬國務大臣 伊東君ノ御質問ニナツテ
居ル此ノ體位ノ向上ノ問題ノ資料ニ關スル
コトデアリマスガ、私ハ斯ウ考ヘテ居リマ
ス、體位ガ、今ノ表ニ依ルモノハ、ソレハ
無論向上スルモノ、サウサセナケレバナラ
ヌト思ツテ居リマス、唯一般のニ見テ、體
位ガ低下スルト云フコトハドウカト思ヒマ
ス、思フヤウニ向上シナイノダト云フコト
ガ本當ナ點デハナイカ、只今ノ表ハ是ハ數
字的ニ見テ行ケバ無論私ハ向上シテ行クモ
ノ、又向上サシテ行カケレバナラヌト云

フヤウニ考ヘテ居リマス、唯一般的ノ常識
ニ依リマスト云フト、體位ハ低下ハセヌガ、
思ツタヤウニ向上ラシナイ、學校デモ非常
ニヤカマシク言フ、ソレカラ社會的ニモヤ
カマシク言フガ、思ツタヤウニ向上シナイ、
私ノ方デ一番心配ニ考ヘテ居ルノハ、實ハ
肺結核ナドハ數字ガ殖エテ居ル、ソレカラ
近視眼ナンカモ殖エタサウデアリマス、ヤ
ハリ其ノ他ノコトカラ言ツテモ思フヤウニ
向上シナイ、斯ウ云フ點ヲ私ハ心配致シテ
居リマス、只今ノ資料ノヤウナ數字ハ無論
是ハ下ルコトナカラシムルヤウニシナケレ
バナラヌモノデアリマスルシ、又下ルコト
ハナイモノダト私ハ思ツテ居リマス

○伊東委員 私ノ見解ニ依ルト體位モ、表
デハ向上致シマスケレドモ、事實ハ低下ス
ル、殊ニ體位デナクテ、體質ガ非常ニドウ
モ低下シテ居ル、斯フ私ハ考ヘルノデアリ
マス、體位ヨリモ體質、素質ガ根本的ニ惡
クナツテ居ル、殊ニ體質ノ惡イソレ自體ガ
壯丁ノ體力ニ最モ關係ガアル、國家ノ防衛
力ニ關係ガアル、又別ノ參考書ニ依リマス
ト、大正時代ニハ可ナリ良イ成績ヲ示シテ
居リマス、此ノ壯丁ノ検査成績表ヲ見マシ
テモ、昭和元年ハ三百六十七、二年ハ三百
六十五、三年ハ三百五十七、四年ハ三百五

十八、五年ハ三百七十二、六年ハ三百四十
九、七年ハ三百三十三、八年ガ三百三十一、
九年ガ三百六十一、十年ガ三百六十八、十
一年ガ三百六十二、十二年ガ三百三十五、
十三年ガ三百四十、十四年ガ三百三十七、
昭和元年ハ三百五十四、二年ハ三百四十一、
三年ガ三百二、四年ガ三百、五年ガ二百九
十三、六年ガ二百八十八、七年ガ二百八十
ノ最低ヲ示シテ居リマス、ソコデ此ノ表ニ
依リマシテモ實際體位ハ段々低下ヲ致シテ
居リマス、唯最近數年ガ段々壯丁ノ検査ノ
結果ガ宜シイ、併シ體質ハ非常ニ低下スル、
此ノ體質ノ問題ヲ如何ニスルカト云フコト
ニ付テ、先程結核ノ例ヲ御取りニナリマシ
タガ、私モ其ノ通りニ考ヘマス、體質ノ惡
イ爲ニ入營後ノ發病率ノ如キハ大正時代ト
今ヲ比レト非常ニ違フ、或ハ結核、胸膜、
其ノ他ノ罹病率モ非常ニ多イ、又平病ト云
フ過勞ニ堪ヘナイ體質ノ者ガ多イ、ソレカ
ラ外觀的ニハ立派ナ體格デアルケレドモ、
事實ドウモ體質ガ弱イ、就中體質ノ惡イノ
ト併セテ精神的ニ貧困デアル、ソコデ戰爭
ニ強イ兵隊ハ元氣デナクテハナリマセヌ、
無論困苦缺乏ニ堪ヘ得ル體質ガナケレバナ
ラナイ、所デ今度ノ日支事變ノ實際ヲ見テ
ミマスルト、先程カラ私ガ申上ゲルヤウニ、

其ノ體質ガ非常ニ悪クナツテ居ルコトハ、戰地ニ行ツテ見テドウモハツキリシテ居ルヤウデアリマス、無論今度ハ「マラリヤ」其ノ他ノ風土病ノ關係モアリマスルガ、主トシテ結核性的ノ病氣ガ非常ニ多イノデアリマス、ソレニ付テ結核療養所ヲ十三年度ニ於キマシテ、是ハ厚生省デアリマスガ、五百人定員ノモノ二十五箇所ノ場所ヲ決定サレテ、只今設備中デアリマス、是ハ何時カラ收容ガ出來ルヤウニナリマスルカ、尙ホ本年度ハ何箇所御造リニナル豫算ノ要求ガアリマスルカ、是ハ軍隊ノ方ノ關係デアリマスルケレドモ、ドウシテモ一般ノ體位向上ノ爲ニ更ニ考ヘナケレバナラスコトハ、現在日本ノ結核死亡者ハ表ニ依ルト年ニ約十三万人、少クトモ罹病者ハ其ノ十倍デアラウト私ハ考ヘルノデアリマス、而モ其ノ結核ニ罹ル者ハ國民ノ中堅層デアアル、之ニ對シテ徹底的ノ豫防治療ヲ斷行セナケレバ日本ハ肺病亡國ニナルノデアリマス、ソコデ結核豫防治ト云フ法律モ發布サレテ居リマス、就中此ノ法律ニ依ルト、公病主義、強制主義ヲ執ツテ居ラレルノデアリマス、ソコデ國家ハ唯其ノ施設ニ對スル單ナル補助位デ放任サレテ居ルコトハ、此ノ公病主義、強制主義ニ對スル矛盾ダト私ハ思フノ

デアリマス、ソコデ一番體質向上ノ上ニ關係ノアルコトハ、結核關係ヲドウスルノカト云フ根本問題デアリマスルガ、ソレニ付テハ是非共國立ノ結核療養所ヲ設置スベキモノダト私ハ信ズルノデアリマス、是等ノ諸點ニ付テ厚生大臣ノ御所感ヲ承リタイト思フノデアリマス

○廣瀨國務大臣 結核ノ問題ニ付テ御心配ノ點、洵ニ私共モ此ノ問題ハ非常ニ心配ヲ致シテ居ルノデアリマス、國家トシテ實ニ重大ナ問題デアリマス、殊ニ外國ノ結核ノ模様ナドト比ベテ見ルト、實ニ残念デアリマス、何トカ致サナケレバナラスト心配致シテ居リマス、ソコデ今ノ御尋ノ點ニ觸レテ申上ゲタイト思ヒマスガ、私ノ方デ五百人定員ノ病院ヲ傷痍軍人ノ爲ニ二十五箇所造ルコトニナリ、是ハ昨年ノ豫算デ協賛ヲ得マシテ、昨年カラ著手ヲ致シテ、現ニ千葉ノ療養所ハモウ開キマシタ、其ノ他四ツ五ツモウ開イテ居リマス、併シ其ノ外ハ今急イデ進行中デアリマス、何ニ致セヤハリ物資ノ關係ナドガ中々難カシイ、此ノ病院ヲ造ルニ要スル物ハ總テ軍用品ト同ジヤウニ取扱ツテ居ルノデスケレドモ、中々思フヤウニ行カナイ、今マデノ所ハ五ツバカリヲ開キマシタ、マダアト是カラ二十バカリ殘

ツテ居リマス、急イデ開イテ收容ヲ致ス積リデアリマス、其ノ他、現在ノ豫算ニハ要求ヲ致シテ居リマセヌガ、是ハ大藏省トノ話合デアリマシテ、必要ガアレバ何時デモ豫備金ヲ出シテ造ル、斯ウ云フコトニナツテ居リマス、隨テ必要ガアリマスレバ傷痍軍人ノ爲ノ結核療養所ハ豫備金デモ何デモ出シテヤル、ソレカラ議會ノ開カレテ居ル時ナラ追加豫算デヤルト云フコトニ致シテ居リマス、先ヅ今五ツバカリ開キマシテ、アト二十位殘ツテ居リマスガ、是ハ一杯ニナルマデニハ相當時期ガ掛ルト思ヒマス、大體ソレデ遺憾ナキヲ期シ得ルモノト思ツテ居リマス、ソレカラ一般ニ對スル結核ノ問題、是ハ洵ニ御話ノヤウニ、結核豫防治ガアリマシテモ、中々思フヤウニ結核豫防治設ガ行カナイ、ヤハリドウモ人的資源ガ一番根本デアリマスルガ、中々人的資源ニ關スル此ノ種ノ金ガ今マデ豫算上取リ得ナカッタ、是ハ非常ニ残念ナコトニ存ジマスガ、將來ニ於テハ一ツ大イニ此ノ方面ニ努力シテ行カナケレバナラスノデヤナイカ、殊ニ非常ニ大キナ死亡率ヲ有ツテ、日本ノ人口ノ問題トシテ非常ニ大キナ邪魔ヲ致サレル結核ニ對シテハ非常ナ力ヲ入レナケレバナラス、數年前ニ一定ノ計畫ヲ立テマシ

テ、三万床ノ「ベット」ヲ造ルト云フヤウナ計畫ヲ立テマシテ、現ニヤツテ居リマスガ、主ニ府縣其ノ他ノ公共團體ニ國ガ補助費ヲ出シテ作ラセルト云フ建前デ、國營ノモノハ比較的少イノデアリマス、國營ノモノハ、其ノ中三千ナリ五千位ノ「ベット」ヲ國營テ致スト云フコトニナツテ居リマスガ、是ハモツト國デ力ヲ入レナケレバナラス、同時ニ地方モ力ヲ入レテ貫ハナケレバナラス、要スルニ國民一般ニ此ノ問題ニ付テモツト強イ關心ヲ持ツテ、國家ノ將來ノ運命ニ關スル非常ナ重大ナ問題デアルト云フコトヲモツト自覺サセテ行カナケレバイカヌノデハナイカ、其ノ點ニ付キマシテハ十分御話ノ御趣旨ハ尊重シテ、將來出來ルダケノ國ノ力ヲモ入レテ行キタイ、斯ウ云フ工合ニ考ヘテ居リマス

○伊東委員 體質ノ向上ノ上ニ一番關係ノアル只今御話ノ結核ノ豫防治療ニ關スル問題デアリマスルガ、先程カラ申上ゲルヤウニ、結核豫防治ト云フ法律ヲ作ツテ國民ニ強制シテ居ル、死亡者ガ十三万人居ルト致シマスナラバ、少クトモ其ノ十倍ノ患者ガ居ルトスルト百二十三十万人デアリマス、ソレニ對シテ府縣ニ補助ヲ與ヘツツ數千臺ノ病床ヲ持ヘタイト云フヤウナ極メテ貧弱ナ方

法デハ、到底此ノ大問題ヲ解決スルコトハ
出來ナイト私ハ信ジマス、ソレデハハ非常
ニ金ノ要ルコトデアリマスカラ、豫算ノ都
合上厚生省トシテハ國立結核療養所ヲ造リ
タイト云フ氣持ハアリ、又計畫モアリ、非
常ニ熱望サレテ居ルコト思フデアリマ
ス、又國民トシテモ此ノ施設ノ如キハ人的
資源充實ノ上ニ極メテ必要デアリ、殊ニ長
期建設ヲヤルト云フヤウナニ於テ何ヲ捨
テ措イテモ私ハ人ノ問題ガ大事ダと思フ
デアリマスカラ、厚生大臣トシテモ國立ノ
結核療養所ヲ造ルト云フ御聲明ハ出來ナイ
カモ知レマセヌケレドモ、氣持ダケハ私ハ
左様ニ信ジマスガ、出來ルナラバモウ少シ
ハツキリ御答ヲ得タイト思フデアリマス
尙ホ續イテ御尋シタイトハ本會議デ私
ガ御尋シタ人口問題ノコトデアリマス、併
シハ非常ニ大キナ問題デアリマシテ、人
口ノ増殖率ニ於テ世界一デアルト誇ツテ居
リマス日本ニ於テ、段々其ノ人口ノ増殖率
ガ低下シテ參リマシテ、尙ホ御話ノヤウニ、
本年ノ如キハ三四十萬ノ減少ヲ見ルト云フ
ヤウナコトニ相成ツテ居ルヤウデアリマス
ガ、之ニ付テ先程御話ノ所謂國民ノ體力管
理制度ヲ設ケルト云フガ如キコトハ洵ニ適
切ナコトダト思ヒマス、是ト併セテ榮養食

ノ問題ニ付テモ御尋シタイトデアリマスケ
レドモ、是ハ省略致シマス、ソコデ私ノ問
ヒタイトハ、體位ノ向上、體質ノ向上、
斯ウ云フコトヲヤル一面ニ於テハ、人口ノ
増殖ヲ圖ラナケレバナラス、ソレニ付テハ
今年ノ豫算ヲ見マスト、人口問題ノ研究所
ヲ御造リニナル經費等ガ出テ居ルヤウデア
リマシテ、是ハ洵ニ結構ナコトデアリマス、
昭和十一年ノ出生兒ハ二百十九萬デアリ、
先般本會議ニ於テ本年ハ三四十萬位ハ減少
スルデアラウト云フ御答辯デアリマシタ
ガ、明年ニナルト是ガ倍加シハシナイカト
云フ憂慮ヲ持ツテ居ル者デアリマス、ソコ
デ是ハ非常ニ大キナ問題ダト思ヒマスカ
ラ、厚生大臣及ビ陸軍省ニモ一ツ御考慮ヲ
願ヒタイト思ヒマス、是ハ民族の方面カラ
モ相當考ヘナケレバナラヌ問題デアリマス、
維新當時ハ鹿兒島カラ英雄豪傑ヲ非常ニ輩
出致シタノデアリマスカ、今日ハソレ等ノ
偉イ人ガ全クナクナツテシマツタ、是ハ非
常ニ考ヘナケレバナラヌ問題ダト思フノデ
アリマス、私ノ見ル所デハ、丁度明治十年
ノ西南戦争ノ時分ニ、私ノ方面カラ士族ハ
十五六歳ノ者カラ殆ド出征シテアノ西南戦
争ニ參リマシタ、サウシテ其ノ出征シタ者
ガ殆ド全部討死致シマシタ、殊ニ其ノ當時

ノ偉イ人ノ如キハ殆ド一人殘ラズ戦死シタ
ノデアリマス、ソコデ其ノ偉人其ノ他ノ所
謂優良士族ハ——必ズシモ優良士族ト言ハ
レナイカモ知レヌケレドモ、其ノ戦争ノ爲
ニ殆ド胤切レニナツタト私共ハ考ヘテ居リ
マス、是ハ民族研究上非常ニ面白イ資料ダ
ト思ツテ居リマス、消極的ニハ先程御話ノ
ヤウニ、乳兒ノ完全ナル育成ト云フヤウナ
コトハ勿論必要デアリマス、併シ積極的ニ
ハ人口ヲ増ス途ガ必要デアル、併シ人口ガ
殖エタダケデ、身體ノ弱イ、精神ノ弱イ、
頭ノ惡イ奴ガ出來ルノハ却テ迷惑デアリマ
ス、ソコデ問題ハ今回ノ事變デ三四十萬人
モ出生ガ減少シテ居ル點カラ考ヘテ、ドウ
シテモ出征兵ノ交代問題ヲ第一ニ考ヘテ載
カナケレバナラヌ、是ハ非常ニ大切ナ問題
ダト思ヒマスカラ、陸海軍及ビ厚生省トノ
御話合モアリマセウケレドモ、是ハ軍ノ
作戰上ノ關係モアリマセウガ、厚生省ノ立
場カラ此ノ問題ニ對スル御所感ヲ先ツ伺ツ
テ、併セテ軍ノ御意見ヲモ承ツテ置キタイ
ト思ヒマス

大ナ問題デアリマス、日本ノ人口ノ増加率
ハ相當強イノデアリマスカレドモ、ヤハリ
オ隣リノ露西亞ノ如キハモット人口ノ増加
率ガ強イト云フヤウナ實情ニモアリ、ソレ
カラ大體支那ハ人口ノ増加率ガ非常ニ強
イ、大和民族ノ人口ハ、餘程増サナケレバ
イカヌノダト私ハ思ヒマス、今度人口問題
ノ研究所ヲモット大キク造リタカツタノデ
アリマスガ、ソレマデニ至リマセヌデシタ、
併シ兎ニ角第一歩ヲ進メテ、人口問題ニ付
テハ餘程聲ヲ大ニシテ社會ニ臨ンデ行カ
ケレバナラヌト思ヒマス、數モ増サナケレ
バナラヌ、質モ良クシナケレバナラヌ、大
和民族ノ大陸ニ對スル適性ト云フコトニ付
テモ非常ニ研究ヲシテ行カナケレバナラヌ
ト思ヒマス、是等ニ付テモ非常ニ力ヲ入レ
テ行カナケレバ、將來長イ間ノ國運ニ關ス
ルコトガ重大ダト思ヒマス、先ツ差詰メ出
來ルダケノコトヲヤラウト云フノデ人口問
題研究所ヲ開イテヤル、ソレカラ御話ノヤ
ウニ今年ハ相當乳兒ノ生レルノガ減ルダラ
ウト思ヒマスガ、減ツタモノニ付テモ出來
ルダケ之ヲ健全ニ育テ上ゲヨウ、是ハヤハ
リ銃後ノ國民ノ重大義務ダト思ヒマスノデ、
全國ノ衛生關係ノ團體全部ニ協力シテ貫ツ
テ、銃後ノ國民ノ義務トシテ此ノ乳兒ヲ完

全ニ育テ上ゲル、生レタ子供ハ一人デモ死ナナイヨウニスルコトガ私ハ非常ニ重大ナ問題ダト考ヘテ居ルノデアリマス、極ク僅ナ豫算シカ持つテ居リマセヌケレドモ、ヤハリ統後ノ國民ノ義務トシテ此ノ事變下ニ生レタ子供ヲ是非立派ニ育テ行キタイト考ヘテ居リマス

ソレカラ鹿兒島ノ實例ヲ御話ノ上、將來ノコトニ付テノ御心配洵ニ御尤デアリマス、人口厚生ニ關シテ立派ナ兵ガ今日現地ニ出テ居ルコトハ非常ニ重大ナコトデアリマス、此ノ點ニ付テ今交代ニ關スル御意見ガアリマシタガ、軍當局ト十分ニ連絡ヲ執ツテ行キタイト思ツテ居リマス、此ノコトハ軍ノ機密ニ關スル非常ニ重大ナコトデアリマスカラ、今ハ之ヲ申上ゲルコトハ出來マセヌガ、私共ノ見ル所ヲ軍當局ニ申述ベル積リデ居リマス

○中村政府委員 只今出征兵ノ交代問題ニ付キマシテ陸軍ノ考ハドウカト云フ御質問デゴザイマシタガ、抑、人口問題ニ付キマシテ量下質下ノ發展ニ付テ、陸軍當局ハ厚生省ト密接ナ連絡ヲ執リマシテ、其ノ向上ニ重大ナ關心ヲ持つテ居ルト云フコトハ今マデ各種ノ機會ニ申上ゲタノデアリマスガ、

儲テ此ノ人口ノ減少ニ重大關係ヲ持つテ居

リマス出征兵ノ交代ト云フ問題デアリマシガ、是ハ只今厚生大臣カラ御話ノアリマシタ如ク事件戰軍機ニ係ハルコトデ、此處デ決定的ノコトヲ申上ゲラレナイノデゴザイマスガ、前申シマシタル通り此ノ人口問題ニ付キマシテハ、陸軍トシテモ重大ナル關心ヲ持つテ居ルノデゴザイマスカラ、今後長期建設、長期作戰ノ經過ニ於キマシテハ、十分此ノ點ニ關シマシテモ重點ヲ失ハナイヤウニ厚生省トモ連繫モ致シマスシ、又全般ノ狀況モ大所高所カラ判斷ヲ致シマシテ善處スル考デ居ルノデゴザイマス、此ノ點御諒承ヲ願ヒマス

○伊藤委員 モウ一點御何致シテ置キマス、厚生省ノ關係ニ於テ小サイ問題ハ大分アリマスケレドモ、是ハ他ノ方カラ御聽願フコトニ致シマス、人的資源ト相並行シテ今年ノ議會デ最モ問題ニナツテ居リマシル生産

擴充ノ問題デアリマス、是ガ矛盾シテ居ル點ヲ如何ニ取扱フカト云フ問題デアリマシガ、ソレニ付テ青年學校ノ義務制度ガ布カレマシテ、是ハ國民教育ノ立場バカリデナクテ、軍ノ精兵主義及ビ多兵主義ノ立場カラモ青年學校ノ充實強化ト云フコトハ必要デアリマス、所デ之ニ對シマシテ一ツノ非常ナル關係ガアリマスノハ勞務ノ短縮ノ問題

デアリマス、由來農村ニ於キマシテハ青年學校ハ非常ニ出席歩合モ良クテ、殆ド義務制ヲ布カナクテモ義務制以上ノ立派ナ出席率ヲ持つテ居リマス、之ニ反シマシテ都市ハ洵ニ出席歩合ガ悪イノデゴザイマスカラ、ソコデ今回ノ義務制ト云フモノガ布カレタ其ノ結果ハ非常ニ出席歩合ヲ良クスルコトト思ヒマス、併シ其ノ義務制ヲ布カレルト、工場、店員、小僧等ノ義務ハ總テ雇傭者ニ轉嫁サレルト云フコトニナリマス、現在軍需工業ハ非常ナル勞働力ノ必要ニ迫ラレテ居リマス、其ノ他ノ工場モ生産擴充ノ爲ニ非常ニ勞力ガ要ルノデ、其ノ不足ニ困ツテ居ル、ソレヲ補充スル爲ニハ現在ハ夜業マデヤラシテ居ルト云フヤウナコトデアリマスケレドモ、是ハ別ナ勞働法ダトカ、其ノ他ノ法律ノ制裁モアリマシガ、併シ此ノ勞働時間ノ制限ヲ受ケルト、是等ノ生産擴充ニハ至大ナ影響ガアルバカリデナクテ、非常ナ苦痛ヲ此ノ事業者ハ感ズルノデアリマス、ソコデ非常ナ矛盾ヲ來シテ、事業者カラ言フト此ノ義務制度ニ對シテ反對運動ヲ起シテ居ル、所謂義務制ヲ布カルレバ勞務ノ短縮ヲシナケレバナラヌコトニ相成リマス、此ノ點政府ハドウ云フ工合ニ調節サレルノデアリマスカ、私ノ考

ヲ以テ致シマスルナラバ、國策ノ根幹ヲ成シマスル所ノ此ノ青年教育ノ徹底ト云フコトハ、國家ノ防衛力ニ非常ニ關係ガアルノデアリマシテ、是ハ相當ノ犠牲モ已ムヲ得ナイト思フノデアリマス、ソコデ此ノ勞務短縮ト云フコトト義務制度ノ履行ト云フコトヲ二ツ考ヘタ時ニ、ドウシテモ是ハ法律化シテ、サウシテ之ヲ強制シナケレバ此ノ實行ガ出來ヌデハナカラウカトモ思フノデアリマスガ、是等ノ關係ニ付テ厚生大臣ノ御方針ヲ承ツテ置キタイト思ヒマス

○廣瀨國務大臣 青年學校ノ義務制施行ニ伴ヒマシテ、工場其ノ他ニ於ケル義務履行ノ爲ニ勞働時間ノ問題ガドウナルカト云フ點ニ付テノ御心配洵ニ御尤ニ存ジマス、是ハ私ハ餘リ無理ナコトヲ致シタ所デ、青年ガ負擔ノ出來ナイヤウナコトヲ致シテハナラス、同時ニ又餘リ急激ニ事業主ニ影響ヲ與ヘテハナラヌ、此ノ方面モ考ヘナケレバナラヌト思ヒマス、生産力擴充ト云フコトモ非常ニ大切ナコトデアリマス、ソコデ今ノ矛盾ガ起キル、ドウ云フ工合ニ之ヲ調和スルカ、之ニ付キマシテハ現ニ色々案ヲ研究致シテ居リマス、サウシテ大體青年ガ負擔シ得ルヤウニ、詰リ工場ニ於テモ働イテ、其ノ上ニ授業ヲ受ケテモドウニカヤツテ行

工合ニ調節サレルノデアリマスカ、私ノ考

ケル、ソレカラ生産力擴充ノ上ニ打撃ヲ與ヘナイト云フ此ノ二ツヲ見計ヒマシテ、適當ナ時間ヲ決メテ、其ノ範圍内ニ於テ勞働モシ、ソレカラ其ノ範圍内ニ於テ授業モ受ケル、斯ウ云フ建前デ法律案ヲ今作ツテ居リマス、此ノ法律案ニ依ツテ何レ御審議ヲ受ケテ決定スルコトニナルト思ヒマスカラ、御話ノヤウニ法ヲ以テ基準ヲ決メタルト云フコトニ進ム豫定デ居リマス

○伊東委員 他ノ問題ハ後廻シニ致シマシテ、他ノ委員ノ方ニ御譲リ致シマス

○山本委員 信太君

○信太委員 私ノ厚生省所管ニ關スル所ノ質問ハ極ク小範圍デアリマス、色々同僚カラモ壯丁ノ體質ガ年々低下シテ行クト云フコトガ強調サレテ居リマス、是ハ申スマデモナク現ハレテ居ル數字ニ依ツテ雄辯ニ立證サレテ居リマスガ、單ニ唯其ノ結果論バカリヲ見マシテ焦慮シテモイカヌコトデアリマシテ、其ノ原因ハ自ラ來ル所ガアリマス、唯此ノ體力ノ増進ノ指導精神ガ缺乏シタト云ツタヤウナ抽象的ノコトデハナクシテ、其ノ來ル所ノ原因ハ色々アリマセウ或ハ其ノ國ノ産業、或ハ教育、或ハ經濟、思想上、所謂多角のナ方面カラ來マシテ、壯丁ノ體質ノ劣等ニナルト云フヤウナコト

モソレニ基因スルコトガ頗ル多イト思ヒマス、併シナガラ壯丁ノ體力ノ増進ヲ圖ルニハ、何ト致シマシテモ其ノ根幹トナルベキモノハ厚生省デアリ、又文部省或ハ軍ノ方デアリマス、色々考ヘテ見マス時ニ於キマシテ、是ハ私普段ノ持論デアリマスガ、唯其ノ時ニナリマシテ焦慮スルヨリハ、之ヲ未然ニ防グト云フコトガ爲政者ノ執ルベキ當然ノ手段デアリ、又方法デアラウト考ヘマス、第一壯丁ノ體質低下ノ中最モ主タルモノハ結核性ノ肺ノ惡イ者デアル、又近視眼ガ非常ニ多イ、外人ハ能ク、眼鏡ヲ掛ケテ寫眞機ヲ持ツテ居ル者ハ大概日本人デアルト云ツタヤウナ「ユーモア」ヲ言ツテ居リマスガ、成程サウデモアリマセウ、近視眼ノ多イト云フノハ、其ノ原因ハヤハリ家庭ニアリ、又小學校其ノモノニアルノデアラウト私ハ考ヘマス、關西或ハ四國九州、アア云フ方面ハイザ知ラズ、東北方面ヘ參リマス、一般家庭ノ採光ノ工合ト云フモノハ頗ル原始的デアリマス、又小學校ニ於テモサウデアリマス、其ノ眼ニ對スル觀念ト云フモノバ非常ニ遺憾ニ堪ヘナイ點ガ多イノデアリマス、是等ニ付キマシテハ、學校衛生ノ方面カラ考ヘテ見マシテ、百尺竿頭更ニ一步ヲ進メマシテ、之ヲ未然ニ防グ、

所謂學校衛生家庭衛生ト云フヤウナコトニ相當ノ注意ヲ拂ハナケレバ、洵ニ由々シイ問題ガ出來ルノデヤナカラウカト憂フルノデアリマシテ、殊ニ將來戰ニ對シテ考ヘテ見マス時ニ、私ハ其ノ觀念ヲ更ニ新シクスル者デアリマス

次ニ運動精神デアリマス、是ハ私ガ申スマデモナク、國ノ興隆ノ裏面ニハ必ズ「スポーツ」ガアル、國ノ輝ク力ノ裏面ニハ必ズ運動精神ト云フモノガ存在シテ居リマス、國民動モスルト此ノ運動其ノモノヲ非常ニ輕視シマシテ、一ツノ戯レデアルカノヤウニ考ヘル向キガマダ國內ニアルカノ如ク私ハ考ヘテ居リマス、日本ニ若シ此ノ運動精神ガナカッタラバ、今日ノヤウニ東亞ニ於テ萬丈ノ氣ヲ吐ク國家ノ隆盛ヲ見ルコトガ出來ナカッタト私ハ考ヘマス、斯ウ云フヤウナコトヲ考ヘテ見マス時ニ、是ハ寧ろ大藏省ノ方面ニ私何ハントスル所デアリマス、現在運動具ニ對シテ課稅ヲ行ツテ居リマス、成程贅澤ニデモヤルヤウナ運動デアツタナラバソレモ宜シウゴザイマスケレドモ、國民ノ體質ヲ向上セシムル一殊ニ小學校或ハ中學校ト云フヤウナ將來立派ナ軍人ヲ造ルト云ツタ方面ノ運動具ニ對シテマデ課稅ヲシテ居ル、甚シイノハ「ボ

ール」ニマデ課稅ヲシ、制限ヲシテ居ル、成程今護謨ガ軍需品トシテ必要缺クベカラザルモノデアルトハ申スマデモアリマセウガ、又一面次代ノ國民デアル所謂青少年ノ運動ノ道具トシテ是ガナケレバナラヌト云フコトモ争フベカラザル所ノ原則デアリ、原理デアリマス、此ノ「ボール」ニ課稅ヲシ、制限ヲシテ、殆ド今後ハ満足ニ「テニス」モヤレナイ、或ハ「スポンジ・ボール」デ野球モヤレナクナルヤウナコトニナリマスルト、是ハ體力ノ増進カラ見マシテモ、非常ニ由由シイ問題デアリマシテ、是等ノコトニ付キマシテハ能ク厚生省ノ方面カラ、比較的運動方面ニ無理解デアル大藏省方面ヘ呼掛ケテ、將來斯ノ如キコトノナカランコトヲ私ハ希望シテ已マナイノデアリマス、是等ニ對シテ厚生省ハドウ云フ御考ヲ持ツテ居ラレマス、伺ヒタイノデアリマス

ソレカラ私ハ國民ノ榮養ト云フコトニ付テ考ヘテ居リマス、私ハ醫者デモナシ、科學者デモナイカラ、數字的ニ申上グルコトハ出來マセウケレドモ、我國ノ壯丁ノ體質ノ低下ハ先程申シタ通りデアリマス、之ヲモウ少シ丈夫ニスルニハ、運動ト云フ方面モ無論アリマスケレドモ、三度々々食

バル御飯ヲ榮養化シテ立派ナル體質ヲ造

ル、所謂國民營養料理ノ立派ナル型ヲ作ツテ、之ヲ指導獎勵スルト云フコトが目下ノ急務デヤナカラウカト考ヘマス、之ニ付キマシテハ、色々厚生省方面ニ於キマシテモ對策ハアリマセウケレドモ、私ノ考デハ、ヤハリ全國的ニ講習會ヲ時々開キマシテ、營養料理ノ國家トシテ必要缺クベカラザル所以ヲ高唱シ、指導シテ行ツタナラバ、國民ノ體質モソレニ依リマシテ相當向上スルノデハナカラウカト私ハ思フノデアリマス、文化ノ進マナイ所ノ田舎ヘ參リマス、隨分偏食ヲシテ居リマシテ、三度方三度殆ド同ジ物ヲ食ベテ居リマス、是デハ迎モ體質ヲ強靱ニスルト云フコトハ思ヒガニモ寄ラヌコトト思ヒマシテ、其ノ必要ヲ痛切ニ感ジテ居ルノデアリマス、是モ厚生省ノ衛生局方面ノ御考ヲ聽キタイノデアリマス、次ニハ、是ハ厚生省ト關係ガアルカドウカ知リマセヌガ、入營兵ノ歡送迎ニ付キマシテ、是ハ或ハ陸軍、文部、厚生ト云ツタヤウナ合作デ行フ方宜イカト思ヒマス、非常ナル名譽心ナリ自信ヲ持ツテ入營スル者、或ハ赫々タル武勳ヲ立テテ凱旋スル者、是等ノ勇士ニ對スル扱ニ付キマシテハ、是ハ各部落、各町デ區々マチノデアリマシテ、所謂奔命是レ疲レルト云フヤウナ實

情デアアルコトハ皆サンモ御承知ノコトト思ヒマス、一種ノ虚禮ト言ヒマスルカ、旗五本ト制限サレタノガ、十本モ二十本モ立テル、旗ノ多イノヲ以テ其ノ意思表示ヲスルト云ツタヤウナ形式ニ流レテ見タリ、或ハ盛ニ大盃ヲ舉ゲテ、サウシテ人ノ多ク集マルコトヲ以テ得意トシテ居ルト云フヤウナコトガ非常ニ多イノデアリマス、是等ハ無論法律ヤ制度ヲ以テ制限スルト云フコトハ出來ナイデセウケレドモ、或ル何カノ力ヲ以テ之ヲ公的ノコトニノミ止メ、私的ノコトニハ全然之ヲ行ハヌト云ツタヤウナ、不文律ノ制約ト言ヒマスカ、何カノ規則的ナコトヲ設ケマシテ、貧シキ者モ富シキ者モ平等ニ喜ビテ共ニスルト云フヤウナ對策ガナイノデアリマセウカ、是ハ皆サンモ目下非常ニ體驗サレテ居ルコトト思ヒマス、貧シキ者ハサウ云フコトヲスルコトガ出來ナイ爲ニ非常ニ焦慮シテ居ル、又無理算段ヲシテ、出征軍人ヲ出ス上ニ物質的ノ苦痛ヲ彼等ニ與ヘルト云フコトハ、洵ニ忍ビ得ザル所デアラウト考ヘマス、是等ニ付キマシテハ、軍、或ハ文部、厚生省ノドチラカラデモ宜シウゴザイマスカラ、御答辯ヲ御願シタイト思ヒマス、尙ホ又引續キマシテ御尋シタイコトガ澤山アリマスガ、

以上ノ諸點ニ付テ先ヅ御答辯ヲ御願シタイト思ヒマス
○廣瀨國務大臣 國民ノ體位向上各種ノ疾病其ノ他ニ付テ之ヲ未然ニ防止スルト云フコトニ付キマシテハ洵ニ御同感デアリマシテ、此ノ方面ニ付キマシテハ尙ホ努力ヲ致シタイト思ヒマス
ソレカラ運動精神ノ問題、之ニ關聯シテ運動器具課稅ノ問題ニ關スル御質問デゴザイマシタ、運動關係ノ器具等ニ課稅スルコトハ出來ルダケ避ケテ參リタイノデアリマスケレドモ、今日ノ實情カラ申シ、各方面ノ均衡ヲ得ル建前カラ申シマシテ、洵ニ已ムヲ得ナイ此ノ程度ノ稅負擔ハシナケレバナラヌト云フコトニ相成ツテ居リマス、併シナガラ是ガ爲ニ運動ガ萎微衰退スルコトノナイヤウニ十分ナ注意ヲ致シ、又出來得ル限り原料ノ供給等ニ付テモ心配ヲ致シタイト思ヒマス、要スルニ御質問ノ御精神ハ、運動精神、其ノ潑刺タル所ヲ失ツテハナラヌト云フ御質問デアルト思ヒマス、洵ニ私御同感デアリマシテ、此ノ點ニ付テハ出來ルダケ國民ヲ明朗ニ指導シテ行キタイト思ツテ居リマス
ソレカラ營養問題ニ付キマシテハ、營養研究所ガアリマシテ、日本國民ノ營養ニ付

テ研究ヲ致シ、御話ノヤウニ講習會其ノ他ノコトモヤツテ居リマス、併シナガラマダ十分デナイ方面ニ對シテ尙ホ一段ノ努力ヲ致シタイト思ヒマス、ソレカラ歡送迎ノ問題ニ付キマシテハ、尙ホ軍カラモ御答ガアルカモ知レマセヌガ、要スルニ歡送迎ヲ實質剛健化スルコトニ付テハ洵ニ同感デアリマス、是等ニ付キマシテハ、私ノ方ノ統後後援ノ仕事ノ一ツト致シマシテモ、常ニ關係ノ府縣並ニ市町村等ニ出來ルダケノ注意ヲ喚起シテ努力致シテ居リマス、將來モ尙ホ十分ニ注意ヲ致シタイト思ヒマス
○中村政府委員 只今兵ノ歡送迎ノコトニ付テノ御感想ガゴザイマシタガ、全ク御説ノ通りデ色々ニナツテ居ルヤウデアリマスガ、軍ト致シマシテハ比年此ノ點ニ著意致シマシテ、十分精神的ニ實施ヲシテ冗費ヲ省イテ實質的ニヤレ、殊ニ非常時ノ現下ニ於テハ一層其ノ點ハ各種ノ機會、各種ノ關係機關ヲ通ジマシテ、其ノ點ニハ努メテ居ルノデゴザイマスガ、何分範圍ガ非常ニ廣イノト、又各種ノ階級其ノ他ニ互リマスルノデ、今御指摘ノヤウナ點モアラウト思ヒマスガ、此ノ點ハ精神ノアル所ヲ一層普ク徹底サセマシテ、何處マデモ此ノ時局ニ副フヤウ精神的ニ實質的ニ、而モ亦勇壯ニ剛

健ニ實施サセタイト思ヒマシテ、ソレト必要ナル注意ヲ致スコトニ一層ノ努力ヲシテ居ルノデアリマス

○信太委員 ソレカラ壯丁ノ體質ノ良否ニ付テ非常ナ關係ヲ有シテ居ルモノハ青少年ノ競技デゴザイマス、御承知ノ通り明治神宮ノ競技ハ隔年毎ニ開クコトニナツテ居リマスルガ、先年私ハ衆議院ニ建議案トシテ之ヲ毎年開クヤウニシタイト云フコトヲ提出致シマシタ、私ハ是ハ毎年開クベキガ原則デアラウト考ヘル、青少年ノ身體ノ發育ハ一日モ忽セニ出亦ナイ非常ニ微妙ナル關係ヲ持ツテ居リマス、サウシテ御承知ノ通り記録ヲ自分ガ持チ、又其ノ自分ノ記録ヲ破ツテ行カウトスル所ニ「スポーツ」ノ精神ガアルノデアリマスカラ、天下晴レテノ明治神宮ノ競技ガ隔年毎ニ開カレルノデアレバ、其ノ間士氣ガ稍、頹廢致シマシテ、自分ノ記録モ忘レ勝チナヤウナコトニナリハセヌカト云フ考ヲ私ハ持ツテ居リマス、此ノ建議案ハ幸ヒ滿場一致ヲ以テ可決サレマシテ、其ノ後所謂國民ノ聲ガ議會ニ反映シタ結果ノ實現スル日ノ一刻モ早く來ラント願ウテ居リマシタガ、最近神宮競技ヲ毎年開クコトニナツタト云フヤウナコトヲ聞キマシテ衷心カラ私ハ欣快トシテ居ルカ

第デアリマス、併シ運動競技ニ付テ全國ヲ統一ニ指導シテ立派ナ運動精神ヲ培フト云フ成案ガ果シテアルカドウカ、或ハ聞ク所ニ依ルト文部ト厚生ノ兩省ノ間ニ意見ノ——確執ガアルト云フヤウナ話ヲ玄人間デシテ居リマスガ、私ハ無論ソナコトハナイト信ジテ居リマス、運動精神ニ依ツテ日本ノ國民精神ノ陶冶ヲ圖ルコトモ亦必要ナコトデアリマス、又ソレト關聯シテ私ハ小學校ノ兒童ニ、全部ト云フ譯ニハ行カヌデセウケレドモ、比較的高級ノ尋常五年六年ノ兒童ニ擊劍ヲ正科トシテ課シテ置イタラドウダラウカト云フ考ヲ持ツテ居リマス、攻撃精神、日本精神ヲ涵養スルニハ、先ヅ小學校ノ五年六年位ノ發育盛リノ頃カラ教ヘタ方ガ非常ニ宜イノデハナカラウカ、私ハ素人デアリマスルガ、サウ云フ考ヲ持ツテ居リマス、サウシテ將來義務教育ガ八年ニナツテモ其ノ時ハ之ヲ繼承シテ延長シタナラバ、壯丁トシテ、陛下ノ軍人トシテ御奉公スル時ニ非常ニ是ガ役ニ立ツノデハナカラウカト云フヤウナ考ヲ持ツテ居リマスルガ、其ノ點ニ付キマシテ軍ノ方ノ御意向ヲ伺ツテ見タイト思ヒマス

○廣瀨國務大臣 私ノ方ニ關係シテ居ル所ヲ御答申上ゲマス、明治神宮ノ競技ヲ御話ノヤウニ將來ハ毎年施行スルト云フ方針デ進ンデ居リマス、是ハ私モ御話ノ點ニ全ク同感デアリマシテ、ヤハリ明治神宮ノ大祭トシテ國民的ニ一般的ニ施行シテ行ク、東京バカリデナク、地方マデモ是非行ツテ、サウシテ國民ノ本當ニ眞面目ナ體育ニ關スル精神ヲ發現サシタイ、斯ウ云フ工合ニ考ヘテ居リマス、隨ヒマシテ從來ノ方針ヨリモヨリ一層普遍的デアリ、又ヨリ一般的ニナルコトデアルト思ヒマス、尙ホ此ノ種ノ問題ニ付テ文部省ト厚生省トノ間ニ色々ナ行違ヒガアルト云フコトヲ言ヒマスガ、ソナコトハ全然ナイノデアリマシテ、今マデモ十分ニ協力シテ來テ居リ、將來モ決シテ其處ニ争ヒノ如キコトハナイト思ツテ居リマス、其ノ點ハ是非御安心ヲ御願シタイト思ヒマス、ソレカラ尙ホ軍カラ御答ガアルト思ヒマスガ、私ノ方トシテモ國民的體育トシテ、武道獎勵ニ付テハ特別ニ國民的ニ獎勵シテ行キタイ、斯ウ云フ考ヲ持ツテ居リマス、武道振興ニ關スル委員會等ノ經費モ盛ツテ居ルト云フノハサウ云フ所ニア

ル譯デアリマス、大體私ノ關係ノコトヲ御答申上ゲマス

○中村政府委員 軍ト致シマシテモ、國防ノ威力ノ基礎ガ國民精神ノ緊張ト體力ノ向上ニアルト云フコトハ重大ナル要素デアリマスルカラ、國民精神ヲ緊張シテ其ノ體力ヲ増進スルト云フ見地カラ、子供ノ時カラ其ノ主義ニ於テ之ヲ教育スルニ役立つ所ノ訓練ト云フモノハ最モ望マシイ所デアリマス、唯ソレヲ如何様ナル方法デ、如何様ニ實施スルカト云フコトハ、是ハ關係當局ノ主宰セラレル所デアリマスカラ、細カイ所ニ立入ルコトハ遠慮ヲ致シマスガ、只今厚生大臣カラモ御説明ノアリマシタ如ク、國民體育向上ノ手段トシテ武道ヲ採入レルト云フコトニハ軍トシテハ最モ雙手ヲ舉ゲテ贊成スル所デアリマス

○信太委員 軍ノ御意見ニハ衷心カラ満足ヲ表スル者デアリマス、何卒是ガ實現ノ一刻モ早カラント期待スル者デアリマス、幸ヒ文部大臣ガ御見エニナツテ居リマスノデ……

○山本委員長 一寸御待チ下サイ、厚生大臣ダケヲ先ニ質問ナサイマセスト順序ガ悪クナリマスカラ……

○信太委員 丁度關聯シタコトデスカラ……

○山本委員長 簡單ニ願ヒマス

○信太委員 文部大臣ガ幸ヒ御臨席ニナツテ居リマスカラ御伺致シマス、今本員ガ軍

ノ方へ——是ハ主トシテ文部省關係ノ所管ノ事項ト思ヒマスルガ、小學校ノ兒童、比較的高級ノ尋常五年、六年ト云ツタ方面ノ兒童ニ對シマシテ擊劍ヲ正科トシテ課シテハドウカト云フ御意見ヲ軍ノ方へ御聽キンマシタ所ガ、軍ノ方デハ是ハ非常ニ贊成デアアル、斯ウ云フ風ニ只今御答辯ガアリマシタ、私モ頗ル満足シタ次第デアリマス、是等ニ付キマシテ文部大臣トシテハドウ云フ御氣持デアルカ、ドウ云フ御考デアルカヲ率直ニ御伺スルコトヲ得マシレバ非常ニ欣幸トスル所デアリマス

○荒木國務大臣 武道ヲ小學校ノ高級學年ニ正科ニセヨト云フコトノ問題ハ多年ノ懸案デアリマシタガ、今回國民學校ノ制定ト共ニ武道ヲ正科ニ入ルルコトニ決定ヲ致シタノデアリマス、併シ其ノ實施ハマダハツキリ致シマセヌノデ、來ルベキ本年ノ四月以降ノ新學期ニ於テハ、出來得ルダケ速ニ準備ノ出來次第正科ニ準ジテ之ヲ施行スルコトニ決定ヲ致シテ居リマス、隨ヒマシテ或ハ學期ノ初頭ニ出來マスルカ、或ハ一箇月カ二箇月遅レルカ、準備ノ都合ニ依リマスルガ、目下之ヲ急イデ居リマス、之ニ依ツテ今御希望ノ點ハ達成シ得ルコトト斯ウ考ヘテ居ル次第デアリマス

○信太委員 厚生省方面ニ對スル私ノ質疑ハ之ヲ以テ終リト致シマス
○山本委員長 多田君
○多田委員 私ハ二三箇單ニ伺ツテ見タイト思ヒマスガ、此ノ前ノ此ノ委員會デ私ハ壯丁検査ノ下検査ノヤウナモノヲヤル意思ハナイカト云フコトヲ陸軍大臣ニ伺ツタノデアリマス、所ガ陸軍大臣ハ御答辯サレテ、——前ヲ略シマスガ、此ノ厚生省デ考ヘテ居ル所ノ豫備検査ト云フモノヲ、吾々ハ陸軍トシテ徴兵検査ニ於テ其ノ結果ヲ十分ニ利用スル、斯ウ云フ方ガ得策デアル、斯ウ考ヘテ居ル次第デアリマス、斯ウ申サレテ居ルノデアリマスガ、豫備検査ト云フコトハ我方國民ノ體位向上ニ對シテ重要ナル關係ヲ持ツテ居ルモノデアリマシテ、私ハ是非是ガ實現サレンコトヲ希望致シテ居ルノデアリマスガ、厚生省ニ於テハ之ヲ實行スル御意思アリヤ否ヤ、若シ實行スルト致シマスレバ、何時カラ之ヲ實行スルカ、年齢ニ付テハ下ノ程度ノ者ニ對シテ之ヲ實施スルカ、如何ナル方法デヤツテ行クノデアルカ、其ノ得タル結果ヲ如何ニ之ヲ利導シテ行クカト云フ具體的ノコトヲ一ツ伺ヒタイト思ヒマス

○廣瀨國務大臣 只今多田サンカラノ御質問ハ非常ニ是ハ重大ナ問題デアリマシテ、私ノ方ノ所謂體力管理制度ノ内容ヲ成スモノデアル、之ニ付テハ既ニ軍並ニ吾々ノ方ノ文部省其ノ他ト皆協力ヲ致シマシテ、二三年前カラ研究ヲ致シテ居リマス、學術振興會ニ於テ是ガ非常ニ研究ヲサレタ、ソレカラ後ニ厚生省ガ生レル際ニ、是ハヤハリ厚生省ニ於テ此ノ問題ノ研究ヲシテ實現ヲ圖ラナケレバナラヌコトニ相成ツテ居ルノデアリマス、併シナガラ國民體力ノ管理ト申シマスルコトハ非常ニ複雑デアリ、非常ニ大キイ、中々簡單ニハ參ラス、ソレデ昨年ハ極ク一部分ノ準備的ノ調査ヲヤツテ見マシタ、是ハ金額モ少カツタノデアリマスカラ、マダ非常ニ不十分デアリマスガ、今年ハ尙ホ準備ノ検査ヲ致サウト思ツテ居リマシテ、二十五萬圓カノ豫算ヲ盛ツテ居リマスガ、之ニ依ツテ現實ニ體力管理ノ準備ノ調査ヲヤツテ居ル、ソレデ現實ノ調査ハ各町村ニ付テ一定年齢ノ子供ヲ集メテ、サウシテソレニ對シテ體力並ニ精神力等ニ付テ一定ノ方式ニ依リマシテ調べテ、其ノ町村ノ實情並ニ其ノ年齢ノ子供ノ實情ト云フモノヲ調査ヲ致シテ居リマス、是ハ壯丁検査ニ至ルマデノ間ニ數回ヤハリヤラナケレバイカヌト思ヒマス、サウシテ例ヘバ乳兒ノ時ノ國

民ノ體ノ模様ハドウダ、三年後ハドウダ、學校ニ入ツテ後ハドウダ、壯丁検査ノ前ハドウデアルカト云フヤウナコトマデ全部ヤツテ指導シテ行ク、同時ニ國家ノ衛生行政ノ對策モソレニシツクリ合セテ行ク、仕事ガ文部省デアラウト、厚生省デアラウト、總テ體格ニ關スル行政ハ體力管理ニ合セテ行ク、ソレカラ又地方的ニ疾病ノ實情モ違ヒマセウシ、健康ノ實情モ違ヒマセウカラ、是モ亦地方的ニモ合セテ行ク、併シナガラ兎ニ角何百万人ノ人ヲ相手ノコトデアリマスカラ非常ニ重大ナコトデアアル、要スルニ身體ノ戶籍簿ヲ作ルト云フコトニナリマス、來年ハ五十萬人位先ヅヤツテ見ヨウト思ヒマス、來年ヤル所ハ、或ル場所ハ一ツノ縣殆ド全部ニ互ルカモ知レマセスガ、全國的ニ數箇町村ヲ選ンデ實際ノ壯丁検査ノ前ノ年齢、十八九ノ者ヲ一遍ヤツテ見ヨウト思ヒマス、併シ全部ニハマダ及ビマセヌガ、實際ニヤツテ模様ヲ見ヨウト思ヒマス、サウシマシタ結果ヲ見テ政策上ニ注意スベキ點ガアレバ注意スル、同時ニ又サウ云フ資料ニ依リマシテ、ドウ云フ工合ニ體力管理ノ内容ヲ決メテ行ツタラ宜イカ、又之ヲ決メル際ニハ町村役場トノ關係モ起リマシ、ソレカラ帳簿、臺帳等ノ關係モ起リマ

スシ、色々ナ問題方起リマスノデ、ソレ等ノ問題ヲ段々決メテ行キタイ、今年十分ノ調査ラシテ、直グ來年カラ實現スルト云フコトハ或ハ困難カモ知レマセヌガ、出來ルダケ早く法制化シナケレバナライ、同時ニ豫算化シテ、國民ノ體力ニ關スル基本的不臺帳、基本的ノ統計ヲ作リマシテ、其ノ結果ハ、陸軍大臣ハ豫備檢診ト云フ言葉ヲ御用ヒニナリマシタガ、大體ソレニ當ルト思ヒマス、豫備檢診ヨリモモツト先ノ子供ノ時カラヤツテ行ク積リデアリマス、サウシテ少クトモ壯丁檢査マデハ行ク、斯ウ云フヤウナ積リデ進行致シテ居リマス

○多田委員 其ノ問題ハ我ガ國民ノ體位ニ關スル根幹ヲ成スモノデアリマシテ、只今厚生大臣カラ相當詳シイ御説明ヲ伺ツテ私ハ満足スル者デアリマスガ、更ニ一段ト御力添ヲ願ツテ、來年五十万ト申サレテ居リマスガ、五十万位ヅツヤツテ居ツタノデハ容易デハアルマイト思ヒマス、百万、百五十万ト云フヤウニ數ヲ増加シテ御檢診ヲ願ツテ、得タルモノヲ我ガ國民體位向上ノ問題、或ハ社會政策上ノ問題、或ハ經濟上、政治上有ユル問題ニ之ヲ利用シテ行カレルコトヲ特ニ希望致シテ置キマス

第二ニ伺ヒタイコトハ、先程來委員ト大

臣トノ應答ヲ伺ツテ居リマスト、我ガ國民ノ體位向上ハ主トシテ肉體問題ノコトニ付テ御注意ガアルヤウデアリマス、勿論サウアルベキデアラウト思ヒマス、例ヘバ運動ヲヤラセル、或ハ榮養ノ研究、人口問題ノ研究、是ハ洵ニ結構デアリマスケレドモ、私ハ國民體位ノ向上ニ付テ特ニ忘レルコトノ出來ナイ、氣ヲ付ケナケレバナラヌ大キナ問題ハ精神方面ノコトデアルト思ヒマス昔カラ健全ナル精神ハ健康體ニ宿ルト申シテ居リマスガ、健康體ハ健全精神ニ依ツテ始メテ培ハレルト申シテ宜カラウト思フノデアツテ、精神、肉體共ニ相伴ウテ行カナケレバ完全ナル體位向上ト云フモノハ不可能デアルトスラ考ヘテ居ルノデアリマス、此ノ點ニ付テ厚生大臣ハ如何ニ御考ニナラレマスカ、又ドシナ具體的ノ方法ヲ以テ此ノ精神方面ヲ體位向上ニ織込ンデ行カレヨウトスルノデアアルカト云フコトヲ伺ヒタイト思ヒマス

○廣瀨國務大臣 御話ノ點ハ全く御同感デアリマシテ、國民體位ノ向上ト云フコトハ心身共ニ向上サセナケレバナラスト思ヒマス、之ニ付キマシテ如何ニ精神方面ニ力ヲ注イデ居ルカト云フコトハ、先程モ申上ゲタ積リデアリマスガ、明治神宮ノ體育大會

ト云フモノヲ體位向上ニ關スル一ツノ中心ニシテ行カウ、斯ウ云フコトヲシテ精神的方面ニ力ヲ入レル、明治神宮ノ有難サニ當ニ心ヲ入レテ行カウ、斯ウ云フ點ニ重キヲ置イテ居ル次第デアリマス、而モ從來ノヤウニ明治神宮體育大會ガ東京ダケデヤルト云フコトデナク、將來ハ全國的ニ全國ノ市町村ニ出來得ル限リ普遍化シテ、一定ノ儀式モ行ハセテ、サウシテ明治神宮ノ有難サト共ニ、國民ノ體位ヲ向上サセルト云フ所ニ目的ヲ置イテ、之ヲ毎年ノ行事トシテ、國民ノ體育ニ關スル本當ノ精神ヲ入込マセヨウト云フ方針ヲ執ツテ居ルノガ其ノ一ツノ現ハレデアリマス、是ハ私ノ方ノ取扱ツテ居ル國民體育ニ關スル精神ノ中心ダト思ヒマス、ソレナラ平素ニ於ケル體育方面ハドウスルカト云ヘバ、是ハ學校體育ト、又國民體育トシテノ一般體育ト常ニ相關聯ヲ持チマシテ、ヤハリ精神方面ニ非常ニ力ヲ入レナケレバナラヌ、例ヘバ先程モ申上ゲマシタ武道ノ獎勵ノ如キハ直チニ精神問題ト合致スルモノト思ヒマス、其ノ外勿論御説ノヤウニ常ニ精神ノ方面ニ重點ヲ置イテ、同時ニ國民體位ニ力ヲ入レルト云フ御説ニハ全く御同感デアリマシテ、有ユル機會ニ、有ユル方法ヲ其ノ指導精神ノ下ニ進メテ行キタイト思ツテ

居リマス

○多田委員 厚生大臣ノ神宮競技ヲ精神方面ニ活用シテ行クト云フ御話モ洵ニ結構デアリマスガ、私ハ一言申上ゲテ御參考ニ供シテ置キタイト思ヒマス、ソレニ付テ私ノ體驗ヲ極ク簡單ニ申上ゲテ見タイト思ヒマスガ、體位向上ハ一面ニ於テ虛弱ナ者ヲ強クシテ行ク積極的ノ施設ヲ施シテ行クト、ソレカラ現ニ病氣ニ罹ツテ居ル者ヲ恢復サセテ行クト、斯ウ云フヤウナコトマデ手ヲ入レテ行カナケレバナラスト思ヒマス、其ノ方面ノコトニ付テハ勿論精神上ノコトニ付テ特ニ考ヘテ行ク必要ガアラウト思ヒマス、所デ私ハ胎教方面カラ別ノ機會ニ於テモ申シマシタケレドモ、母親ノ腹中ニ在ル時分カラ精神上ノ教育ヲシテ剛健ナル氣風ヲ養ハシメテ之ヲ體育上ニ資スルト云フコトニシナケレバナラスト云フ持論ヲ持ツテ居ルノデアリマスガ、特ニ弱者ニ付テハ剛健ナル氣風ヲ養ツテ行クトガ必要デアルト思ヒマス、是ハ文部省ノ所管デアラウト思ヒマスケレドモ、厚生省ニ於テモ亦特ニ力ヲ注イデ戴キタイト思ヒマス、ソレト同時ニ悟リノ氣持ヲ國民一般ニ養ハシメテ行クトガ必要デアラウト思フ、私ノ經驗ヲ申シマス、私ハ今日ハ目方ガ二

十貫デ人並以上ノ健康ヲ持ツテ居リマスケ
レドモ、青年時代學業ヲ廢スルコト滿四年、
壯年時代學業ヲ廢スルコト滿三年、猛烈
ナル胃腸病ヲヤリマシテ、四年間學業ヲ廢
シタコトガアリマスガ、壯年期ニナツテ猛
烈ナル肺結核ニナツテ學業ヲ廢スルコト三
年デアリマシタ、其ノ間自分ハドウスレバ
之ヲ癒スコトガ出來ルカト云フコトニ可ナ
リ苦心シタモノデアリマス、私ハ父親カラ
能ク言ハレマシタ、オ前ハ天下ノ名醫ト云
フ名醫ニ悉ク掛ツタガ、ソレデモ癒ラヌノ
ダ、其ノ時ハ五尺五寸デ九貫三百匁ニ減リ
マシタガ、オ前ノ飲ンダ散藥ノ目方ヨリオ
前ノ目方ハ少イ、水藥ハ風呂ニ何杯モ立テ
テ入レル程飲ンダガ、ソレデモ癒ラヌノダ
カラ仕方ガナイ、勝手ニシタラドウダト云
フマア一種ノ宣告ヲ受ケマシテ、ソレカラ
私ハ發奮シタノデス、是ハ一ツ自分デ癒サ
ナケレバナラス、醫者モ藥モ有ユル機能モ
要ラヌノダ、自分ノ精神力一ツデ癒シテ行
クノダト云フ考ヘ方ヲ持ツテ全快ヲサシタ
コトガ二回アルノデアリマス、今日デハ肺
結核ノ「ハ」ノ字モナク壯健ナ身體ニナツテ
居リマス、九貫三百匁ヲ殖ス爲ニ可ナリ努力
ヲシマシテ、健康ニナツテ十四貫ヲ十六貫
ニ殖スノニ三年間掛ツタ、有ユル努力ヲ費

シタ、十六貫カラ十八貫ニ殖ス爲ニ滿二年
ノ經驗ヲ積ンデ殖ヤシタノデアリマス、ソ
コデ私ハ肉體力、精神力ト云フモノハ相伴
フモノデアツテ、精神ガ健全ニナレバ肉體
ハ必ず健全ニナツテ行クノダト云フ自信ヲ
持ツテ居ルノデアリマシテ、特ニ斯様な質
問ヲスルノデアリマスカラ、文部大臣モ丁
度御居デニナラレテ居リマスノデ大變仕合
セト思ヒマスガ、其ノ考ヘ方ヲ一ツ國民教
育ノ上ニ移サレテ、厚生省ト共ニ手ヲ携ヘ
テ國民體位向上ノ爲ニ資セラレンコトヲ特
ニ自分ノ經驗カラ希望ヲ致シテ置ク次第デ
アリマス、次ニ體位向上ニ對シテ如何ニ
指導シテ行クカト云フコトヲ一ツ伺ツテ見
タイト思フノデアリマス、厚生省ニ於テハ
固ヨリ保健所ト申シマスカ、之ヲ作ラレ
テ、國民衛生ノ指導ニ當ツテ居リマスケレ
ドモ、現在ノ程度デハ私ハマダ十分デナイ
ト思ヒマス、是ハ全國ニ五百箇所トカ造ル
ト云フ計畫ダト云フ御話デアリマスケレド
モ、是ガ中々遅々トシテ進ンデ居リマセ
ヌ、早く一ツ斯ウ云フ時機デアリマスカ
ラ、豫算デモ取ツテ普及サセルト云フコト
ニ御努力ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、
ソレカラ今一ツハ是モ外ノ機會ニ申上ゲタ
コトガアリマスガ、全國各町村ニ對シテ衛

生指導員ト云フヤウナモノヲ作ツテ指導サ
セル、家庭ヲ指導サセ、妊婦、乳兒ヲ指導
サセル、幼兒、少年、學校ニ對シテモ有ユ
ル方面カラ指導スルト云フ方法ヲ取ルト云
フコトデアツテ、初メテ私ハ體位ノ向上ト
云フモノガ出來ルコトデアラウト思フ、今
日マデハ中央ニ於テ色々ナ研究ガ發表セ
ラレテ居リマスケレドモ、實際衛生ノ指導
ト云フモノハ餘リヤツテ居ラレナイノデア
リマスカラ、モウ少シ衛生指導網ト云フヤ
ウナモノヲ作ツテ、全國津々浦々ニ手ヲ擴
ゲテ漁村ハ漁村ヲシク、農村ハ農村ヲシク、
又都會地ハ都會地ヲシク、此ノ指導員ヲ置
イテヤツテ行カレルヤウニシタナラバ宜ク
ハナイカト云フ考ヲ持ツテ居ルノデアリマ
スルガ、此ノ點ニ對スル厚生大臣ノ御考ヲ
伺ツテ置キタイト思フノデアリマス
○廣瀨國務大臣 保健所ノ如キモ御話ノ
ヤウニ出來ル限リ急イデ、全國的ニ普及サ
セル努力ヲ致ス積リデアリマス、尙ホ市町
村ノ衛生指導員ニ關スル御説洵ニ御尤ト存
ジマス、是等ノ點ニ付キマシテモ、將來一
ツ十分ニ研究ヲ致シタイト思ツテ居リマス
○中田委員 體位向上ノ對策ト致シマシテ
色々ナ方面カラ検討ヲ進メラレテ居リマス
コトハ、我國ノ現狀カラ致シマシテ當然ナ

コトデアリ、又爲サナケレバナラヌコト
ダト考ヘル次第デアリマス、ソコデ私ノ
御伺致シタイト考ヘマスルコトハ、從來
積雪地方ニ於キマシテハ戶外ノ運動ト云フ
モノハ全然ナカツタ關係カラシテ、積雪地
方ノ壯丁ノ體格等ニ相當影響ヲシテ居ツク
コトト考ヘテ居リマス、然ルニ最近「ウイ
ンター・スポーツ」即チ「スキー」「スケート」
ナドガ非常ナル勢ヲ以テ發達シテ參リマシ
テ、現在ニ於テハ積雪地方ノミナラズ、其
ノ他ノ地方ニ於キマシテモ青少年、青年層
ガ雪ノ降ルノヲ待ツテ居ルト云フヤウナ現
狀デアリマシテ、是ハ洵ニ欣バシイ現象デ
アルト私考ヘテ居ルノデアリマス、「スキ
ー」ハ御承知ノ如ク其ノ性質カラ見マシテ
モ狭イ「グラウンド」デヤルト云フノミデナ
ク、廣ク山野ヲ跋涉スルト云フ意味カラ致
シマシテ、一面ニ於テハ此ノ體育ト共ニ精
神的ナ鍛鍊ニモ非常ニ資スル所ガ多イト考
ヘル譯デアリマス、此ノ意味ニ於テ私ハ積
極的ニ此ノ「スキー」ヲ獎勵スルコトガ現在
ノ體位向上ニ對スル一ツノ方策トシテ、非
常ニ意義ノアルコトデハナカラウカト考ヘ
ル譯デアリマス、勿論大都會ニ於キマシテ
ハ「デパート」ニ於テ色々ナ服裝其ノ他用具
等ヲ金ニアカシテ整ヘテ上野ノ驛ヲ颯爽ト

シテ汽車ニ乗込ンデ行クト云フヤウナ虚榮
的ナ階級モ勿論アルノデアリマスルケレド
モ、斯ウ云フ連中ハドウカト思フノデアリ
マスルガ、併シ實際現在ニ於テハ積雪地方
ニ於キマシテハ、是ハモウ既ニ遊ビデナク
實際生活ニ非常ニ應用サレテ居ルノデアリ
マス、軍隊ニ於キマシテモ、「スキー」ノ教
練ハ重要ナル位置ヲ占メテ居ルト私ハ考ヘ
テ居リマス、又學校教練ニ於キマシテモ左
様デアルト考ヘテ居ルノデアリマスルガ、
之ニ對シテ尙ホ積極的ニ「スキー」ヲ獎勵サ
レルト云フコトニ付テ、厚生省等ニ於テ何
カ具體案ヲ持ツテ居ルナラバ承リタイ、更
ニ又軍部ニ於テハ此ノ「スキー」ト云フモノ
ニ對シテ如何ナル御考ヲ持ツテ居ラレル
カ、之ヲ簡單ニ承リタイ

○中村政府委員 軍ト致シマシテハ軍ノ行
動ニ必要ナル範圍ニ於キマシテ、又適切ナ
ル地方ニ於キマシテ「スキー」教育ノ一部ヲ
實施サセテ居ルコトハ御承知ノ通りデゴザ
イマス、將來之ヲ更ニ擴充スルカドウカト
云フコトハ軍ノ目的ニ關係スルコトデゴザ
イマシテ、此ノ點ハ今ハツキリ御答ハ出來
マセヌガ、軍ハ既ニ其ノ必要ヲ認メマシテ
一ツノ有益ナル運動トシテ實施ヲシテ居
ル、又北滿等ニ於テハ其ノ實施ノ效果ヲ舉
ゲタ例モゴザイマス、終リ

○中田委員 只今厚生大臣ヨリ「スキー」ニ
對スル御所見ヲ承リマシテ、又陸軍ヨリモ此
ノ「スキー」ニ對スル御所見ヲ承リマシテ、吾
吾ト感テ同ジクセラレテ居ルト云フコトニ對
シテ非常ニ喜ビトスル次第デアリマス、ヤハ
リ此ノ競技ヲ盛ナラシムル爲ニハ、ドウシ
テモ一般的ニ社會的ニ之ニ關心ヲ持タシメ、
「スキー」ニ對スル理解ヲ與ヘルト云フコト
ガ先ツ第一ニ必要ナコトデアルト考ヘル譯
デアリマス、恰度馬ノ問題ニ於テ、馬ノ増産
改良等ニ付テ競馬ガ非常ニ役立ツ如クニ、
「スキー」ニモ何か一ツ大衆ニ興味ヲ與ヘ、
之ニ關心ヲ持タシメルト云フコトガ私ハ非
常ニ必要ナコトデハナカラウカト考ヘルノ
デアリマス、恰度「スキー」ニ於キマシテハ

「ジャンプ」ト云ヒマスカ、飛躍ガ「スキー」
ノ華トモ謂ハレルヤウニ、非常ニ豪快ナ男
性的ナ競技デアリマシテ、最近ニ於キマシ
テハ、東京日日新聞社ノ主催デ後樂園ナド
デ態、雪ヲ運ンデ來テマデ「ジャンプ」大會
ヲ開イテ居ル、大衆ハ熱狂シテ喜ンデ之ヲ
觀覽シテ居ルト云フ實情デアリマシテ、私
ハヤハリ「スキー」ヲ盛ナラシムル爲ニハ
此ノ「ジャンプ」大會ト云フモノヲ盛ニスル
コトガ非常ニ效果ガアルノデハナカラウカ、
斯ウ考ヘテ居ル譯デアリマス、然ルニ此ノ
「ジャンプ」臺ト云フモノハ、之ヲ築造スル
ニ相當ノ經費ヲ要スルモノデアリマス、少
クトモ適當ナ場所ヲ得マシテモ、二三万ノ
金ヲ持タナケレバ立派ナ「ジャンプ」臺ト云フ
モノハ出來得ナイ實情デアリマシテ、是ハ
地元ノ町村ナドノ負擔デハ到底出來得ナイ
ノデアリマス、サウ云フ適當ナ場所ト云フ
モノハ恐ラク山間ノ貧弱ナ町村ニアルノデ
ゴザイマスカラ、是ハ到底出來得ナイ、府
縣ナドニ於キマシテモ、現在ノ非常ニ積雪
地方ノ窮乏シテ居ル財政カラ言ヒマシテ、
數万ト云フ金ヲサウ云フ方面ニ掛ケルト云
フコトハ到底許サレナイコトデアリマス、
ソコデ私ハ國家的ナ事業トシテ斯ウ云フモ
ノニ、國家ガ助成ヲシテヤルト云フコトガ

○廣瀨國務大臣 積雪地方ノ運動ニ付テ最
近「スキー」ノ如キモノガ非常ニ盛ニナツテ
居ルコトハ、洵ニ結構ナコトデアリマス、
今具體的ニ是ト云フ豫算等ヲ以テノ獎勵ノ
コトハアリマセヌガ、是ガ贅澤デナク實用
的ニ、ソレカラ其ノ地方ニ普遍的ニ行ハレ
ルヤウニナルド云フコトハ洵ニ結構デアリ
マス、是等ニ付テハ將來出來ルダケノ注意
ヲ致シ、又當局トシテ執ルベキ方法ガアリマ
スレバ執ツテ、獎勵ヲ致シタイト思ヒマス

○山本委員長 是ニテ休憩致シマシテ、午
後ハ二時ヨリ開會致シマス、尙ホ申上ゲテ
置キマスガ、文部大臣ハ午後ハ出席出來ヌ
サウデアリマスガ、陸軍大臣ハ三時頃カラ
出席スルサウデアリマス

○山本委員長 是ヨリ開會致シマス、瀧澤
君、午前中ノ留保シタ分ニ付テ厚生省ニ對

當然デアルト思フ、而シテ其ノ金ガ年々繼
續シテ多額ノ支出ヲ要スル譯デナク、一回
拵ヘルト後ハ維持管理ノ爲ニハ少額ノ金デ
済ムノデアリマスカラ、ソレヲ拵ヘル場合
ニハ援助ヲシテヤルト云フコトガ必要デア
ルト考ヘテ居ルノデアリマス、最近ニ於テ
ハ日本ノ「スキー」聯盟カラ國際「スキー」聯
盟ニ對シテ、一ツノ公認飛躍臺ノ申請ヲシタ
ト云フ話モ聞イテ居リマス、此ノ公認飛躍
臺ニ依ツテ世界的ナ記録ガ樹立サレル譯デ
アリマスカラ、吾々ドウシテモ此ノ立派ナ
「スキー」場ヲ完成シテヤリタイト云フコト
ヲ念願トシテ居ル者デアリマス、此ノ點ニ付
テ厚生大臣ノ御意見ヲ承リタイト思ヒマス

○山本委員長 是ヨリ開會致シマス、瀧澤
君、午前中ノ留保シタ分ニ付テ厚生省ニ對

○山本委員長 是ニテ休憩致シマシテ、午
後ハ二時ヨリ開會致シマス、尙ホ申上ゲテ
置キマスガ、文部大臣ハ午後ハ出席出來ヌ
サウデアリマスガ、陸軍大臣ハ三時頃カラ
出席スルサウデアリマス

○山本委員長 是ニテ休憩致シマシテ、午
後ハ二時ヨリ開會致シマス、尙ホ申上ゲテ
置キマスガ、文部大臣ハ午後ハ出席出來ヌ
サウデアリマスガ、陸軍大臣ハ三時頃カラ
出席スルサウデアリマス

午後二時二十五分休憩
午後二時二十六分開議

スル質問ヲ願ヒマス

○瀧澤委員 午前中乳兒保護ニハドウ云フ方法ヲナサルカト云フコトヲ御伺致シマシテ御答辯ガアリマシタガ、私長イ間ノ色々ナ體驗カラ考ヘテ見マスノニ、乳兒虛弱ノ原因ハ乳兒其ノモノニアルノデハゴザイマセヌデ、大抵其ノ母親ノ體質ノ非常ニ弱イ者ノ子供ガ多クハ弱イト云フ結果ヲ見テ居ルノデアリマス、デアリマスカラ幼兒ガ生レタ際、ソレヲ檢診シテ更ニモウ一度檢診スルト云フヤウナ御話デアリマスケレドモ、私ノ考フル所ヲ以テスレバ、妊娠ヲ致セバ大抵産婆ニハ掛リマスカラ、妊娠シタ人ハ全部届出デシメテ、サウシテ此ノ妊娠中ヨリ母體ノ檢査ヲシテ、母親ノ健康ヲ維持スルコトヲ心掛ケルコトガ必要デゴザイマス、唯生レタ幼兒ニ對シテノミ色々檢診ヲナサツテモ、ソレハ非常ニ無駄ガ多イノデ、是ガ死亡率ヲ減ズルマデニナルノハ、尙ホ道遠シト言ハザルヲ得ナイ、斯様ニ私ハ考ヘテ居リマス、仍テ此ノ妊娠セル母體ヲ檢査シテ其ノ榮養ヲ攝ルコト能ハザル者ニ向ツテ榮養ヲ攝ラシムルト云フ方法ヲ御考ニナラナケレバ、幼兒ノ虛弱ナル者ヲ強健ニスルコトハ出来ナイコトト私ハ確信シテ居リマス、ノミナラス御承知ノ通り日本ニ於テ

ハ胎教ト申シマシテ、モウ妊娠スレバ眼ニ諸々ノ不淨ヲ見ズ、耳ニ諸々ノ不淨ヲ聽カズト云フ風ニ、本當ニ精神的ニ胎兒ニ對スル保育ヲシテ行クノガ我國古來カラノ習慣デアリマス、是等ノ點ニ鑑ミラレテモ唯生レタ子供ヲ檢診スルト云フヤウナコトハ末ノコトデアリハシナイカト思フノデアリマシタガ、此ノ點ニ付テノ御考ヲ承リタイ

○林政府委員 只今ノ御説御尤デアリマス、母性ノ保護ト云フコト、殊ニ妊娠時ニ於ケル諸般ノ留意ヲ要シマスコトハ、最モ根本的ナ問題ダト考ヘテ居リマス、御承知ノ通り只今御話ノ榮養ノ問題ニ致シマシテモ、歐洲大戰ノ時ニ於ケル獨逸ノ食糧飢饉ガ、其ノ母性並ニ乳兒ニ及ボシタ影響ノ大キナコトハ想像以上デアリマス、左様ナ點ニ付キマシテハ午前中モ御話ガアリマシタガ、甚ダ手不足デアリマシタガ、將來設ケラレテ行クベキ、目下増設中ニアリマスル地方ノ保健所ガ乳兒並ニ母性ノ相談相手トシテノ仕事ヲ大キナ仕事トシテヤツテ居ルノデアリマス、其ノ保健所ノ仕事ハ一ツハ母性ノ直接ノ保護デアリ、他ハ只今申サレルサウシタ場合ニ於ケル榮養ノ改善ニ付テ御指導申上ゲル、斯ウ云フコトニナツテ居ルノデアリマス、唯現在ノ所デハ御話ノヤウニ母

性全體ニ對シテ、妊娠時ニ於ケル届出制度ヲ採ツテマデ、法制化シテ行クト云フ所ニハ、實ハ進ンデ居リマセヌ、事實上ノ御指導ヲ申上ゲ、相談相手ニナルト云フ方法ヲ採ツテ居ルニ過ギナイ状態デアリマス

○瀧澤委員 只今マダ其ノ方法ヲ採ツテ居ラナイガ、考ヘテ居ルト云フ御話デアリマスカラ、是ハ是非御實行ヲ願ヒタイト思ヒマス、ソレカラ尙ホ地方農村ハ比較的ニ空氣、日光ニ恵マレテ居リマスケレドモ、大都市、殊ニ東京ナドニ於キマシテ、最近大東京市ニナツタ時ハ四百二十万デアツタノガ、今日ハ六七七年ヲ經ザルニ既ニ五百三十万ニナツテ、百十万人モ殖エテ居リマス、東京市ノ人口ノ包容力ハ一千万ト稱シ、八百万ト稱シ、千二百万ト稱シテ居リマス、面積ノ上カラ其ノ何レガ適當ナル人口ガ存ジマセヌガ、恐ラク一千万人ヲ包容スルコトガ出来ラウト思ヒマス、サウ云フ一千万人ニナル時ニ於キマシテモ、其ノ主ナル人口ノ増加ハ、生産擴充ニ伴フ工場ノ發達、發展ニ依ツテナツテ行クモノデアリマス、工場ノ發展、サウ云フ時ニナツテ参リマスト、地方カラ續々ト青少年ガ集ツテ参リマシテ、直接工場ハ入ル人が多クナリマスガ、是等ヲ收容シ、若クハソレガ妻帯

ヲ致シタ時ノ住居デアリマス、相當ナル御考ヲ以テ是等勞働ニ從事スル者ノ住居ト云フコトヲ御考ニナリマセヌケレバ、如何ニ榮養ノコトヲ御考ニナリマシテモ、決シテ完全ナル良イ體格ノ持主ヲ持ヘルコトガ出来ナイノデアリマスカラ、是等ノ惡イ住居ヲ改善スルト云フヤウナコトニ付テ、特ニ御考慮ヲ願ハナケレバナリマセヌシ、若シサウ云フ御考モ今日持ツテ居ラツシヤルト云フコトデアリマスカラ、其ノ御考ヲモ伺ツテ置キタイノデアリマス

○林政府委員 御説ノ通りデアリマシテ、現ニ不良住宅ノ改善ニ付キマシテハ、都市ガ之ヲ實施致シマス場合ニ、政府ハ之ニ對スル補助金ヲ交付スルコトニ依ツテ、順次現ニアリマス不良住宅ノ改善ノ方法ヲ採ツテ居ルノデアリマス、併シナガラ時局ニ面シマシテ多數集合シテ來マス時局産業ニ從事スル人々、特ニ其ノ中ニハ青少年ノ方々ガ多イノデアリマス、住居ノ問題ハ喫緊ノ要務デアリマスノデ、目下殷賑産業ノ中心地ニ、是等勞働者ノ中、先ヅ獨身者デ勞働ニ従事スル方々ノ爲ニ、共同宿舍ヲ建テル方針ヲ以テマシテ、先般既ニ相當數ノ建設ニ著手スルコトニ致シテ居ルノデアリマス、尙ホ目下ノ所續々其ノ必要ヲ感ジテ居リマ

スノデ、厚生省ト致シマシテ只今協議中ニ
屬シテ居リマスルガ、ヤハリ相當數ノ共同
宿舍ヲ、股賑産業ノ中心地ニ設ケル豫定デ
アリマス、又一般獨立住宅ノ問題ニ付キマ
シテモ、此ノ際相當數準備ヲシ、之ヲ提供
シナケレバ、實ハ現在ノ状態デアリマスナ
ラバ、日常ノ生活ガ甚シク不健全ナ状態ニ
ナツテ居ル實情ヲ見テ居リマスノデ、之ニ
付キマシテハ特別ノ資金融通ノ途ヲ講ジ
テ、新シク職工向住宅ヲ建設シタイト思ッ
テ、今其ノ具現方ニ付テ寄リノ協議中デ
アリマス

○灌漑委員 只今御考慮中デアリ、實施サ
レテ居ルコトモ承知致シテ居リマスケレド
モ、ソレハ極メテ數ノ少イコトデアリマシ
テ、今日ノ人口ノ増加ニ伴ハナイノデアリ
マス、私ハアノ工場ノ盛ナル傍ヘ參ツテ見
マシタガ、實ニ恐ルベキコトデ、僅ナ六疊
ノ部屋ヘ六人モ八人モ、而モソレハ夜業ヲ
シテ居ル者ガ居ラナイ其ノ間ダケ寢ルト云
フヤウナ状態ニアリマシテ、是ハ由々シキ
コトダ、斯ウ考ヘテ居リマスカラ、此ノ點
ハ特ニ御注意ヲ願ヒタイト思フコトト、尙
ホモウ一ツハ簡單ニ申上ゲテ置キマスケレ
ドモ、工場法ニ於ケル健康保險ノ問題デア
リマス、アレ等ニ付キマシテモ、ドウシテモ

家族ノ保險ニマデ御進ミニナリマセヌト、
本當ニ次代ノ人ノ健康ハ得ラレナイ、是ハ
モウ既ニ考ヘテ居ラツシヤルコトト信ジテ
居リマスカラ、唯此ノ施設ヲ一日モ早く進
ンデ設定セラレシコトヲ私ハ希望シテ置キ
マス

モウ一ツ最後ニ、是ハ厚生省ト陸軍省ト
ニ御聽シナケレバナラナイコトデアリマス
ケレドモ、支那事變關係ノ戰死者遺族ニ對ス
ル負債ノ整理ト云フモノガ農林省カラ出テ
居リマス、ソレハ臨時農村負債處理法ノ運
用ト云フモノデ、農村カラ出テ居リマスル
戰死者或ハ病死者、是ハ戰爭ニ從事シタ直
接軍人バカリデナク、從軍看護婦、從軍通
譯、從軍記者、其ノ他軍屬デモ、戰死シタ
者ノ家族ニ對テシハ十三年六月二十日ヨリ
向フ二十五箇年ノ期限デ、二十箇年以内ノ
償還金デ、利率ハ三分八厘デ、三千圓乃至
五千圓マデノ負債ヲ整理シテヤルト云フ
案ガアリマス、是ハ農村負債整理法ト云フ
ヤウナモノガ他ニアツタカ知リマセヌケレ
ドモ、例ヘバ東京ノ者ニシテ見マシテ、斯ウ
云フモノガ東京府カラ廻サレタカラ、金ヲ
借レト言フ、ソコデ私モト行ツタラ、是ハ
農村ノ爲デアツテ、オ前ノヤウナ商工業ニ
從事シテ居ル者ニ貸スコトガ出來ナイト云

フコトニナツテ居ルノデスケレドモ、是等
ニ付テノ厚生省ノ御執リニナル御方針、又
陸軍省ニ於テハ斯様ニ農村ト都市トノ戰病
死者ニ付テ區別ガアルコトニ對シテ、何カ
御考ヲ持ツテ居ラツシヤルカト云フコトヲ
御伺致シマス

○林政府委員 甚ダ恐縮デアリマスガ、只
今其ノ方ノ係ノ者ガ此處ニ參ツテ居リマセ
ヌ、厚生省關係ハ後刻申上ゲルコトニ致シ
マス

○灌漑委員 宜シウゴザイマス

○中村政府委員 陸軍ト致シマシテ、農村
ト都市トニ、サウ云フ戰傷死者ノ間ニ差別
ハ致シテ居ラヌ積リデアリマスガ、只今ノ
御質疑ニ對シマシテハ、後刻詳細ニ取調ベ
テ御答ラシタイト思ヒマス

○山本委員 伊東君

○伊東委員 壯丁ノ體位向上ノ見地カラニ
三厚生省ノ方ニ御尋ヲ致シマス、第一ハ農
村衛生保健ノ施設徹底ニ關スル問題デアリ
マス、農村ガ強兵ノ源泉デアアルコトハ言

○灌漑委員 ソレデハドウカ御願致シマス、
此ノ點ハ確ニ農林省ノ方カラ出テ居リマス
ル農村ノ借金ヲ片付ケルト云フ意味ガ擴大
セラレテ、斯ウ云フモノニナツテ居ルダラ
ウト思ヒマスケレドモ、是ハ東京府臨時負
債處理委員會ト云フモノガアツテ、斯ウ云
フ印刷物ガ出テ居ルノデスカラ、之ヲ貫ツ
タ東京市民ハ、何故ニ吾々ハ此ノ恩典ニ浴
シナイノデアアルカト思フノデス、他ニモ理
由ガアルカトモ存ジマス、或ハ東京市ノ中

フマデモアリマセヌ、而シテ農村ソレ自體ハ極メテ健康地デナケレバナライノデアリマス、然ルニ壯丁ノ検査ノ結果ヲ見テミマス、都市ノ壯丁ヨリモ農村ノ壯丁ノ方ガ最近段々劣弱化シテ來テ居ルノデアリマス、其ノ主ナルモノハ、結核ガ多イノデアリマス、ソレカラ一般ノ死亡者モ都市ヨリモ農村ノ方ガ死亡率ガ最近段々殖エテ參リ、又寄生蟲ノ如キモノデモ、小學校ノ生徒ヲ検査シタ結果ナドヲ見マスルト、農村ニ最も多ク、大體小學校ノ生徒ノ寄生蟲病ハ六割五分位ニナツテ居ルヤウデアリマスガ、多イ所ハ八割五分モ此ノ病氣ニ罹ツテ居ルノデアリマス、左様ニ段々農村ノ衛生ト云フモノガ破壊サレテ來マスルコトハ、洵ニ是ハ國家ノ立場カラ重大ナ問題デ、是ノ救濟ニ付テハ極メテ急ヲ要スルモノガアルト思フノデアリマス、尙ホ結核ノ傳染系統デアリマスガ、是ハ陸軍省デ厚生省デモ、能ク御調ニナツテ居ルヤウデス、農村カラ只今青年男女ガ多ク都會ノ工場ニ參リマス、ソコデ傳染病ヲ受ケタ者ガ農村ニ歸ル、ソレガ一般ニ傳播セシムルト云フ關係ニ相成ツテ居リマスノデ、此ノ事情カラ致シマシテ、此ノ傳染系統ト農村ノ關係ニ付テハドウシテモ適當ナル對策ヲ講ジテ戴カナケレ

バナリマセヌ、都會ノ事業主ハ特ニ其ノ責任ノ大部分、否全部ヲ負フベキモノダト私共ハ想像致シテ居ルノデアリマスガ、是等ニ對スル御意見如何、尙又農村ニハ寄生蟲バカリデナクテ遺傳病ガ多イノデアリマス、就中梅毒關係ノモノガ多イ、先日宮崎縣デ縣ノ衛生課ガ點々村ヲ選ンデ檢診ヲヤツタ結果ノ話ヲ聞キマシタガ、ソレニ依リマスルト、意外ナル結果ヲ現ハシテ居リマス、統計表モアリマスケレドモ、之ヲ省略致シマスルガ、何レニ致シマシテモ、斯ウ云フヤウナ問題ハ非常ナ大切ナ問題デアリマスノデ、此ノ遺傳病ニ對スル檢診施設ト云フヤウナコトニ付テ、如何様ニ御考ニナツテ居リマスルカ、唯府縣ニ御任セニナルト致シマシテモ、府縣ダケデモ容易デヤナイノデアリマスカラ、此ノ方針ニ付テ御伺ヲ致シテ置キマス、尙ホ現在デハ傳染病豫防法ト云フ法律モアレバ、癩ノ豫防法、或ハ「トヲホーム」ノ豫防法、斯ウ云ツタヤウナ法律ガアツテソレノ法律ノ命ズル所ニ依ツテ衛生保健施設ニ相當貢獻ヲ致シテ居リマスガ、併シソレ等ノ施設ハ殆ド縣ニヤラシテ居ツテ、國ハ凡ソ六分ノ一位ノ補助ヲヤツテ居リマスルカラ、地方ノ負擔モ隨テ多イノデアリマスケレドモ、地方デ十分此ノ

經費ノ計上ガ困難デアリマスカラ、隨テ其ノ施設ガ極メテ貧弱デアルト云フ立場カラ致シマシテ、法自體ハ總テノ病氣ヲ豫防スル上ニ理想的ニ出來上ツテ居リマスケレドモ、其ノ結果トシテハ施設不徹底ノ爲ニ其ノ目的ヲ達シ得ナイト云フ情勢ニアルノデアリマスガ、此ノ助成費ノ如キハ六分ノ一デナクテ、出來ル限り多數、少クトモ半分以上ハ是ハ當然ヤルベキモノダ、サウシテ農村方面ノ衛生保健施設ヲ完全ニシテ強兵ノ源泉地デアル方面ノ健康狀態ヲ一層向上スルコトノ必要ナルモノヲ痛切ニ感ジテ居リマスルガ、是等ノ點ニ付テノ御所感ヲ承リマス

○林政府委員 段々御述ニナリマシタ農村ノ保健ニ付テハ各般ノ立場ヨリ心配ヲ致シテ居ルノデアリマス、特ニ現在農村ニハ醫療機關ニ於テ甚ダ缺クル所ガ多イノデアリマシテ、交通ノ便益其ノ他ノ爲ニ其ノ町村ニ醫療機關ガナクトモ醫療ノ機會ヲ得マス所モ多クアリマセウケレドモ、若シ行政區劃ニ依ル町村ヲ單位トシテ申上ゲマスタラバ、全國一萬有餘ノ町村ノ中、三千有餘ノ町村ハ醫師ノ在任ヲ見テ居ナイト云フヤウナ實情ニ實ハナツテ居ルノデアリマス、斯ウシタ方面カラ來ル保健上ノ缺陷ヲ除去致シマス爲ニ、數年前ヨリ是等醫師ノ居住セザル村ニ公ノ醫師ヲ設置スルコトニ依ツテ、順次改善ノ歩ヲ進メテ行キタイト云フ方針ヲ執ツテ居ルノデアリマス、全體ニ付キマシテノ衛生施設ノコトハ只今申サレマシタ通りニ、形態ハ或ル程度マデニ行ツテ居ルノデアリマスガ、國家ノ財政ノ都合上甚ダ貧弱ナ補助率ニナツテ遺憾ニ存ジテ居リマス、只今申上ゲマシタ無醫村ニ對シテ醫師ヲ設置スル等ノ場合ニ於テハ、是等ノ點ヲ考慮致シマシテ、二分ノ一程度ノ補助ニマデ引上ゲテ居ルヤウナ次第デアリマス、又先程申サレマシク農村ノ保健低下ノ狀態ハ、都市ニ働ク人達ガ罹病サレマシタ後ニ歸村サレテ、其處デ十分ノ治療ヲ受ケルコトガ出來ナイト云フコトカラ起ツテ來ル、此ノ農村ノ保健狀態ノ低下、特ニ結核ニ付テハ其ノ筋道ガハツキリ致シテ來テ居ルノデアリマス、隨テ理論カラ申セバ、只今御述ベニナリマシタヤウニ、工場労働ノ結果、結核等ニナリマシタ者ヲ其ノ土地ニ於テ治療セシムルノ方法乃至隔離スルノ方法ヲ講ジマスコトガ大變結構ナコトデアリマスガ、現在ソコマデ參リマセヌデ、病氣ニナルト農村ニ歸サレ、新シイ健全ナル労働者ガソレニ代ツテ働クト云フ所カラ、當然健全デ

アルベキ環境ニアル農村ガ、其ノ歸村セル病人ヲ中心トシテ結核ニ犯サレテ居ル地方ガ少クナイノデアリマス、尙ホ目下是等ニ對シテ、如何ナル對策ヲ執ルカト云フコトニ付テハ、十分ノ案ヲ得テ居リマセスガ、申サレマシタ通り實情ニアルト存ジテ居リマス、唯最近ニ於キマシテハ、花柳病方面ニ於ケル處置ト致シマシテ、事變下ニ於ケル國民體位ノ保持ノ爲ニ、出來ル限リ之ヲ蔓延セシメタクナイト云フ建前カラ、特ニ花柳病ノ感染ヲ致スベキ機會ノ多イ全國ノ主要都市ニ向ツテ、是ガ診療ノ機關ヲ設置スルコトヲ命ジ、多分三分ノ一ト存ジテ居リマスガ、其ノ程度ノ補助ヲ出シ、且ツ今日マデハ所謂花柳病ノ傳染ノ虞アル業態ニ從事シテ居ル者ノミノ檢診ヲ致シテ居リマシタノヲ、一般ノ檢診ヲモ合セ爲シ得ルコトニ、此ノ度法ノ改正ヲ本議會ニ提案致シマシタ、之ニ依ツテ農村ヘノ花柳病ノ蔓延モ防ギタイト存ジテ居ル次第デアリマス

○伊東委員 農村保健ノ破壊ノ主ナルモノハ、工場デ肺病ニ傳染シテ、ソレヲ農村ニ持ツテ來ル、其ノ系統關係ガ明瞭ニナツテ居ルコトハ先程御話ノ通りデアリマス、ソコデ病氣ニ罹ツタ者ヲ農村ニ歸サナイ施設ヲシナケレバ、其ノ目的ハ達シ得ナイ、其

ノ點ガ午前中御尋致シマシタ國立結核療養所ノ設立ヲ徹底スルト云フコトデアリマス、國立ノ結核療養所ガ出來マスレバ、工場デ病氣ニ罹リマシテモ家ニ歸サズニ、其ノ儘其ノ療養所ニ收容シテ療養サセル、其ノ費用ハ國家ガ持ツ、或ハ一部分其ノ工場ニ負擔セシムルト云フ所マデ行カナケレバ困ル、必要ナ勞力ガ欲シイト云フ時代ニハ、優良ナ農村勞働者ヲドシ、都會ノ工場ヘ引上ゲテ、病氣ニナルト追ヒ歸ス、後ハ知ラヌ顔ヲシテ居ルト云フヤウナコトデハ個人ノ爲ニモ洵ニ氣ノ毒デアリマス、又個人ト云フヨリモ、國家ノ立場カラ斯様な問題ハ一刻モ早く取除カザレバ、眞ノ壯丁ノ體位向上ハ出來ナイ、斯様ニ私ハ信ズルノデアリマス

ソレカラ戦地ニ參リマス、相當花柳病ニ罹ツテ居ル兵隊ガ多イノデアリマス、平時ノ場合、内地デ花柳病ニ罹ツタ者ハ、嚴罰ニ處スルヤウニ相成ツテ居リマスケレドモ、戦地ニ於テ花柳病ニ罹ツタ者ニ對シテハ、可ナリ同情スベキ色々ナル事情ガアルト考ヘテ居リマス、併シナガラ是等ノ人ガ内地ニ歸還致シマス、何時ノ間ニカ之ヲ内地ニニ傳播セシムルコトニナリマスノデ、ドウシテモ是等ノ花柳病患者ハ農村ニ歸還サセ

ズニ、結核患者ヲ結核療養所ニ收容スルト同ジヤウニ、之ヲ全治シナケレバ絶對ニ内地ニ後送シナイト云フ方針ヲ御執リニナルコトガ必要ダト思ツテ居リマス、今申上ゲタヤウナ例ハ、二ニ過ギマセヌレドモ、私ハモウ少シハツキリシタ方針ヲ進マナケレバ到底壯丁ノ體位ヲ完全ニスルコトガ出來ナイト思フノデアリマスガ、此ノ點ヲモウ一應承ツテ置キマス

○林政府委員 只今御話ノ出征軍人諸君ガ花柳病ニ罹リマシタ場合ニ付キマシテハ、陸軍ノ方ト十分ノ協調ヲシテ、是ガ歸還後傳播ノ虞ナカラシメ、且ツ將來ノ國民ヘノ影響ナカラシメルヤウニト云フ點ニ付テハ、深キ關心ヲ持ツテ處置シテ居ルノデアリマス、現在軍ノ方ニ於キマシテハ、花柳病ニ罹リマシタ者ハ之ヲ全治スルニアラズンバ、郷里ニ歸サナイト云フ御方針デ、御處置ナサレテ居ルト云フコトデアリマス、尙又不幸ニシテ十分ノ事ガ出來ナイ場合ガアリト致シマスレバ、私共ノ方デ出來ル限リ公費ヲ以テ之ヲ全治セシメヨウト云フ方針ヲ決定シテ、今日進ンデ居ル譯デアリマス

○伊東委員 農村關係ノ衛生施設ニ付テハ其ノ程度デ措キマスガ、壯丁ノ體位ヲ向上セシメル途トシテハ、體位ガ低下スル原因

ヲ發見シテ、之ニ對スル施設ヲサレルヤウニナツテ居リマス、其ノ原因ハ色々アリマセウガ、主ナルモノハヤハリ青少年ノ勞働過度デアル、之ニ對シテハ勞働法規其ノ他デ之ヲ救済スル途モアリマス、尙ホ午前中ニ、青年學校ニ對シテハソレノ法律ヲ作ツテ、適當ニ調節スルト云フヤウナ御話モアリマシタガ、モウ一ツノ原因トシテハ小學校等ニ於ケル學課負擔ノ過重デアルト一般ニ申サレテ居リマス、ソレハ其ノ通りデアラウト思フノデアリマス、現在小中學校ノ準備教育ノ爲ニ、少年ノ體格ヲ非常ニ破壊シテ居ルコトハ一般ノ熟知シテ居ル所デアリマス、友邦獨逸ノ如キ、或ハ佛蘭西ノ如キハ、學校教育ノ負擔輕減策ヲ斷乎トシテ執ツテ居ル、是ハ採ツテ以テ日本トシテモ可ナリ考ヘナケレバナラヌ問題ダト思フノデアリマス、是等ニ對スル政府ノ御意見ヲ承ツテ置キマス

○藤野政府委員 只今伊東サンノ御質問ノゴザイマシタ青少年ノ保護並ニ體位ノ維持向上ノ上カラ小學校ニ於ケル兒童ノ負擔ノ輕減ニ付テ、政府トシテハドノヤウナ意嚮ヲ持ツテ居ルカト云フ御尋デゴザイマシタガ、御指摘ニナリマシタ點ハ如何ニモ御尤ト存ジテ居リマス、御承知ノヤウニ小學校

ノ教育ハ、永イ沿革ヲ持ツテ今日ニ至ツテ居リマス、其ノ間時代ノ推移ニ鑑ミマシテ、時折必要ト認メマスル改正ヲ加ヘテ今日ニ至ツテ居ルノデアリマスケレドモ、其ノ根本ニ於キマシテ、御指摘ノヤウニ體位ノ向上ヲ期スルコト、是レ亦教育刷新ノ上ニ非常ニ重要ナ點デアルト考ヘテ居リマス、曩ニ設ケラレマシタ教育審議會ニ於キマシテ、御承知ノヤウニ國民學校ニ關スル要綱トシテ定メラレマシタ點ハ、教育ノ内容ヲ改メ

マスト同時ニ、御指摘ノヤウニ小學校兒童ノ體位向上ノ爲ニ、積極的ニハ身心ノ鍛鍊ノ爲ニ各種ノ施設ヲ講ズルコトヲ意圖致シ、又消極的ニハ負擔ノ過重ニ流レザルヤウ教育ノ内容ニ於キマシテモ相當改善ノ事項ヲ掲ゲラレテアルノデアリマス、例ヘテ申シマスルナラバ、成ベク教科ヲ統合セシメテ仍テ以テ生ズベキ教科課程上ノ餘裕ハ、體力ノ向上、體位ノ保持ト云フ方面ニ充當セシムル趣旨モ含マレテ居ルノデアリマス、文部省ト致シマシテハ、當面ノ緊要事ハ其ノ都度努メテ之ヲ實施致シ、例ヘバ勤勞教育ト云フヤウナコトモ亦小學校教育ニ十分採入レマシテ、身心一體ノ見地ニ立チマシタ兒童ノ養成訓練ニ意ヲ用ヒテ居リマス、教育審議會ノ決定ニ相成リマスル國

民學校ノ改善等ニ付キマシテモ、大臣ヨリ御説明ノアリマシタ如ク、出來得ル限り速ニ其ノ實現ヲ圖リマシテ、御指摘ニナリマシタヤウナ點等ニ付キマシテモ相當ノ實績ヲ擧ゲルヤウニ致シタイ、斯様ニ考ヘテ居リマス

○伊東委員 次ニ小學校ニ於ケル選手競技ノ問題デアリマスガ、選手競技ニハ一ツノ特徵ガアリマスカラ、私ハ是ハ絕對ニ排斥スベキモノデアルトハ考ヘテ居リマセヌケレドモ、現在ノ小學校ニ於ケル選手競技ニ付テ私ハ非常ナ弊害ヲ認メテ居リマス、結局是ガ兒童ヲ過勞ニ陥ラセテ體位ヲ損フヤウナコトニナリハシナイカ、二三人ノ選手ヲ得ル爲ニ千人若クハ二千人三千人ノ生徒兒童ヲ犠牲ニシテ居ルト云フコトハ事實デアリマス、此ノ弊害ハ曩ニ御話ノアツタ試験地獄ト相竝ンデ考究スベキ大キナ問題ダト私ハ思フノデアリマス、尙ホ外國ノ競技ヤ體操ハ身長ヲ延バスト云フ點ニハ非常ニ宜イデセウ、併シ私ハ日本人ニハ日本獨特ノ體格ニ合ツタモノヲ一ツ創造スルコトガ宜イノデハナイカト云フ工合ニ思ヒマス、例ヘバ日本人ハ日本人獨特ト申シマスカ、先ヅ首ノ短イ、胸ノ幅ノ厚イ、腰ノ強イ體格ヲ持ツテ居ルカラ、背ヲ長クスルコトヨ

リモ、斯ウ云ツタ方面ニ重點ヲ置クコトガ優良ナ壯丁ヲ得ル方法ダト思フノデアリマス、ソコデ私思ヒマスノニ、ドウモ外國模倣ノ競技ヤ體操ガヤハリ禍ヲ爲シテ居リマス、昔ニ戻ルト云フコトハ獨リ日本精神バカリデハナイ、總テガ昔ニ戻ルヤウニスルコトガ宜イノデハナイカ、右申上ゲタヤウナ體格ヲ持ヘルニハ色々ノ方法ガアリマセウケレドモ、先ヅ以テ相撲ガ一番宜イノデハナイカト思フ、私ハ只今小學校到ル處デ相撲ヲヤラセルコトヲ獎勵シテ歩イテ居リマ

スガ、私ノ縣デハ小學校ニ相撲ノ道場ノナイ所ハ殆ドカイ位ニマデ進ミマシタ、而モ相撲ハ裸ニナツテ勝負スルカラ、精神方面カラ云ツテモ一番宜シイ、眞ニ男性的デアリ武士道のデアアル、裸以上ノ勝負ハナイ、道具ヲ付ケテ争フト云フコトヨリモ宜シイ、是ハ精神的ニモ非常ニ宜シイノデ、斯ウ云ツタ方面ニモウ少シ力ヲ入レラレタラドウカ、地方デハ今マデ宮相撲ト申シマシテ非常ニ盛デアツタノデスガ、是亦衰退ヲ致シマシタ、併シ又段々相撲熱ガ一般的ニ盛ニナリマシタコトハ非常ニ結構ト思ヒマス、ソコデ更ニ進ンデハ小學校中學校デ相撲ヲ正科ニサレルコトガ宜イデハナイカ、斯様ニ考ヘルノデアリマスルガ、此ノ點ニ付テ

御伺ヲ致シマス
○山川政府委員 御答致シマス、小學校ニ於ケル選手制度ニ付テハ、御話ノ中ニモゴザイマシタヤウニ、小學校ノミナラズ良イ點モ多々アルノデアリマスルガ、唯小學校教育ノ中ニ於キマシテ餘リニ選手制度ヲ強調致マスルシト、御話ノヤウニ隨分弊害ヲ生ズルノデアリマス、弊害ノ一例ヲ申シマスナラバ、兒童ハ自己ノ身心ノ發達ノ狀況ヲ考慮シテ、此ノ程度ニ於テ運動ヲ中止シテ置カウト云フヤウナ考ハ先ヅナイノデアリマシテ、教員或ハ友人ノ獎勵ニ依リマシテ、倒レルマデ運動ヲ實施スルト云フ實例ハ多々アルノデアリマス、例ヘバ往年「スポンヂ」野球ノ非常ニ盛ナ時代ニ於キマシテ、小學校兒童ガ身心共ニ疲レ果テテ運動場ニ於テ倒レタト云フ實例ハ澤山アルノデアリマシテ、サウ云フヤウナ譯デ、自己ノ身心ノ狀況ヲ考慮スルト云フ考ガ兒童ニハ餘リナイノデアリマスルカラ、其ノ點カラ申シマシテモ、餘リニ對校競技ニ熱中致シマスコトハ、御話ノ通り非常ニ弊害ヲ生ズルノデアリマス、隨テ文部省ト致シマシテハ、小學校ノ野球ノ大規模ナ對校試合ハ嚴ニ禁止ヲシテ居ル次第デアリマシテ、其ノ點全ク御同感デアリマス

ニ考ヘルノデアリマスルガ、此ノ點ニ付テ

尙ホ第二ノ點、運動競技ハ日本人ノ體質、體力、體格其ノ他色々考慮シテ、日本獨特ノモノヲ獎勵シタラ宜イデハナイカ、其ノ一例トシテ相撲ノ如キハ洵ニ適當デアルト云フ御意見ノヤウニ承ツタノデアリマスルガ、我國程外國ノ「スポーツ」ヲ餘計採入レテ居ル國ハナイノデアリマス、然ルニ歐羅巴ニ於テハ亞米利加ヲ實施サレテ居リマス「スポーツ」ヲ採入レルト云フコトハ絕對ニ致シテ居リマセス、例ヘバ亞米利加ノ國技ト申サレマスル野球ハ歐羅巴ニ於テハ全然顧ミラレナイノデアリマス、日本ニ於キマシテハ日本古來ノ運動ヲ實施致シマスト同時ニ、歐羅巴、亞米利加ニ於テ行ハレテ居リマス「スポーツ」ノ殆ド全部ヲ輸入シテ居ルヤウナ狀況デアリマス、ソレデ今日ノ「スポーツ」界ノ現狀カラ申シマシテ歐米ヨリ輸入致シマシタ「スポーツ」ニ付テ大イニ再檢討ヲ加ヘテ、取捨選擇其ノ宜シキヲ得ベキ時代デアルト考ヘルノデアリマス、

隨ヒマシテ日本人ノ體質、體力、體格ヲ考慮致シマシテ、日本人トシテドウ云フ運動ガ宜シイカト云フコトニ付キマシテハ、十分考慮スル必要ガアルノデアリマス、例ヘバ體操ノ如キニ致シマシテモ、マダ日本獨特ノ體操ハ實ハ編ミ出サレテ居ナイノデア

リマス、サウ云フヤウナ譯デアリマシテ、今後十分日本人ノ體質、體力、體格ヲ考慮致シマシテ、體操ナリ、「スポーツ」ナリ、又從來ノ色々ノ運動競技ニ致シマシテモ、サウ云フ觀點カラ御話ノヤウニ今後獎勵スベキモノヲ慎重ナル態度ヲ以テ調査スル必要ガアルコトヲ確信致ス者デアリマス

○伊東委員 色々良イ御話ヲ聽キマシタガ、ドウゾ一ツツツカリヤツテ戴クコトヲ希望致シテ置キマス、更ニ體力ノ改善ハ單リ厚生省ガ一生懸命ニ只今オヤリニナツテ居リマスシテ、極メテ敬意ヲ表シマスルガ、同時ニハ民間ノ協力ヲ得ナケレバナラヌト考ヘテ居リマス、又民間自體ガ自發的ニ體育改善ニ、或ハ體位向上ノ途ヲ講ズルニアラザレバ、是ハ唯獨リ上カラノ指導ノミデハイカス、斯ウ云フ工合ニ考ヘマス、之ニ付テ私ハ先般九段ノ東京堂ノ體操會ヲ見タノデアリマスガ、洵ニ感激ヲ致シマシタ、八十餘人ノ青少年ノ本屋ノ店員デアリマス、之ニ専門的ニ體育向上ノ爲ニ特殊ナ體操ヲ施シテ洵ニ熱心ニヤツテ居リマス、又其ノ動作モ技術モ洵ニ堂ニ入ツタモノデアリマス、恐ラク其ノ訓練統制ハ他ノ學校ニ於テ見ルコトガ出來ナイ程立派ナ成績デアツタコトニ對シテ、非常ニ私ハ感激ヲ致シ、且

ツ認識ヲ新ニ致シマシタ、而モ其ノ體格ヲ見テミマスルト、總テノ店員ガ、長野トカ新潟トカ其ノ他ノ田舎カラ來タ當時、洵ニ貧弱ナ子供デアツタモノガ、僅カ一年、二年、三年ノ間ニ、全ク體格ノ均整美ガ取レ、サウシテ身長モ、胸圍モ、肉付キモ洵ニ剛健デアルト云フコトヲ見マシタ、一番體位ガ低下スベキ本屋ノ店員ガコンナニ體格ノ改善ガ出來タカト思ヒマスルト、是ハ確ニ體育ノ賜モノデアルト私ハ信ジマシタ、ソ

コデ民間團體又ハ會社工場ガ右ノヤウニ自發的ニ指導シ、體位向上ノ爲ニサウ云ツタヤウナ施設ヲヤルト云フコトハ、非常ニ必要ダト思フ、各ノ工場會社ガ九段ノ東京堂ノヤウナ方法ヲ行キマシテ、是ガ範ヲ示スト云フコトハ、體位ノ向上ニ非常ニ役立つト思フノデアリマス、左様ナ方法ナドヲ厚生省ガ御獎勵ニナルコトガ併セテ必要ダラウト思フノデアリマスルガ、之ニ對スル御意見ヲ承リタイト思ヒマス

ノ官廳ト協力スルバカリデナク、民間ノ體育團體ト十分連絡協調ヲナシ、又積極的ニ之ニ補助獎勵等ヲ致シマシテ、民間ノ體育團體ノ活動ヲ促シテ居ル次第デアリマス、御話ノ東京堂ノ如キ民間ノ工場會社等ニ體育熱ガ非常ニ盛ニナリマシテ、其ノ方ノ施設ノ普及シツツデアリマスルコトハ、洵ニ喜バシキ現象デアリマシテ、厚生省ト致シマシテハ、當時之ヲ指導致ス考ヲ以テマシテ進ンデ參ツテ居ル次第ゴザイマス、今後トモ一層努力ヲ致ス積リデアリマス

○伊東委員 厚生省ノ方ニモウ一二點御尋ヲ致シタイト思ヒマス、ソレハ母性保護ニ關スル施設ニ付デアリマス、昨日來ノ御話ヲ乳幼児ノ完全育成ト云フコトニ非常ニ努力ヲサレテ居ルコトヲ承知致シテ居リマスガ、是ト同時ニ母性保護ニ對スル施設ガ非常ニ大切ダト思ヒマスルガ先年母子保護法モ日本デハ制定サレマシタ、獨逸デハ母ノ勳章ト云フヤウナ制度ガアリマス、或ハ伊太利デハ母性保護法、多産母性表彰制度ナドガアルノデアリマス、尙ホ日本デハ軍人家族ニシテ一家ヨリ澤山ナ兵役義務者ヲ出シタ場合ニ對スル表彰規定ヲ昭和六年十月御制定ニナリマシタ、洵ニ是ハ結構ナ思付キダト私ハ思ヒマス、

尙ホ此ノ一家族カラ多數ノ兵役義務者ヲ出シタ場合ニハ、數ニ應ジテ金杯、銀杯、木杯又ハ表彰狀ヲ現戸主ニ贈ルコトニ相成ツテ居リマス、健良兒ノ多産獎勵、殊ニ三人以上或ハ四人五人ノ軍人ヲ産ンダ母性ニ對スル優遇法ト申シマスルカ、表彰ト申シマスルカ、或ハ六人モ七人モ、八人モ、十人モ産ムヤウナ非常ニ國家ノ爲ニ盡ス所ノ母性ガアルノデアリマス、前ニ申上ゲルヤウニ、陸軍ノ表彰規程ハ、其ノ戸主ヲ表彰スルト云フコトニナツテ居リマスガ、私ハ母性、其ノ母ナル者ヲ表彰シ、又別ノ方法デ之ヲ優遇シ、或ハ立派ナ母性ヲ保存スルト云フヤウナコトニ對スル施設、是ガ根本的ノ問題デアルト思ヒマスガ、ドウデアリマスカ

○新居政府委員 只今母子保護法ヲ例ニ御引キニナリマシテ、母性擁護ト云フコトニ對シテ色々御説フ同ヒマシタ、私ノ方ト致シマシテモ、御承知ノ通り從來母子ヲ如何ニ保護スルカト云フコトハ、救護法其ノ他デ消極的ニ而モ一般ノ救護ト一緒ニサレテ居リマシタ爲ニ、特ニ子供ノ特有ノ環境、即チ母ト共ニ完全ニ養育スルト云フ所ニ缺陷ガアルト云フヤウナコトモ考ヘマシテ、御承知ノ通り母子保護法ヲ制定サレ、今年

ハ實施以來滿一年ニナルノデアリマシテ、此ノ實施如何ハ將來ノ國民ノ體位又ハ延テハ人的資源ニ非常ナ影響ヲ及ボスト思ヒマシテ、此ノ實施ニ付テ其ノ趣旨ヲ間違ヒナク普及サセ、而モ折角實施サレマシタ法律ヲ遺憾ナク利用スルヤウニ現在努力シテ居ルノデアリマス、又一家カラ軍人ガ多數出タ場合ノ表彰ノコトニ付キマシテハ、目下私ノ方トシテハ具體的ニ考ヘテ居ルコトハゴザイマセヌガ、或ハ是ハ陸軍ノ方カラ御答ガアルト思ヒマス

○中村政府委員 陸軍ガ一家カラ多數兵役ニ服シタ者ヲ出シタノヲ表彰スルコトヲヤツテ居ルノハ、只今ノ母性ニ對スル保護ト云フヤウナ方デアリマセズシテ、所謂名譽ノ表彰デアアル、一家カラ多數ノ兵役義務者ヲ出シタ名譽ノ表彰デアアル、其ノ名譽ヲ永久ニ記念シヨウ、斯ウ云フ爲デアリマスカラ、我國ノ家族制度ノ本義ニ基キマシテ、寧ろ是ハ其ノ家長ヲ表彰スルノガ適當デアアル、即チ家長ノ指導其ノ他適切ヲ得テ斯ウ云フコトハ自然ニ起ルベキモノデアリマスノデ、一家ヲ代表シテ居ル家長ニ與ヘテ居ルノデアリマス、併シナガラ只今申サレマシタル母ノ苦痛ト云ヒ、母ノ功績ト云フモノハ、是ハ又海山ノ如ク非常ニ大キナモノ

デ、之ニ對スル愛護ト表彰ト云フコトモ、若シアリトシタナラバ、ソレハ別ニ考フベキコトダト思ヒマス

○伊東委員 之ニ付テハ可ナリ意見ヲ持ツテ居リマスルケレドモ、時間ノ都合デ省略致シマス、由來日本ハ人口ガ餘リ殖エテ困ル、ソコデ移民政策ナドニ國家ガウント力ヲ注イダガ、其ノ時代ハ過去ニナリマシタ、最近ハ人的資源ノ缺乏ヲ如何ニスルカト云フ問題ガ目前ニ横ツテ參リマシタ、今議論スルノモ其ノ點デアリマス、ソコデ積極的ニハ多産獎勵ガ一番必要デアリマス、外國デハ既ニ多産獎勵法ト云フヤウナ法律ナドヲ作ツテ居ル所モアリマスルガ、日本デハ其處マデヤル必要モマダデアリマス、併シ多産ヲ獎勵シテモ、低能兒ヤラ貧弱兒、不良兒ガ澤山混デルト云フコトハ防止シナケレバナラス、子供ヲ餘計産マセル一ツノ方法トシテハ、早く結婚サセルト云フコトガ非常ニ宜イノデアリマス、農村ノ結婚ノコトニ付テハ可ナリ研究ハ致シテ居リマスルケレドモ、是亦省略致シマス、早婚ヲサセルコトノ如キハ子ヲ産マセル一ツノ方法デアリ、農村ノ青年ヲ農村ニ成ベク踏止マラセル方法トシテハ早婚ガ非常ニ宜イノデアリマス、併シ早婚ニハ弊害ガ

アリマス、日本デ徴兵検査ノ合格率ノ最低イ所ハ鹿兒島縣ノ大島デアリマス、此處ハ行ツテ見ルト非常ニ早婚ノ弊ノ多イ所デアリマス、モウ一ツハ私ノ縣ニ東郷村ト云フ村ガアリマスルガ、此處ハ縣内デ徴兵検査合格率ノ一番低イ所デアリマス、偶、兵隊ニ行ツテモ輜重輸卒——マア兵隊カ兵隊デナイカト云フヤウナ所謂輸卒ミタヤウナ寸尺ノ足ラナイ者ガ採ラレルト云フヤウナコトニナツテ居リマス、ソレデ私此ノ村ニ付テ詳細ナル調査ヲ致シタコトガアリマスルガ、戶籍簿ヲ調べテ見マスルト、今頃五十、六十ノ者ハ非常ニ早く結婚ヲシテ居ルコトガ分ルノデアリマス、ソレハ女カラ言ヒマスルト、十五、六、七デ結婚ヲシテ居ルノデアリマス、背ガ低クテ徴兵検査ノ合格率ガ少イト云フヤウナコトハ、色々原因モアリマセウケレドモ、特ニ早婚ノ弊ト私ハ認メテ居リマス、モウ一ツ同ジ私ノ縣ノ鶴戸村ニ吹毛井ト云フ部落ガアリマスルガ、此處ハ昔カラ非常ニ近親結婚ヲヤル所デアリマス、百二十戸ノ戸數デアリマスルガ、殆ド親類同士ノ結婚ヲヤツテ居リマス、ソコデ小學校ニ行ツテ私調べテ見ルト、其ノ部落ニ限ツテ低能兒ガ非常ニ多イノデアリマス、運動會ニ行ツテ見マスルト、後

カラ走ツテ來ル者ハ皆其ノ部落ノ者デアリマス、是ハ私ハ近親結婚ノ弊ダト斷定致シマシテ、其ノ後色々協議ヲ致シテ居リマスルガ、今デハ段々他處ノ者ト結婚スルヤウニナツテ居リマスノデ、將來ハ優良ナ子供ガ出來ルダラウト考ヘルノデアリマス、左様ナ點カラ考ヘマシテ、ドウシテモ之ニ對スル對策ヲ考ヘナケレバナリマセヌ、早婚或ハ近親結婚——近親結婚ダケハ民法上デハツキリナツテ居リマスルケレドモ、更ニ來ルベキ民法改正ニ於テハ斯様な點モ厚生省ハ司法省ト共ニ餘程御考究ニナル必要ガアリハシナイカト思ヒマス、私ノ調査ノ體験ノ一部分ヲ御話致シマシテ參考ニ致シマス、尙ホ精神病者或ハ癩ト云フヤウナ系統ヲ防グトガ非常ニ必要デアリマス、是ハ斷種法ニ依ル以外ニハ方法ハナイト思ヒマス、之ニ付テハ議員提出ノ法律案ナドモアルヤウデアリマスルガ、私其ノ結果ヲ承ツテ居リマセヌノデ、此ノ斷種法ノ施設ニ付テハ如何ナル御見解デアリマスルカ、併セテ御意見ヲ承リタイト思フノデアリマス

○林政府委員 只今御話ノコトハ厚生省ニ於キマシテハ特ニ優生學ニ關スル方面ヲ受持ツ爲ニ、厚生省ノ生レルト共ニ優生課ノ設置ヲ見テ、只今申サレマシタヤウナ諸問題ニ付テノ研究ヲ致スコトニナツテ居リマス、尙ホ本問題ノ學問的研究ヲ必要ト致シマス爲ニ、厚生省ノ所管ニ屬シマス公衆衛生院ニ於テ優生學的研究ヲ致シテ、只今ノ問題ニ對スル學問的根據ヲ發見致シタイト存ジテ居リマス、尙ホ優生法ノ問題ニ付キマシテハ厚生省ト致シマシテハ目下委員ヲ舉ゲテ種々研究中デアリマス

○伊東委員 是ハ陸軍省ニモ關係アリ、厚生省ニモ關係ガアリマスガ、衛生問題デハモウ一ツ申上ゲテ質問ヲ終了シヨウト思フノデアリマス、私戰地ニ二回參リマシタ、サウシテ一番氣ガ付イテ、是ハ考ヘナケレバナラヌト思ツタコトハ、私ハ軍略ヤ軍事ニ付テハ分リマセヌガ、兵隊ノ病氣ニ罹ツテ居ル者ガ驚クベキ數ニ達シテ居ルト云フコトデアリマス、病氣ノ主ナルモノハ、「マラリヤ」ガ一番多イノデアリマスガ、續イテ脚氣、結核デアリマス、就中「マラリヤ」ハ兵隊デハ殆ド罹ラナイ者ハナイト云フヤウニナツテ居リマス、此ノ爲ニ戰鬪力ヲ非常ニ減少致シマス、又兵自體モ非常ニ苦シム、此ノ時私思ヒマシタ、是ハ支那事變デ一番恐シイモノハ、敵デヤナイ、「マラリヤ」ト云フ敵ダ、此ノ「マラリヤ」ニ對スル對策ヲ講ズルニアラザレバ、是ハ今後、北支デハサウ澤山ハアリマ

セヌガ、中支、南支ノ戰爭ニハ可ナリ支障ガ起ルノデハナカラウカト云フ考ヲ素人ナガラ持チマシタ、無論「マラリヤ」ハ風土病デアリマシテ、不可抗力デアリマス、無論軍ハ施設ヲヤツテ居リマス、塹壕ノ中ニ行ツテ見マスト、夜中デモ頭ダケニ小サイ蚊帳ヲ拵ヘテ冠ツテ居リマス、百三四十度ノアノ暑イ支那ニ於テ、軍トシテノ施設ハ左様ニヤツテ居リマスケレドモ、間ニハアリマスケレドモ、斯様なコトハ何處デモ實行ノ出來得ル問題デハナイト私ハ感ジマス、ソレヲ見テ洵ニ氣ノ毒ニ感ジマシタ、是ハ何トカシナケレバナラヌト云フ考ガ切々ト起リマシタ、ソコデドウスレバ宜イカト云フコトニ付テ、キツト陸軍省、厚生省方面デハ御研究ニ相成ツテ居ルコトト思フノデアリマス、ソレハ「マラリヤ」ヲ癒スニハ絶對ニ效ク「キニーネ」ガアリマス、併シ「キニーネ」ハ病氣ヲ癒ス一面ニ豫防モ出來ルヤウニ承リマシタ、「マラリヤ」ニ罹ツテモ熱ガ餘リ出ズ、サウシテ本當ニ患者トシテ取扱フ必要ナイヤウナ方法ト致シマシテ、是非豫防注射藥ヲ考ヘナケレバナラヌ、蚊ニ食ハレナイヤウニスル爲ニ頭ダケ蚊帳デ蔽ハセルト云フヤウナ施設デハ駄目ダ、ソナコトデハ戰爭スル時分ニ間ニ合ハナ

イ、仍テドウシテモ是ハ注射シテ置ケバ、蚊カラ食付カレテモ差支ナイ、斯ウ云ツタヤウナ方法ヲ執ルコトガ必要ダト思フノデアリマス、私極メテ其ノ點素人デアリマスルガ、唯見タ儘聞イタ儘ヲ率直ニ申上ゲマシテ、軍及ビ厚生省ノ之ニ對スル對策ヲ御伺致シマス、モウ一ツハ戰地ニ於ケル病院ノ設備ハ意外ニ立派デアリマス、是ハ奧地ニ參リマシテモ立派デアリマス、私漢口デ野戰病院ヲ見マシタガ、野戰病院ト申シマスルト、ソレコソ第一線デアリマスルカラ、特ニ設備ガナイ筈デアリマスルガ、私占領直後參リマシテモ、非常ニ野戰病院デサヘモ立派ナ施設ヲシテ居ルノヲ見マシテ力強ク感ジマシタ、併シ遺憾ナガラ軍醫ガ足りナイノデアリマス、一日ニ二百人或ハ三百人ヲ診察シナケレバナラヌト云フヤウナ病院ガアルコトヲ見タリ聞イタリシマシタ、或ハ平病患者デアリマスルト、四日モ五日モ六日モ診察ヲシテ呉レナイノデアリマス、無論平病患者デアリマスルカラ、四五日目ニ診レバ宜イノデアリマスケレドモ、病氣ハ氣カラト云フコトガアリマスルカラ、ヤハリ診察ヲシテヤルコトガ精神的治療ノ上ニ於テ非常ニ宜イト思ヒマス、此ノ缺陷ヲ補フ爲ニハドウシテモ軍醫ノ増員ト云フコ

トガ非常ニ必要ダト思フテ居リマスルガ、此ノ対策如何、モウ一ツハ戦地ニ於テ重傷兵ガ出来タ、將校デアツテ是ハ放ツテ置ケナイト云フヤウナモノヲ飛行機デ輸送シテ助ケケタ例ガ今度ノ事變ニ段々アルコトヲ承リマシテ、私ハ非常ニ其ノ機敏ナル處置ニ對シテ心カラ敬意ヲ拂ヒマシタ、併シ此ノ方法ヲ兵ニマデ徹底セシムルコトガ非常ニ必要ダ、負傷シタ、放ツテ置イタラ死亡スル者ガ多々アルノデアリマスルカラ、此ノ手當ヲ迅速機敏ニスルコトガ必要ダト致シマスルナラバ、飛行機ノ輸送ノ如キハ極メテ必要ナコトダト思フノデアリマス、之ニ對スル御所見ヲ承リタイ

○中村政府委員 軍ニ關係スルコトガ多ウゴザイマスカラ、軍ノ方カラ先ニ御答辯申上ゲマス、第一番ニ「マラリヤ」ノ件デアリマスガ、確ニ今次事變、殊ニ中支ノ作戦ニ於キマシテ、「マラリヤ」熱ニ惱マサレタコトハ作戦上ニモ障碍ガアリ、且ツ將兵ニ一方ナラヌ苦痛ヲ掛ケタコトハ今御話ノ通りデアリマス、併シナガラソレガ豫防対策ト致シマシテハ、軍トシテハ最善ノ努力ヲ拂ヒマシテ、殊ニ「キニーネ」ノ如キ藥品ノ非常ニ多量ニ要ルモノモ日夜奔走致シマシテ、諸方面カラ集メテ應急ニ遺憾ナカラシメタノデアリマス

〔委員長退席、田村委員長代理著席〕

凡ソ我方軍醫界ニ於テ盡シ得ル所ノ又考ヘ得ル所ノ最善ヲ盡シテ、少シデモ作戦能力ニ缺陷ヲ來サナイヤウニ、又是ガ爲ニ將兵ヲ惱マサセナイト云フコトニ付テ、出來得ル萬全ノ策ヲ執ツタコトハ茲ニハツキリ申上ゲルコトガ出來ルノデアリマス、併シナガラ未ダ不幸ニシマシテ、吾々モサウ云フコトヲ考ヘテ居リマスガ、注射薬ト云フヤウナ洵ニ都合ノ好イ豫防薬ノ發明ノ出來ナイト云フコトハ甚ダ残念デアリマスルガ、日夜研究ヲ重ネテ居リマスカラ、我方軍醫界ノ威力デ私モ必ズ黎明ヲ見ルコトト思フテ居リマス、附加ヘテ申上ゲマスガ、此ノ「マラリヤ」ハ一時癒ツテ居リマシテモ、又再發ヲ致シマスル潜伏性ノモノガアリマスルノデ、内地ニ歸還シタ兵ガ郷里ニ歸ツテ再「マラリヤ」熱ヲ出スト云フコトニナリマス、更ニ「アノフェレス」ノ媒介ニ依ツテ、アノ質ノ悪イ「マラリヤ」ガ更ニ内地ニ蔓延ラスルト云フヤウナコトニナリマシテハ由々シイコトデアリマスルノデ、此ノ點ニ付キマシテハ、更ニ一層注意ヲ致シマシテ、完全ナル治療ヲ實施ヲシテ召集ヲ解除スルト云フヤウナ方法ニ付テハ、今鋭意實施ヲシテ居リマスカラ、此ノ點御諒承ヲ願ヒタ

イト思ヒマス、第二番目ノ御問デアリマスル戦地ニ於キマスル所ノ病院、軍醫、診察ト云フヤウナ關係デアリマス、是亦十分注意ヲ致シマシテ病院ノ施設ハ勿論、軍醫ノ充足、治療、看護ト云フコトニ遺憾ナキヲ期シテ居リマスガ、如何ナル時期ニ御視察ヲ願ツタノカ知りマセヌガ、戰鬪直後ノ收容、野戦病院カラ野戦豫備病院ニ收容ヲシタト云フヤウナ、其ノ直後ニ於キマシテハ私モ其ノ業務ニ携ハツタ者デアリマスカラ、能ク承知ヲシテ居ルノデアリマスルガ、非常ニ混雜ヲシテ中々思フ通り行カヌコトガゴザイマスガ、多少落著キマシテ、少クモ豫備病院ニ收容スル頃ニナリマスレバ、概ネ整頓ガ出來マシテ、何等名譽アル傷兵ニ不自由ヲ掛ケテ居ラヌト思ヒマス、併シナガラ此ノ取込シタ時ニ於キマシテハ、多少ノ手落モアリ、又軍醫モモウ一人アツタラ、モウ二人アツタラト云フ苦痛ヲ感ズルコトナキニシモアラズデアリマス、併シナガラ總體ニ睨ミマシテ目下諸対策ヲ講ジマシテ、此ノ軍醫ノ數モ充足ヲシテ居リマス、無論多少ノ缺陷ハアルニ致シマシテモ、大體ニ於テ充足ヲシテ居リマス、次ニ三四日診斷ヲ受ケナイ者ガアルト云フ御指摘デアリマスガ、是ハ其ノ患者ノ個々ニ付テ見レ

バ——此處デ一寸私ガ申上ゲテモ當ラヌカト思ヒマスガ、特別ナ患者デアリマスレバ、或ハ他ニ尙ホヨリ重要ナル患者ヲ澤山持ツテ居ル場合ニハ、モウ平病ニ近付イタヤウナ患者ハ三日或ハ四日ハ主任ノ軍醫ガ手ヲ掛ケヌコトガアルカト思ヒマスガ、ソレニシテモサウ云フヤウナコトハサウ例ノナイコトデアリマスカラ、何カ特別ナ例デハナカツタラウカト思ハレマス、次ニ重傷者ノ飛行機輸送デゴザイマスガ、是ハ狀況ガ許シマスレバ患者第一主義ニ基キマシテ、先ヅ患者ト云フコトデ行クノデアリマスルガ、戰鬪ノ爲ニ已ムヲ得ナイ場合ニハ、患者輸送ト云フヤウナコトモ或ル程度ニナルコトガアルドラウト思ヒマス、尤モ此ノ能否ノ分ルル所ハ患者輸送機ノ數ニ依ルノデゴザイマシテ、患者輸送機ガ多ケレバ多イ程結構デアリマスガ、是亦全般カラ考ヘラレルコトデゴザイマシテ、現在アルダケノ患者輸送機ハ遺憾ナク其ノ目的ニ使ハレテ居ルコトト思ヒマス、將來ノ施設トシテハ勿論許ス限リ斯ウ云フ方面ニ力ヲ注ギマシテ、名譽アル傷病兵ヲ一人デモ完全ニ早く治癒スルト云フコトニ付テ萬全ヲ期シテ居リマス

○伊東委員 「マラリヤ」ニ對シマシテハ最

善ノ對策ヲ早急ニ講ジテ戴キタイト云フコトヲ希望致シマス、兵隊ハ戰場ニ臨ンデ戦死スルト云フコトハ覺悟致シテ居リマス、併シ成ベクナラバ戦死セズニ長ラク國家ノ爲ニ盡シテ戴カナケレバナリマセヌ、ソレニ付テ鐵兜ハ戰鬪中非常ニ役ニ立ツテ居ルト云フコトハ事實デアアルガ、致命的ノ場所ハ頭バカリデナクシテ腹若クハ心臓デアリマス、併シ腹ニ對スル防護ハ動作ノ上ニ於テ到底出來マセヌガ、一番致命傷トナル心臓デアリマス、此ノ心臓防護器ト云フヤウナモノガ私ハ簡單ニ出來得ルモノト思フ、是ハ鐵兜ヨリモ簡單ダト思ヒマス、サウシテ戦死若クハ負傷スル率ヲ減少スルノ案ハ陸軍ニハアリマセヌカ、此ノ點ヲ御伺致シマス

○中村政府委員 速記ヲ止メテ戴キタイト思ヒマス

○田村委員長代理 ソレデハ速記ヲ止メテ……

(速記中止)

○田村委員長代理 速記ヲ始メテ下サイ

○伊東委員 モウ一點ダケ御尋致シタイ、

參考書類ノ「適齡未滿現役志願者狀況調査表」ニ依リマス、其ノ合格者ハ昭和九年ハ四割九分、十年ガ五割四分、十一年ハ五

割四分、十二年ハ五割八分、十三年ハ六割三分ト云フ割合ニ合格ヲ致シテ居リマス、是ハ入營適齡前ノ現役志願兵デアリマス、十七歳カラ十七、八、九歳デアラウト思フノデアリマス、ドウモ之ヲ見テ、此ノ志願兵制度ノ問題ヲ後テ強調シタイカラ此ノ點ヲ御伺致スノデアリマスガ、ドウモ合格率ガ少イノハ規格ガ違ツテ居ルノデハナイカ、モウ少シ合格スル筈ダトドウモ常識上カラ考ヘラレルノデアリマス、少クトモ現役志願ヲスル者ハ體格ハ自ら任ジ、又元氣ニ於テモ將來ノ兵隊トシテ自ら任ジテ居ル志願兵デアリマスカラ、私ハモウ少シ合格率ハ高率デナケレバナラヌト思ヒマスニモ拘ラズ、斯ウ云ツタ結果ハ、是ハ徵兵検査ノ規格ガ一般ノモノト違フノデハナカラウカ、此ノ點ヲ御伺致シマス、此ノ表ハ十七歳ノ者ヲ標準ニ致シテ居リマス、ソコデ是ガ十九歳ニナレバ益、體力ガ良クナル、殊ニ十九歳ニナレバ私ハ殆ド合格スルダケノ力ガアルノデハナカラウカト思フ、是ハ是カラ御尋スル私ノ適齡十九歳説ヲ強調スル意味ニ於ケル質問デアリマス

(田村委員長代理退席、委員長著席)

ダカラ此ノ表ヨリモ十九歳ニナレバモツト合格率ガ増スノデハナカラウカ、斯ウ云フ工

合ニ考ヘテ居リマスガ、此ノ點ハドウデアリマスカ、又現役志願兵ハ入營後ノ體位ガ非常ニ良クナルト思ツテ居リマス、補充兵等ヲ見マスト入營セシメ、或ハ戦地ニ連レテ行ツテモ中々罹病率ガ多イノデアリマスカラ、此ノ規格及ビ入營後ニ病氣ニ罹ル率、ソレカラモウ一ツハ現役志願兵ハ積極的ニ之ヲ獎勵スレバ、ウント數ハ増加スルト豫想致シマスルガ、參考書ノ表ニ依リマスト私ノ想像ヨリモ少イ、之ヲ積極的ニ獎勵スレバウント増加スルト云フ私ノ見當ハ間違ツテ居ルカ、間違ツテ居ラヌカ、此ノ點ヲ御尋致シマス

○中村政府委員 御答致シマス、第一ノ志願者ノ規格ニ付テ辛クハナイカ、差異ハナイカト云フ御問デアリマスガ、是ハ規格ニハ變リハアリマセヌ、第二ノ十七歳カラ採

ツク者ガ十七歳ハ悪イガ十八歳、十九歳ニナルトメキ、上ツテ、十九歳ニ於テハ最モ良クハナイカト云フ、斯ウ云フ御尋デアリマスガ、十七歳デ採ツテカラ十八歳、十九歳、丁度此ノ志願者ノ統計ヲ、是ハ先般來隨分調べサセタノデアリマスガ、是ハ洵ニ私ノ方ニモ良イ材料ニナリマスシ、又只今ノ仰セニ對シテモ良イ材料ニナリマスガ、調べサセテ居ルノデアリマスガ、

志願者ノ全部ヲ集メテ統計ガ見付カラヌノデゴザイマスカ、ヤツテナイノカ、其ノ二ツデゴザイマスガ、未ダ手ニ入りマセヌノデ數字ヲ擧ゲテ茲ニ御確答ヲ申上ゲルコトノ出來ナイノハ遺憾デアリマス、私ノ見ル所ハ十七、十八、十九、二十ト云フ此ノ年ハメキ、ト思想的ニモ肉體的ニモ總テ心身共ニ發達ヲスル時期デアルト考ヘテ居リマス、其ノ次ノ御尋ノ十七歳ノ志願者ノ合格率ガ非常ニ少イノハ、此ノ時代ノ體格ガ惡イノカト云フヤウナ御話モアリマシタガ、是ハ事實自分ガ體格自慢デモアリマセウシ、又非常ニ軍隊ヲ志望シテ飛込ンデ來ル志願者デアリマスカラ、總テノ要素ガ實際完全ニナツテ居ルベキモノト見ルノガ、先ヅ當リ前ダト思ヒマスガ、ソレニ付テ既ニ斯ウ云フ「パーセンテージ」ヲ出シテ居ルトシタナラバ、十七歳ト云フヤウナ時代ニ徵兵シタラ、ソイハ不適當ダ、斯ウ云フコトニハ一應言ヒ得ルカト思ヒマス、併シナガラ又反對ニ申シマス、十七歳ト云フモノノ中ニハ、自分ハ徵兵マデ待タズ早く兵役ヲ終ツテ、爾後自分ノ職業ナリ其ノ他都合ノ好イヤウニシヨウト云フヤウナ考ノ人モ可ナリアル、又中ニハ子供ノ時カラ早くリ所謂出世ノ登龍門トシテ早く中將、大將ヲ

志シテ行クト云フ青年モ、今ハ非常ニ多クナリマシタ、將校ニナル者モ可ナリアルノデゴザイマス、隨テ十七ダケヲ捉ヘテ今決定的議論ハ出來ナイダラウト思ヒマス

ソレカラ又入營後ノ體格ハドウナルカト云フ御尋デアリマスガ、入營後ハ二十歳ノ者ヲ採リマシテモ發達ヲ致シマス、身長ニ於テ、體重ニ於テ増加ヲシマス、況ヤ十七歳ノ者ハ逐次發達ヲスルコトハ當然デアリマス、所ガ案外十七歳ヲ採ツタ者ガ、爾後ノ經過ニ於キマシテ罹病率、或ハ缺損ガアルノデアリマス、其ノ一面ノ理由トスル所ハ、十七歳ノ者ニアノ重イ背囊ヲ脊負ハシテ山野ヲ跋涉セシメ、變ツタ生活ヲヤラセルト云フコトハ、少シ此ノ年齢デハ無理デハナカラウカ、一方又斯ウ云フ證據ニモナルノデアリマス、次ニ最後ニ、積極的ニ志願兵ヲヤラセヨウト云フコトニ付テノ可否ノ問題デゴザイマスガ、我方陸軍ニ於キマシテハ、今此ノ十七歳程度ノ者ヲ、積極的ニ志願ヲ勸メルト云フ考ハ持ツテ居ラヌヤウニ考ヘテ居リマス、大體是デ御尋ノ點ニ對シテハ御答シタト思ヒマス

○伊東委員 陸軍大臣ハ何時頃御出デニナルノデアリマスカ——陸軍大臣ノ御出デニナルマデ、更ニ中村兵務局長ニ質問ヲ繼續

致シマス、私ノ陸軍大臣ニ御尋スルコトハ三ツアルノデアリマスガ、其ノ三ツノ問題ノ見出ダケヲ申上ゲテ置キマス、サウスルコトガ中村兵務局長ノ御答辯ノ都合上宜カラウト思フノデアリマス、陸軍大臣ニ御尋致シマス第一點ハ、多兵主義ノ見地ヨリ、補充兵役ノ延長ハ已ムヲ得ヌトシテモ、幾多ノ缺陷ガアル、寧ロ年齢低下ヲ以テ臨ンデハドウカト云フノデアリマス、今一ツハ今度ハ精兵主義ノ見地ヨリ、兵役義務年限ハ之ヲ短縮シ、志願兵制度ヲ擴張シテハドウカ、而シテ兵役制ニ弾力性、政治性ヲ持タセタラドウカ、モウ一ツハ出征兵ノ差別待遇ハ、斷ジテ是正スベキト思フガドウカ、此ノ三ツノ問題ニ付テ、陸軍大臣ニ後カラ御尋致シマス、ドウゾ是ト連絡ガアルノデアリマスカラ、其ノ意味合ニ於テ御答ヲ願ヒタイト思ヒマス

中村兵務局長ニ御尋致シマス、第一ハ兵役義務ニ對スル衡平ナル犠牲ノ負擔ニ付キ、未就役家庭ノ奉仕金ノ贖出ニハ異議ナキモノト思フガドウカ、今日ハ理窟ハ一切抜キニ致シマス、意見ヲ申シマセヌ、唯事實問題ヲ率直ニ質問致シマス、ドウゾ明快ナル御答辯ヲ望ンデ置キマス、軍ハ兵役免除税ニ付テハ、絶對反對ヲ本會議デモサレ

テ居リマス、其ノ御方針ニ付テハ私ハ贊成デアリマス、併シナガラ御話ノヤウニ備兵主義ニナルコトハ、斷ジノ考ヘナケレバナリマセヌ、但シ私ハ國民皆兵ノ精神ニ基イテ、兵役義務ノ衡平ナル犠牲ノ負擔ヲスルコトハ、國ガ命ズルコトハ宜クナイノデアリマセウケレドモ、國民ノ自發的ノ負擔ニ對シテハ、軍モ再檢討シテ宜イデハナカラウカト、斯様ニ考ヘルノデアリマス、軍事扶助料ガ九千万圓以上豫算ニ計上サレテ居リマス、而シテ生活困難ナ出征軍人ノ家庭生活ノ安定ヲ圖ルヤウニ相成ツテ居リマス、田舎ニ行ツテ見マスト、日ノ丸ノ旗印ガ立ツテ居ル家ガ出征軍人ノ家庭デアマスト、大雜把ニ申シマスト、五戸ニ對シテ一戸位日ノ丸ノ旗ガ立ツテ居リマス、其ノ日ノ丸ノ旗ガ立ツテ居ル家ハ、何レモ破レ家ノ貧乏人ノ家ガ八九割ヲ占メ、金持ノ家ニハ此ノ旗印ガ立ツテ居リマセヌ、サウシマスルト貧乏人ガ全ク兵隊ニ行ツテ居ルヤウナ氣ガ致スノデアリマス、ソコデ大體日本デハ家族ノ五分ノ一ガ、兵役ノ直接ノ義務ニ従フ、五分ノ四ハ直接ノ義務ヲ負ツテ居ラナイノデアアルカラ、此ノ點ダケハドウシテモ何トカ對策ヲ講ジテ、是正スベキモノダト思フ、私ハ日頃此ノ點ハ研究ヲ

致シテ居リマスガ、左様ニ考ヘテ居リマス、所デ軍ハ絶對的ニ兵役税ニハ反對ヲサレテ居リマス、茲ニオカシイノハ、後カラモ御話申上ゲマスケレドモ、出征軍人ノ中、官吏、會社員、或ハ工場ノ職工、是ニハ其ノ當時ノ給料ガ與ヘテアルノデアリマス、會社若クハ銀行、或ハ工場、民間ノ事業家ガ、俸給ヲ出征當時取ツテ居ツタ通り支拂フト云フコトハ當然デアリ、又ソレガ宜イト私ハ考ヘテ居ル、所デ官吏ガヤハリ戰地ヘ行ツテモ、其ノ儘ノ俸給ヲ受ケルト云フコトガ、私ハ甚ダ不適當デハナイカト思フ、一體官吏ノ俸給ト云フモノハ、國民ガ納メタ税金デアリマス、國民ノ納税ノ一部分ヲ、出征シタ官吏ニヤルト云フコトハ、是ハ相當再檢討スベキ、考フベキコトト私ハ思フノデアリマス、ソコデ兵役免除税ヲ課スベカラズト云フコトハ、私モ贊成デアル、併シ兵役ニ服セザル家族ガ、國民皆兵ノ立場ニ於テ奉仕金トシテ、例ヘバ一戸十圓ツツ贖出シタトシマスト、日本デハ一億三四千万圓ノ金ガ出來ル、此ノ奉仕金ヲ地方ノ軍人援護會ノ如キモノガ受入レラレ、サウシテ服役者ニ之ヲ分配致シマスト、少クトモ五十圓、或ハソレ以上ニ相當スルト思フノデアリマス、而シテ奉仕金ハ平均十圓

デアリマスケレドモ、是ハ貧富ノ差ニ依ツテ、贖出サセル方法ナドハ、無理ノナイヤウニシテ宜イト思フノデアリマス、是ハ上カラ抑ヘルノデナクテ、奉仕金デアリマスカラ、下カラ自發的ニ出ル所謂愛國の表現デアリマス、是デアリマスルナラバ私ハ軍モ絶對ニ御反對ハナカラウト思フ、若シ之ニ御反對ガアルモノト致シマスレバ、出征官公吏ノ俸給全額支給ハ、廢スベキモノデアルト私ハ信ジマス、此ノ點如何デアリマスカ、是ニ付テハ他ノ議員カラ本會議ニ於テ、兵役稅ノ問題ヲ主張サレマシタ、私ハ兵役稅ト云フ名前ガ氣ニ食ハナイ、併シ私ノ言フヤウナ主張ナラバ、反對ハヨモヤナカラウ、斯ウ思フノデアリマス

モウ一ツハ物質的援助ガ軍ノ仰シヤルヤウニ惡イト致シマスナラバ、精神的ノ待遇ヲモウ一步進メテ御考ニナツタラドウカ、一體日本ハ家族制度デアリマス、出征兵ガ非常ナ手柄ヲ立テマスルト、金鵝勳章其ノ他最善ノ表彰ヲ受ケルノデアリマス、是ハ當然デアリマス、併シ其ノ功勞ヲ立テマスルニ付テハ、家族全體ノ後援ガアルカラデアリマス、否家族ダケデナクテ所謂舉國一致、全國民ガ斯ウシタ愛國の氣持デ戰爭ヲヤツテ居ルカラデアリマシテ、各人ノ手

柄モ左様ナ意味合ニ於テ、立派ニ出來ルト思フノデアリマス、ソコデ私思ヒマスルノニ、從前ハ戰爭ヲスル者ハ士族以上ノ者デ、百姓、町人ト云ツタヤウナ者ハ戰爭ヲシナカツタノデアリマス、其ノ意味合カラ、所謂士族ト云フモノニ對シテ、社會ガ之ニ敬意ヲ表シテ居ル、併シ段々社會ガ違ツタ方ニ進ンデ參リマシタ爲ニ、サウ云ツタヤウナコトハイケナイト云フコトニナリマシテ、四民平等ト云フコトニナリマシタケレドモ、特別ノ功勞ノアツタ者ハ、獨リ其ノ兵隊ダケヲ表彰スルバカリデナク、家族全部ヲ表彰スル意味合ニ於テ、名前ハ何ト付ケテ宜イカ知リマセヌガ、勳族トカ云フヤウナモノヲ與ヘタラドウデアラウカト云フ風ニ考ヘルノデアリマス、是等ノ點ニ付テ御意見ヲ承リタイト思ヒマス

○中村政府委員 只今ノ第一問ニ付テ御答ヲ申上ゲマス、兵役稅ニ類スルモノノ、又此ノ思想ニ近イヤウナモノノ物質的待遇ニ係ハルコトニ付キマシテ、陸軍ガ全然否認ヲシテ居ルコトハ、御承知ノ通りデゴザイマス、然ラバ兵役ニ服務ヲシナイ者カラ、其ノ收入ノ程度ニ應ジテ奉仕金ヲ出サシテ、兵役服務者ニ分配シタナラバドウデアるか、斯ウ云フコトデゴザイマス、私ハ若シ各人

ガ何等國家ノ法律、規則ニ依ツテ縛ラレルコトナク、眞ニ自己ノ自發的精神ニ依ツテ、ドウゾ之ヲ斯ウ云フコトニ使ツテ吳レト言ツテ支出ヲスル者ニ付テハ、是ハ何等拒否スル理由ハナイト思ヒマス、例ヘバ現在ノ國防獻金ナリ、愛國恤兵金ナリハ、皆ソレニ類スルモノト思フノデアリマス、隨テ只今御提案ノ奉仕金ト云フモノガ、サウ云フ性質ノモノデアリマシタナラバ結構デアリマスガ、併シ奉仕金ト名ヲ付ケテ、ソレヲ國家ノ法律、規則ヲ以テ制定ヲシテ、兵役ニ服務ヲシナイ者カラ取ルト云フコトニナリマスト、兵役稅トヤハリ五十歩百歩デナイカト考ヘルノデアリマス、デアリマスカラ何處マデモ自發的ニ、何等拘束ヲ受ケナイデ、本當ニ自分ノ精神ノ流露デアルト云フ、所謂獻納金デアリマスナラバ、是ハ拒否スベキモノデハナイ、寧ロ受理スベキモノト私ハ考ヘテ居リマス

其ノ次ハ、今ノ問題ニ關聯シマシテ、官吏ノ出征者ニ對スル俸給ノ御話デアリマシタガ、官吏ト雖モ現役ニ服務シタ者ハ俸給ヲ受ケテ居リマセヌ、即チ義務ニ服シテ居ルノデアリマシテ、現役ニ服シマスレバ、假令如何ナル高俸ヲ受ケテ居リマシテモ、ソレハ受ケテ居リマセヌガ、召集者ニ對シ

マシテハ、官吏トシテノ生活ヲ家族ガ營ンデ行ク上ニ必要ナモノデゴザイマスカラ、是ハ與ヘルガ當然ト思ヒマス、又各種會社ハドウデアアル、公設會社ハドウデアアル、私設會社ハドウデアアルト云フヤウニ色々例ガゴザイマスガ、是等ノ制度ハ必ズシモ缺陷ガナイトハ私ハ申上ゲマセヌ、缺陷ノアル所ハ是正セナケレバナラヌト思ヒマスルガ、前ノ奉仕金ヲ止メタガ爲ニ、官吏ノ俸給ヲヤツテハイカスト云フコトトハ、少シク考ガ違ツテ居リマス

其ノ次ハ精神的ノ待遇デゴザイマスガ、是ハ私共大イニ望ンデ已マナイ所デゴザイマス、此ノ點ニ於テハ全ク同感デアリマス、併シ出征ノ家族ニ全部特殊ノ名稱ヲヤルト云フヤウナコトハ、餘程關係スル所ガ廣ウゴザイマシテ、直チニ贊否ヲ申上ゲルコトハ出來マセヌガ、精神的ニ爲シ得ル範圍ニ於キマシテ、優遇シテ戴クト云フコトトハ、軍トシテハ洵ニ望マシイコトデアリマス、此ノ點何卒御協力ヲ御願シタイノデゴザイマス

○伊東委員 ソレカラ更ニ局長ニ御尋致シマスノハ、戰後ト云フコトハ何時ニナルカ、マダ前途遠遠ト思ヒマスガ、戰後ニ於ケル占領鐵道ノ警備ト、屯田兵制度ニ付テ

デアリマス、私ハ此ノ問題ヲ御尋スル前ニ、事變處理方針中、國民ガ最モ不滿トシテ居ル所ガアリマスカラ、之ヲ簡單ニ申上ゲ、サウシテ本論ニ入りタイト思フノデアリマス、國民ノ一番不滿ニ思フ點ハ、彼ノ領土の野心ナシト云フ聲明デアリマス、是ガ氣ニ喰ハヌノデアリマス、帝國ノ不動ノ方針トハ言ヒナガラ、數万ノ犠牲者ヲ出シテ、之ニ數倍セル戰傷病者ヲ苦シマシテ、サウシテ夥シイ國帑ヲ費シテ居リマス、領土モ要ラヌ、賠償モ取ラヌ、何デ是デ國民ガ承知ガ出來マセウ、今後戰爭ハ五年掛ルカ、十年續クカ、否東亞建設ノ爲ニ全ク支那カラ兵ヲ收メルト云フヤウナコトモ、到底困難デハナカラウカト思フノデアリマス、ソコデ領土ハ取ラズトモ、國民ノ考デハ地下物資ハ全部取ラナケレバイカストカ、或ハ占領鐵道ハ日支合辦タルベシ、揚子江ノ航行權ハ開設スベカラス、重要貿易港ヲ確保スベシ、海南島ハ日本之ヲ經營スベシト云フヤウナ主張ガ、國民ノ常識デアルト云フコトヲ、私ハ茲ニ明ニシテ置キマス、之ニ對スル何等ノ答辯ヲ要求スル譯デハアリマセヌ

トカ、或ハ其ノ他ノ駐兵制度ヲ確立サレルコトト思フノデアリマスガ、又是ガ當然デアリマス、戰地ニ行ツテ私共素人デ一番感ズルコトハ蒙古、北支、中支、南支、アレダケノ廣イ占領地區内ニ於ケル鐵道ノ警備ノ問題デアリマスガ、是ハ相當大キナ問題デアリマス、只今一驛ニ十人カ十五人位シカ警備兵ガ居リマセヌ、但シ三百人、五百人ノ敵襲ガアツテモ、難ナク之ヲ擊退スル所ニ、日本ノ兵ノ強サガアルノデアリマス、ケレドモ、將來長年ニ互リマスル此ノ鐵道警備ト云フ問題ハ、相當軍ノ方デモ御考ニナツテ居ルコトト思フノデアリマスガ、私ノ素人ノ考ヲ以テ致シマスナラバ、此ノ沿線兩側、少グトモ二千米位ノ耕作權ヲ獲得シテ、之ニ屯田兵ヲ配置スルト云フコトガ宜イデハナカラウカト云フ考ヲ起シマシタ、サウシテ作物ハ日本ガ一番困ツテ居ル所ノ棉作ヲ中心ニシテ、有畜農業ヲ經營サセル、サウシテ之ニハ專賣制度ニ依ツテ之ヲ補償スル、ソコデ戰爭ガ戦マツテ、支那デ農業ヲシタイト云フ希望者ガアツタ場合ニハ、ソレ等ノ人々ニヤラセル、是等ノ人ハ戰爭ニ非常ナル手柄ヲ立テテ居ルノデアリマスカラ、隨テ金鷄勳章ヲヤル、或ハ其ノ他ノ恩給年金ヲヤルト云フコトニ將來

ナルト思フノデアリマス、併シ支那デ一ツ百姓ヲシヨウト云フ兵隊ガ居リマスナラバ、金鷄勳章ハ無論與ヘナケレバナリマセヌガ、年金ノ代リニ土地ヲヤルコトガ一番宜イノデハナカラウカ、耕作權ヲ與ヘルコトガ一番良イノデハナカラウカ、例ヘバ功七級ニハ十町歩、功六級ニハ二十町歩、功五級ニハ三十町歩ト云フヤウナ土地ノ耕作權ヲ與ヘテ——領土ハ取ルコトガ出來ナイト云フノデアリマスカラ、耕作權ヲダケヲ取ツテ、サウシテソレヲ中心ニスル屯田兵ノ制度ヲ設ケルト云フヤウナコトニ付テハ、相當研究スル價值アルモノト私ハ考ヘマシテ、長イ間戰地ヲアチラコチラスル中ニ、是ノミラ色々現地ニ居ラレル兵隊ノ人達ヤ、將校ノ方々、或ハ特務機關等ニ就イテモ御意見ヲ拜聽シツツ歩イタノデアリマス、陸軍トシテ斯ウ云ツタヤウナ問題ニ付テノ御研究、及ビ御方針等ニ付テ伺ツテ置キタイト思ヒマス

○中村政府委員 只今ノ問題ハ非常ニ大キナ問題デアリマシテ、又是ハ少シク頭ノ置キ所ガ違ヒマスト、考モ亦非常ニ違ツテ來ルノデアリマス、無論事變處理方針ニ付テ、御不滿ノ點カラ出發シテ來テ居ルノデゴザイマスカラ、是ハ何處マデモ一ツ大キク出テ戴キマシテ、所謂八紘一宇、八紘ヲ掩ウテ宇ト爲スト云フ此ノ國ノ聲リノ詔ヲ吾々ハ奉ジテ、今ヤ此ノ八紘ヲ掩ウテ宇ト爲ス其ノ宇ノ主デアアル、サウシテ吾々ノ傘下ニ、憫レナル西洋文明ニ虐ゲラレタ東方民族ヲ救ツテヤルト云フ、斯ウ云フ自負心ト只今ノ八紘一宇ノ大精神、サウシテ之ヲ行フニハ何處マデモ、正シキヲ養ウテ行ク所ノ、所謂養正ノ日本、聲國ノ精神ニ基イテ、是ハ處置シテ行カネバナラヌモノト考ヘルノデアリマス、ソコデ處理方針モ全ク此ノ大處高處ニ立脚シテ出テ居ルノデアリマスカラ、先ヅ以テ此ノ點ヲ一ツ此ノ國策ニ副フヤウニ御指導モ下サイマシ、此ノ方針ニ基イテ、サテ占領地ノ警備ハドウスル、將來ハドウスル、斯ウ云フコトニ從ツテ行クコトニナルト思フノデアリマス、サウナリマスト少シク前提ニ於テ開キガアリマスト、ヤハリ此ノ警備、是ハ或ル條件ノ下ニ於テハ、私ハ非常ニ名案デアルト思ヒマス、或ル條件ノ下デアリマス、先ヅ八紘一宇ノ其ノ大理想カラ考ヘテ、又現地ノ實情ニ即シマシテ、御提案ノ此ノ方法ガ宜イカドウカト云フコトニ付テハ、此處デ私ガ今可否ヲ率直ニ申上ゲルコトノ出來ナイコトヲ、御許シ願ヒタイト思ヒマス、併シ或ル

條件ノ下ニ於テハ、是ハ御名案デアルト云フコトヲ私申上ゲテ置キタイト思ヒマス、之ヲ現在ノ政策ノ下ニ、現在ノ處理方針ノ下ニ於テ、現在ノ此ノ支那ニ適用スルガ宜イカドウカト云フコトハ、研究ヲセネバナラヌ所モアリハシナイカト思フノデゴザイマス、又年金ノ代リニ土地ヲヤルト云フコトハ、是ハ亦相當大キナ問題デアリマシテ、此ノ土地ナルモノモドウ云フヤウナ權利、ドウ云フヤウナ法則ニ依ツテヤルカト云フヤウナ事、又賞トシテ斯ウ云フモノヲ與ヘルノガ、恩賞ノ大典カラ言ツテ宜イカドウカト云フコトモ、亦是ハ非常ニ研究ヲ要スルコトト思ヒマス、是モ私トシテ明言シ得ナイコトヲ、甚ダ遺憾ニ存スルノデアリマスガ、唯茲ニ一ツ之ニ似タヤウナコトヲ申上ゲ得ルノハ、幾多ノ將兵ガアノ御指摘ノ通りノ活動ヲシ、アノ廣イ土地ニ於テ萬難辛苦ヲ排シマシテ、此ノ成果ヲ得

タノデアリマス、此ノ得タ成果ニ付テハ、遺憾ナク是等ノ參加將兵ニ與ヘヨウト云フコトハ、是ハ方針ヲ決ツテ居リマス、例ヘバ、開發會社ノ株ノ如キ、出征將兵ニシテ志ノアル者ニハ、優先權ヲ與ヘルト云フヤウナコトノ如キハ、其ノ一例デアリマス、政府モサウ云フ點ニ付テハ、大イニ著意ヲシ

テ居ルト云フコトヲ申上ゲマシテ、此ノ御質疑ハ此ノ程度ニ御辛抱ヲ願ヒタイト思ヒマス

○伊東委員 長期戦ト自給自足、及ビ兵食問題ニ付テ簡單ニ御尋致シタイト思ヒマス、中支ニ於ケル大冶ノ鐵山ヲ見テ、初メテ非常ナル感激ト凄味ヲ感ズル、蒙古ノ大同石炭ノ埋藏量ハ百二十億噸ト稱セラレテ居リマス、正シク世界一デ、撫順炭礦ノ十

村ノ壓迫不安ヲ除クト云フ方策ニナルノデアリマス、日本米ヲ食ハセルコトハ、日本兵ヲ愛スルコトト、モウ一ツハ強イ兵ノ源泉地デアアル農村ヲ助ケルコトニナルコトヲ、軍當局ニ能ク御認識願ツテ置キマス

ソコデ其ノ他ノ兵食ハ、大體長期戦ヲヤルニハ支那デ自給シ得ル對策ヲ講ズルガ宜イト思ヒマス、私特ニ痛切ニ感ジタノハ、今兵隊ハ戰地ニ於テ生野菜ガ無イノニ一番困ツテ居ル、何ガ一番欲シイカト兵ニ尋ネルト、生野菜ガ欲シイト云フコトヲ頻リニ言ツテ居リマスガ、此ノ生野菜ノ供給ガ十分ニ行ツテ居ナイ、所ガ私達ノ農村的ノ頭カラ見レバ何デモナイ、供給ノ方法ガアルノデアリマス、野菜ヲ作ル土地ハ占領シテ居ル所ニ無限ニアリマス、又兵隊ノ中デモ守備隊ハ時間ニ餘裕ガアリマスシ、大部分ガ百姓デアリマス、或ハ附近ノ支那人ヲ使ツテモ宜シイシ、支那人ノ持ツテ居ル農具ヲ使ヘバ宜シイノデス、其處デ農園ヲ拵ヘ、種子サヘ持ツテ行ケバ、アノ天與ノ支那ノ地味ニ於テハ、大根ノ如キハ種子ヲ蒔イテ十日目ニ立派ニ出來マス、サウ云フヤウニ生野菜ノ供給ガ出來ル方法ガアルニモ拘ラズ、現地ニ行ツテ見ルト、兵隊ハ生野菜ガ欲シイト云フコトヲ居ルダケデ、之ニ對シ

テ何等ノ施設計畫ヲシテ居ラナイノデアリマス、併シハ何デモナイノデアリマス、若シ兵隊デ出來ナケレバ、内地カラ技術員若干ヲ送ツテ計畫スルナラバ、是レ位簡單ニ行クコトハナイノデアリマス、サウシテ兵ノ希望シテ居ル野菜食ヲ、ウント擣ラセ

ルヤウニシテ貰ヒタイ、現地デハ脚氣ニ罹ツテ居ル者ガ澤山アリマスガ、ヤハリサウ云ツタヤウナ者ニ對スル一ツノ對策ニモナルノデハナカラウカト思フノデアリマス

モウ一ツハ馬糧デアリマスガ、是ハ支那デ全部現地調辨スルノガ一番宜イノデア

ル、豆ノ如キモノデモ、其ノ他ノモノデモ、馬糧ハ殆ド支那デ出來ルノデアリマス、ソコデ一ツ私不思議ニ考ヘタコトハ、馬糧ノ中ノ乾草デアリマス、夥シイ乾草ガ馬糧トシテ送ラレテ居ルノデアリマス、ソレハ農村ニ供出ヲ命ジテ、農村ハ軍ノ言フコトデアリマスルカラ、無イナガラモ之ヲ拵ヘテ、豫定ノ數量ヲ軍ニ納メテ之ヲ戰地ニ持ツテ行ク、戰地ニ行クマデニハ非常ナル船腹ヲ要スル、日本ハ船腹ノ不足デ惱ムデ居ルノデアリマス、所デ乾草ハ非常ナ容積ノ大キイモノデアリマスカラ、益々以テ困ル、昨年ノ十二月マデハ兵隊ニ送ル小包サヘモ送ルコトガ出來ナカツタト云フコト

ハ、是レ正シク船腹ノ不足ノ結果デアルト
 思フノデアリマス、所デ馬ニ與ヘル爲ニ、
 アノ容積ノ大キイモノヲ送ルト云フコトハ
 益、船腹ニ影響スル、サウ云フモノハ支那デ
 幾ラデモ求メ得ラレル、支那ノ草ハ非常ニ
 立派ナ草デアリマス、而モ支那ハ勞力モ安
 イ、日本ノ五分ノ一デアアル、日本ノ農村ノ
 勞力ノ無イ時ニ、高イ勞力デ左様ナコトヲ
 セヌデモ、支那ノ安イ勞働力ヲ利用シテ、
 豐富ナ草ヲ乾草セシメレバ宜イ、又支那ハ
 非常ニ雨ガ少イノデ乾草ニ都合ガ好イ、日
 本カラ持ツテ行ツタ草ヲ能ク調ベテ見ル
 ト、中ノ腐ツテ居ルモノガ澤山アル、是レ
 位ヲカシナコトハナイト考ヘマシタ、併
 シ戦争ノ都合デハ無論準備シテ置カナケレ
 バナリマセヌ、全部現地調辨モ出来マセヌ
 カラ、或ル程度日本カラ送ルコトガ必要ダ
 トハ思ヒマスケレドモ、斯ウ云フヤウナコ
 トハ、ヤハリ政治家ノ方ガドウモ早ク感ズ
 ル、陸軍ノ經理部ノ方デハ、與ヘラレタ豫
 算ヲ使ヒサヘスレバ宜イノダカラト云フヤ
 ウナ建前デ、支那ニ幾ラ物ガアツテモ構ハ
 ズ、ドン／＼金ヲ使ツテ行ク、サウ云フコ
 トノ如キハ可ナリ考ヘナケレバナライイ問
 題ノヤウニ感ジマシタガ、此ノ馬糧ノ中ノ所
 謂乾草ヲ、内地カラ輸送スルト云フヤウナ

コトハ、私ハ非常ナル矛盾ガアルト云フコ
 トヲ指摘シテ、再検討ヲシテ戴クコトハ出
 來ナイカト云フコトヲ、御尋スルノデアリ
 マス
 ○中村政府委員 只今現地御視察ノ結果ニ
 基ク精細ナル御意見ヲ承リマシタ、洵ニ感
 謝シテ居リマス、折角ノ御尋デアリマスカ
 ラ、一應考ヘテ居ル所ヲ申上ゲタイト思ヒ
 マスガ、先ヅ只今ノ御質疑ノ點ニ付テ御答
 申上ゲル前ニ、次ノ點ヲ大體――餅屋ガ餅ノ
 事ヲ言フノデアリマスカラ、誤リナイト思
 ヒマスノデ、此ノ點ハ一ツ豫メ御承知ヲ願
 ヒマス、總テノ戦地ニ於ケル衣食任、殊ニ
 糧秣補給ニ關シマスコトハ、軍ノ作戰ノ性
 質ニ依リマシテ、言換ヘマスレバ、モウ駐
 留シテ其處ヲ動かヌノカ、而モ相當長イ期
 間其處ニ居ルノカ、或ハ作戰ノ一ツノ段落
 デ其處ニ居ルノカ、或ハ活潑ナル運動戰ヲ
 續ケテ居ルノカ、又近ク運動戰ヲヤラナケ
 レバナラスノカ、而モ其ノ運動戰タルヤ攻
 撃ニ次グニ追撃ヲスル、其ノ追撃モ目標ヲ
 遠イ所ニ置イテ居ツテヤルノカ、色々ア
 ル、其ノ場合ニ於ケル後方ノ之ニ對スル衣
 食任ノ準備デアリマスガ、是ハ様々ニ變ル
 ノデアリマス、其ノ如何ナル時期ヲ御覽戴
 キマシタカニ依ツテ、少シク感想モ違フト

思ヒマス、其ノ點ダケヲ一ツ最初ニ御諒解
 願ツテ置キマス、例ヘバ運動戰ニ引續キ大
 追撃戰ヲ遠イ所マデヤルコトニナリマスト、
 是ハ兵糧ヲ敵ニ因ルノハ、古來ノ例デアリ
 マスケレドモ、ヤハリ是ハ後方カラ準備ヲ
 シテ置イテ、其ノ大作戰ニ錯誤ノナイヤウ
 ニシナケレバナリマセヌ、若シ戦地ニ於ケ
 ル物資ニ頼リ損ヒマスト、遂ニ清野ノ策ニ
 モ遭フ、殊ニ蔣介石ハ一時ハ清野ノ策ヲ備
 ヘテ居ツタ、私ガ九江ニ入ツタ時ナドハ、
 全ク九江ハ破壊セラレテ、何一物モ無カツ
 タト云フヤウナ状態デアリマス、サウナル
 ト如何ニ物資ノ豐富ナ土地ト平生ハ睨ン
 デ居リマシテモ、サウハ行カナイ、又水デサ
 ヘモ井戸ニハ皆、コレラ「菌ヲ放リ込」ンデ居
 ル、サウナルトアノ滿々タル揚子江ハアツ
 テモ、水マデモ持ツテ行カナケレバナラス、
 況ンヤ方百里總テ是レ燕麥ノ地デアルヤウ
 ニ見エマシテモ、彼等ハ細菌ヲ撒イテ馬ニ
 與ヘル物トテナイ、見ス／＼彼處ニ立派ナ
 西瓜畑ガアルケレドモ、其ノ西瓜一ツ食
 フ譯ニ行カナイ、ソレニハ皆「コレラ」菌
 ヤ、「チブス」菌ヲ注射シテ居ル、斯ウ云フ實
 例ガアツタノデアリマス、サウナルト、糧
 ヲ敵ニ因ルドロデハナイ、敵ノ糧ハ一切
 使ヘナイ、家ニシテモサウデアリマス、私共

或ル家ニ入ツテ、寒イカラ温突ニ火ヲ入レ
 テ居ルト、夜中ニ大爆發ガ起ツテ、吹ツ飛
 ンデシマツタ、ソレハドウシテカト言フト、
 温突ノ中ニ地雷ヲ仕掛ケテ居ツタ、寒イ時
 ニ家ガアルト思ツテ家ニ入りタクモ入レナ
 イ、ヤハリ天幕ヲ張ツテ住マナケレバナラ
 スト云フヤウナ状態デ、天幕モ張ラネバナ
 ラヌノデアリマス、デアリマスカラ、後方カ
 ラ馬糧ヲ送ルト云フヤウナコトハ、是ハ成
 ベク最小限度ニシタイ、御指摘ノ通りサウ
 シタイガ、儲テ今ノヤウナコトデアリマス、
 又モウ一段注意深クスルト、敵ガ細菌ヲ撒
 クト云フヤウナコトデ、戦地ノ物ハ一切使
 ヘヌト云フヤウナコトモアル、是ハ強チ經
 理部ノ部員ガ算盤ヲ彈キ損ネタ譯デモナイ
 ダラウト思ヒマス、作戰上ノ必要デ、命令
 ニ依ツテドン／＼船腹ヲ費シテモ送ラシタ
 ノデハナイカト思ハレルノデアリマス
 次ニ野菜ニ關スル所ノ御著想、是ハ全ク
 御指摘ノ通りデアリマス、私共モ一地ニ著
 キマスレバ、直グニ先ヅ庭先カラ播カシマ
 シテ實施ヲサシテ居リマスカラ、將來ハ斯
 ウ云フ物ハ――勿論特別ナ物ヲ除クノ外
 ハ―――現地支給ト云フコトニナラネバ嘘ダラ
 ウト思ヒマス、米デゴザイマスガ、米ハ御
 著想ノ通り、相當農村ノ關係モアリマスノ

デ御著眼ノヤウナコトハ吾々モ深ク考ヘテ居ル所デアリマス、併シナガラ又作戦ノ特別ナル時機ニ於キマシテハ、方法ハ自ら變ツタモノノアルコトハ、是ハ已ムヲ得ナイト存ジマス、原則トシテハ今御指摘ノヤウナコトハ、大イニ考慮スベキコトト考ヘテ居リマス、以上甚ダ簡單デハゴザイマスガ、軍ト致シマシテモ、無論長期戦ニ備フル爲ニハソレニ最モ適應シタ衣食住ノ方法ヲ執ルト云フコトニ付テハ、最善ノ努力ヲ盡シテ居リマスガ、作戦ノ目的並ニ其ノ性質ニ依リマシテハ、已ムヲ得ズ内地カラ送ラネバナラスト云フコトガアル點ヲ御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマス

○山本委員長

一寸速記ヲ止メテ……

〔速記中止〕

○山本委員長

ソレデハ速記ヲ——瀧澤君

○瀧澤委員

私ハ簡單デアリマス、既ニ中

村政府委員ヨリ大臣ハ御聽キ下スツタコト

ト思ヒマスガ、私ガ特ニ大臣ニ御致シタ

イト申上ゲマシタコトハ兵役ノ徵集年限低

下ノコトニ付テデアリマシテ、色々貴族院

ナドニ於ケル御答辯モ伺ツテ置キマシタガ、

尙ホ私ハ別ノ觀點カラ致シマシテ、青年學

校ガ七箇年ノ年限ヲ以テ十四年度カラ一齊ニ施行セラレルコトニナツテ居リマスルガ、

此ノ七箇年ヲ經ツタ十九歳ノ年、即チ二十歳ヨリ一箇年先ニ青年學校ヲ卒業シタ年ニ於テ兵役ニ取ツテ戴クコトガ本人ノ職業ノ爲ニ、其ノ他色々ノ便利ノ上カラ非常ニ宜イ、斯ウ考ヘマシテ先般御致シマシテ、中村政府委員ヨリハ、其ノ點ハ今マデ唯單ニ十七歳ニセヨ、十八歳ニセヨト言ハレル案ト違ツテ、吾々ハ十分考究シテ見ナケレバナライコトデアルト云フ御答辯ガアリマシタ、此ノ點ニ關シテ特ニ大臣ノ御考ヲ伺ツテ見タイ、是ハ重大ナルコトデアルト考ヘマス、又行ツテ戴クニモ行ヒ易イコトデハナカラウカ、是ハ素人考デアリマスケレドモ、其ノ點ヲ私ハ御伺ヲ致シタイト存ズルノデアリマス

○板垣國務大臣

此ノ年齢ノ問題ハ兵役ニ

服スル者トシマシテ、最モ慎重ニ研究ラシ

ナケレバナラヌ問題デアリマスノデ、只今

ノ所ハ二十歳デ是ハ諸般ノ兵業ニ服セシメ

ル上カラ言ウテ適當デアルト云フコトニ考

ヘテ、之ヲ改正スル意思ハナイノデアリマ

スガ、今ノ御意見ハ固ヨリ確ニ一理アルコ

トト考ヘマスルシ、尙ホ此ノ短縮ニ付キマ

シテハ、ヤハリ十九歳カラトカ、或ハ十八

歳カラトカ云フヤウナ問題モ伴ツテ必ズ起

ツテ來ル問題デモアリマスシ、旁、是ハ慎重

ニ十分研究シタイト斯ウ考ヘテ居ル次第デアリマス

○伊東委員 同ジヤウナ質問デアリマスルガ、陸軍大臣ニ御尋シテ置キタイト思ヒマス、皆兵主義ノ見地カラ補充兵役ヲ延長サレマシタコトハ已ムヲ得ナイトハ思ヒマスルガ、之ニハ私共ノ見ル所デハ幾多ノ缺陷ガ生ズルノデハナカラウカト思ツテ居リマス、ソコデ寧ロ年齢低下ヲ以テ臨マレタナラバドウカト云フ問題デアリマス、今回ノ兵役法ノ改正ノ重點ハ主トシテ皆兵主義ノ確立デアリマス、日本ハ精銳第一主義ガ

兵制ノ原則デアルト云フコトハ陸軍大臣先

般御述ノ通りデアリマス、而シテ國防ノ要

求上、精兵、大兵並行主義モ亦必要ニナル

ノデ、今度ノ改正ノ如キハ眼目ヲ此ノ點ニ

置カレタヤウニ思フノデアリマス、次ニ兵

役法第十二條、第十三條、第十四條、第十

六條、第二十條、第四十三條、第四十五條

等ノ緩和條項ガアリマス、之ニハ先般來色

色ナ議論ガ行ハレマシタガ、私ノ見ル所デ

ハ、此ノ緩和條項コソ本當ニ國トシテノ大

慈悲心デ、茲ニ日本ノ兵役法ノ妙味モアレ

バ、特徴モアルト私ハ信ジマス、就中今度

ノ改正サレマシタ第十條、第十二條ニ於テ

テ短期現役制度ヲ廢止サレマシテ、國民教

育ニ從事スル小學校教員ニ軍事教練ノ徹底

ヲ期セシムルト云フ最モ適切ナル改正ダト

思ヒマス、但シソレニハ缺陷モアリマスカ

ラ、之ヲ補フ對策ヲ講ジナケレバナリマセ

ス、更ニ第四十一條ニ於テ徵集延期ノ期間

ヲ短縮シ、且ツ戰時又ハ事變ニ際シ、特ニ

必要ナル場合ニハ、勅令ノ定ムル所ニ依リ

徵集延期ヲセシメザルコトヲ得ルノ規定ヲ

設ケルノ途ヲ開カレタコトハ、本改正ノ最

モ大所高所カラ見タ教育的處置ダト私ハ考

ヘマス、單ナル親心カラ云ヒマスルナラバ

議論モアリマスルケレドモ、佛法デ云フ眞

ノ親心ハ、即チ此ノ改正ノ要領其モノガ親

心ダト私ハ思フノデアリマス、可愛イ兒ニ

ハ旅ヲサセヨ、鐵ノ教育、汗ノ教育、是ガ

缺ケテ居ルノガ現代日本ノ形式的教育ノ缺

陥デアリマス、之ヲ絶對的ニ打破シナケレ

バナリマセヌ、軍隊ニ於ケル彼ノ實行的ノ

教育、本法ガウント引締マツタ所ニ私ハ妙

味ガアリ、眞理ガアルト考ヘテ居リマス、

所デ大兵主義ノ便法トシテ、第八條ニ於テ

補充兵役十二箇年四箇月ヲ十七箇年四箇月

ト、他ノ豫後備役同様ニ擴大サレタコトハ

行キ過ギデハナイカト私ハ思ヒマスノデ、

本案改正中ノ此ノ點ダケハ、可ナリ檢討ス

ル餘地ガアルノデハナカラウカト考ヘマス、

今度ノ支那事變ヲ實地ニ付テ見マシテモ、三十七八歳カラ四十二三歳ト云フヤウナ豫後備ノ者ガ居リマスルガ、斯様ナ老兵ハ其ノ活動能力ニ於テ非常ニ缺ケテ居ル所ガアルコトハ恐ク事實デアリマセウ、況ヤ補充兵、就中第二補充兵ハ病氣ニ罹ル者ガ非常ニ多イ、一人患者ガ出来マスレバ、少クトモ正規兵一人ヲ損スルコトニナリハシナイカト素人ナガラ考ヘマス、此處ガ即チ大兵主義ノ缺陷ガ起ル點デハナカラウカト私ハ思フノデアリマス、ソコデ此ノ缺陷ヲ補フコトハ極メテ肝要デアリマスルガ、別ニ適切ナ途方アリハシナイカ、今度ノ改正サレタ方法以外ニマダ別ニ私ハアルコトヲ想像致シテ居リマス、ソレニ付テハ次ニ質問シタイト思ヒマス、ソシテ私ハ現制度ノ十七箇年四箇月ハ寧ロ引下グベキモノダト思ヒマス、ソコデ私ハ本會議以來主張シテ居ル十九歳ノ年齢低下ヲ決行サレマスコトガ一番宜イ、無論十七歳論トカ十八歳論ニハ私共異論ヲ持ツテ居リマスケレドモ、少クトモ只今瀧澤委員カラモ御話ガアリマスル十九歳論ニハ異論ナシ、陸軍大臣ハ色々研究スベキ所ガ非常ニ多イト本會議デモ、亦今日モ仰セデアリマスルケレドモ、是ハモウ餘リ論ズル餘地ハナイノデハナカラウカ、

補充兵役、就中第二補充兵デモ採ラナケレバナラナイ今日ニ差迫リマシテ、第二補充ノ如キハ戰爭ニ使ツテ——陸軍大臣能ク御承知ノ通りデアリマセウガ、役ニ立タヌ者ガ非常ニ多イノデアリマス、サウ云フ者ヲ強ヒテ三十七歳四箇月即チ三十八歳ニナルマデ引張ツテ置クコトハ、果シテ宜イノデアラウカ悪イノデアラウカ、軍ノ作戰上其ノ他ノコトニ付テハ私共分リマセヌケレドモ、大體常識カラ考ヘテ、此ノ點ハドウデアラウカト思フノデアリマス、ソコデ私ハ補充兵役ヲ斯様ニ延長スルコトハ適當デナイ、サウスルト兵力量ニ影響ガアルト致シマス、其ノ兵力量ノ補充ハ、私ガ本會議デモ御話致シマシヤウニ、青年學校ノ國營化ニ依ツテ軍事教練ノ十全ヲ圖リ、他面ニハ中等學校以上大學校マデノ全部ノ學校ニ向ツテ軍事教練ノ時間ヲモツト増加シテ、入營前ニ於ケル軍事教練ノ徹底ヲ圖ルト云フコトニ致シマスルナラバ、此ノ缺陷ヲ若干補フコトガ出来ルト思フノデアリマス、是等ノ施設ニ依ツテ大兵主義ノ兵量ハ常ニ保持サレルト私ハ想像致シテ居リマス、尙ホ先程カラ年齢低下ニ御反對デアリマスルガ、私ハ反對ノ理由ヲモウ少シ明確ニシテ戴クコトガ、將來此ノ問題ヲ研究スル上ニ

於テ非常ニ都合ガ好イト思フノデアリマス、唯民法上ノ成年論トカ、體位不熟論トカ云フヤウナコトハ問題デナイコトヲ附加シテ、更ニ陸軍大臣ノ御答辯ヲ仰ギタイノデアリマス、

○板垣國務大臣 兵員ハ量ト質ノ兩方面ノ問題ヲ考ヘナケレバナラヌノデアリマスガ、只今御意見ノアリマシタ現在ノ豫後備ノ最終ノ終結ガ年寄り過ギル、ソコデ今度ハ若クシテ十九歳カラヤル、此ノ十九歳ト云フ年齢ガ有ユル兵業ニ適スル年齢デアアルカドウカト云フコトハ十分研究ヲシナケレバナラヌ問題デアアル、斯ウ先般來申上ゲテ居ル譯デアリマス、ソコデ又豫後備兵ノ方ヲ延バス、更ニ老兵ヲ多クスルト云フコトハ、假令數ガ多クナリマシテモ、詰リ成ベク若イ方ガ宜イト云フコトニハ背ク譯デアリマスカラ、隨テソコマデ論ジマスレバ、今回採用致シマス所ノ補充兵役ヲ五年間延バスト云フ方法ハ、量カラ云ウテモ、質カラ云ウテモ、一番適當ナ方法デアルト云フコトガ言ヘルノデアリマス、現ニ此ノ支那事變ニ於キマシテモ多數ノ補充兵ガ召集ヲサレ、教育ヲサレ、サウシテ現地ニ於テ働イテ居リマス、是ハ現役兵ト劣ラヌ所ノ働キヲ爲シテ居ルノデアリマス、勿論將來ト致シマシテ

此ノ補充兵ノ教育ニ於テ其ノ質ヲ良クスル爲ニ十分力ヲ用ヒマシテ、第二補充兵マデモ教育ヲスルト云フコトニシテ居ルノデアリマス、サウ云フ關係ニ依ツテ量竝ニ質ノ問題ヲ維持シヨウトスルノデアリマシテ、今ノ十九歳案ニ俄ニ御同意出来ナイノデアリマス

○伊東委員 年齢低下十九歳論ハモウ陸軍デモ相當御研究ガ出来テ居ルト信ジテ居リマス、研究スル時代ハ既ニ過ギテ居ルト思ヒマスケレドモ、此ノ問題ヲ更ニ論議致シマスコトハ、時間ノ關係上申シマセヌガ、私ノ考ト段々接近シテ參リマス、更ニ御尋致シタイコトハ、今度ハ精兵主義ノ見地カラ兵役ノ義務年限ヲ私先程申シマスルヤウニ縮小スルトガ宜イ、其ノ代リ志願兵制度ヲ擴大スルトガ宜イデハナイカ、モウ一ツハ兵役ニ弾力性及ビ政治性ヲ持タスコトガ宜イノデハナイカト思フノデアリマス、精兵主義ハ日本軍隊ノ特質デアリマスコトハ、只今モ先般モ、陸相ノ御言明ノ通りデアリマス、精兵トハ心身トモ實質剛健デアリ、勇猛果敢ノ軍隊デアツテ、戰鬥ニ絶對ニ勝ツ所ノ強兵デアリマス、左様ニ申シマスルト、之ニハ現役兵制度ノ充實擴充ガ效果的デアルト云フコトハ勿論デアリマス、茲

ニ在營期間ノ延長ニ依ツテ技術ノ習熟ヲ高
度化スル主張ガ盛ニ最近行ハレテ、私共モ
承ツテ居リマス、併シテ私ハ青年學校ヲ充
實シテ、兵務ニ關スル訓練ヲ徹底シテ、サ
ウシテ十九歳カラ直ニ入營セシメタラバ、
別ニ在營期間ヲ延長スル必要ハナイト考ヘ
マス、更ニ私ハ補充兵ノ三十七年四箇月ノ
義務ハ先程申上ゲルヤウニ寧ロ行過ギテ居
ルト思フ、否、私ノ考ヲ以テ致シマスレバ、
後備兵モ寧ロ三十五歳位ニ短縮シテ宜イノ
デハナイカ、サウスト兵力量ニ關係スルカ
ラ軍ハ此ノ點ニ向ツテハ絕對ニ御反對ニナ
リマスコトハ想像致シテ居リマス、併シ之ヲ
補フノニ更ニ別ニ適切ナル方法ガ有リ得ル
トスル、サウシテ兵力量ニモ支障ガナク、而モ
精銳ナル所ノ軍隊ガ得ラレト致シマスレ
バ、敢テ御反對ノ要モナカラウト思ヒマス、
併シ大體ニ於テ御反對アルカノヤウニ想
像致シマス、ソコデ所謂兵役義務短縮ニ依
リ精銳ノ軍人ヲ補充スル方法ト致シマシテ
ハ、私ハ斯ウ考ヘテ居リマス、第一ハ入
營前ノ志願兵制度ヲ擴大スル、是ハ先程モ
色々ト議論ヲ致シマシタ、第二ハ三十五歳
マデ短縮シタト致シマス、三十五歳以後
ノ志願兵制度ヲ積極的ニ強化擴大スル、サ
ウスト何レニ致シマシテモ軍人ニ志願ス

ルヤウナ兵ハ元氣旺盛デ精銳ノ粹ヲ抽イタ
モノト思ツテ居リマス、ソコデ三十五歳以
後ノ志願兵ニ付テハ私ハ四十五歳位マデハ
志願兵ニ限ツテ年齢ヲ擴大シテ宜イト思フ、
ソコニ非常ナル裕リガ出來ハシナイカ、彈
力性ヲ持タセルト云フ所ノ妙味ガアルノデ
ハナカラウカト思ヒマス、尙ホ兵力量ガ不
足ヲ告ゲルト致シマス、一旦事變ヤ戰
争ノアル場合ニハ日本ハ國民皆兵デアリマ
ス、即チ兵務ニ從ヒ得ラレル者ハ召集ヲ受
ケルバカリデナク、寧ロ國家存亡ノ場合ニハ
兵役法ノ發動ヲ俟タズシテ直チニ出テ 陸
下ニ一身ヲ捧ゲルノガ日本國民デアリマス、
但シ兵力量ノ不足等モデアリマスカラ、ソコ
ハ先程申上ゲルヤウニ、青年學校否ナ中等
學校以上ノ生徒ニハ一人モ殘サズ軍人精神
ノ徹底ヲ圖リ、サウシテ平生カラ軍事教練
ヲヤツテ置キマス、將來ノ國民ハ軍事教
練ヲ受ケザル者ハ一人モナシト云フコトニ
ナリマスカラ、イザト云フ場合ニハ何時デ
モ兵務ニ從フコトガ出來ルノデアリマス、
尙ホ國民ノ中堅ハ三十五歳カラ五十歳位ノ
間デアリマス、就申四十歳前後ガ最モ中堅
デアリマス、ソコデ此ノ時代ヲ國民トシテ、
家庭人トシテ、産業人トシテ社會的ニ活動
セシムル、即チ政治性ヲソコニ持タセルコ

トガ國家全體ノ立場カラ考ヘテ極メテ有意
義デアルト私ハ考ヘテ居ルノデアリマスガ、
陸軍大臣ハ如何ナル御見解デアリマスカ
○板垣國務大臣 色々御意見ガアツタノデ
アリマスガ、現今ノ兵役法ノ本質上志願兵
ヲ以テ主體トスルモノデアリマセヌガ、
志願ニ依ツテ兵役ニ服スルノ途ガ開カレテ
居ルコトハ御承知ノ通りデアリマス、又平
時ニ於ケル在營年限ハ、只今ハ二年ニナツ
テ居リマスガ、是ハ軍側ト致シマシテハ勿
論國家全般ノコトヲ考ヘテ決定シタノデア
リマスガ、現在ニ於キマシテ軍隊ニ於ケル
教育ガ日進月歩益々複雑化シマシテ、又一兵
卒ニ要求スル所ノ程度モ益々大デアル、斯ウ
云フ現今ノ趨勢ニ於キマシテ、現在ノ二箇
年ノ在營、軍隊教育ハ是非必要デアアル、斯
ウ云フ見解デアリマス、固ヨリ入營前又退
營後此ノ軍事教練ヲ益々現在以上ニ振興ヲ致
シマシテ、サウシテ軍事知識又技能ノ維持
増進ヲ圖ルト云フコトハ、國軍全般ノ質ノ向
上ノ上ニ多大ノ貢獻ヲ齎スモノデアリマス
カラ、軍ト致シマシテモ最モ歡迎シ、又從
來カラ十分協力シテ來タ所デアリマス

○伊東委員 今御尋致シマスルコトハ、本
會議デモ御尋致シマシタガ、重ネテモウ少
シ明ニシテ置キタイト思ヒマスコトハ、出
征兵ノ差別待遇ハ斷ジテ是正スベキモノト
私ハ主張致シテ居リマス、此ノ點如何デア
リマスカ、神聖ナル兵役義務ニ對シテ誰一
人トシテ不平ヲ言フ者ハアリマセヌ、兵役
ハ國民最高ノ義務デアルト同時ニ、忠良ナ
ル臣民ノ持テル最高ノ名譽デアリ、矜持デ
アリマスカラ勿論不平ハナイノデアリマス、
而シテ其ノ負擔モ亦公平デナケレバナラス、
事實此ノ兵役法ハ負擔ヲ公平ニ致シテ居リ
マス、併セテ考ヘナケレバナラスコトハ、
公平ナル待遇ト給與ダト私ハ思フノデアリ
マス、私ハ本會議ニ於テ官公吏、會社員、
職工ガ召集サレタ場合ニハ其ノ當時ノ俸給
ヲ全額又ハ大部分支給サレルコトハ差支サ
イコトデアリマスガ、ソレ以外ノ農村其ノ
他ノ者ニ對スル給與ガナイノデ、ソコニ非
常ナル不公平ガ生ジテ居ル點ニ向ツテ質疑
ヲ致シマシタ、其ノ答ノ中ニ、全部ニ互ツ
テ給與スルコトハ諸般ノ事情カラ困難デア
ルト答ヘラレタノデアリマスルガ、此ノ諸
般ノ事情トハ何か、勿論私モ全額支給ハ財
政上カラ考ヘマシテモ容易デナイ、而モ全
下士兵卒ニ高額ノ支給ヲ爲スコトハ傭兵主
義ニ墮スル虞ガアリマスルカラ、精神的ニ
宜クナイト云フコトハ同感デアリマス、併
シ先程是ハ中村兵務局長ニ申上ゲタノデア

リマスルガ、出征兵ノ中デ會社員其ノ他民間デ仕事スル者ニ、出征中雇主ニ支給サセルコトハ敢テ差支アリマセヌ、既ニ官吏ニハ支給ガシテアリマス、此ノ點ハ餘程考ヘナケレバナラヌ點デハナカラウカト思フノデアリマス、無論支給スルニ越シタコトハナイノデアリマスガ、サウ云ツタヤウナ點ニ不平等ナ點ガ起ツテ居ルノデハナイカ、尙ホ陸軍大臣ハ、支給ヲ受ケザル者ハ軍事扶助法ノ適用ニ依ツテ遺憾ナキヲ期スルト仰セラレテ居リマス、軍事扶助料ハ出征兵士ノ家族ノ生活ヲ扶助スルノガ目的デアリマシテ、御答辯ハ趣旨ガ違ヒマス、是ハ法律上受ケルベキモノヲ當然受ケルニ過ギナイノデアリマス、以上ノ如ク出征軍人ノ不公平ナ給與ヲ緩和スル問題ハ、何トカ對策ヲ講ゼラルベキモノダト私ハ思フノデアリマス、今假ニ農村ノ或ル部落デ十戸ノ出征軍人ガアツテ、其ノ中ノ甲ハ銀行カラ百圓乙ハ役所カラ百二十圓、丙ハ會社カラ百五十圓ヲ毎月受ケルノニ、残り七人ノ出征兵ハ極貧デ苦シデ居ルニモ拘リマセズ、何處カラモ金ヲ送ル所ガナイ、是ハ私ハ必ズ思想上ニ影響ガアルト想像致シマス、併シ考ヘマスルノニ、殊勝ナル出征軍人ノ家族ハ軍事扶助料サヘモ拒絶スルモノガアルノデア

リマス、殊ニ戦地ニ行ツテ見マスルト、軍人ハ此ノ問題ニ付テ笑ツテ黙々トシテ居ル、八圓八十錢ニ上等兵ガ甘ズル所ニ日本兵ノ強サガアルト私ハ考ヘル、而モ黙々トシテ不平モ言ハヌ所ニ千金ノ値打ガアルト共ニ、國民トシテ考ヘナケレバナラヌ點ハ其ノ點デアルト思フ、不平等ヲ言フナラバ私共ハ反對スル、實際此ノ點ニ非常ナル同情ヲ私ハ持ツテ居リマス、但シ金デ遇スルコトハ備兵主義ニナルト云フコトヲ段々御説明ニナツテ居リマス、日本ノ國體、日本精神ニ宜クナイト仰セラレテ居リマス、左様ニ致シマスルナラバ、金ヲ贈ルコトガイケナケレバ何トカ別ト方法デ公平ナル對策ヲ講ズルコトガ非常ニ必要デアルト思ヒマスルノデ、私ハ重ねテ陸軍大臣ノ御答辯ヲ求ムル次第デアリマス

○板垣國務大臣 負擔ノ公正化ヲ圖ルト云フコトハ最も大ナル關心ヲ持ツテ居ル所デアリマス、是ハ先般モ御指摘ニナリ御答シタコトナノデアリマスガ、從來官吏トカ或ハ會社員等ニシテ支給ヲ全部受ケテ居ル者ニハ、依然ソレレト支給セラレンコトヲ希望致シマス、繼續シテ支給セラレンコトヲ希望スルノデアリマス、ソレカラ其ノ他全般ノ者ニ付テソレヲ一樣ニ支給スルト云フコトニ關シテハ、諸般ノ事情ガアツテ困難デアルト云フコトヲ申シマシタニ對シテ、色々財政其ノ他伊東君ノ方カラ又御意見モ出マシタガ、大體サウ云フヤウナ事情デアアルノデアリマス、併シ一面我國ハ家族主義デモアリマスシ、個人ダケノ問題トシマシテハ同様ニヤハリ考ヘル必要ガアルト思フノデアリマシテ、其ノ家庭ニ對シテ軍事扶助法ヲ實施スルト云フコトハ、今ノ御話ノ目的精神ニ反スルコトハ私ハナイト考ヘルノデアリマス、曩ニ兵役義務者竝ニ廢兵ノ審議會ト云フモノガアリマシテ、ソレデ色々答申案ガアリマシタ、ソレハ著々實行シテ居ルノデアリマス、又最近ニ於キマシテハ救護法ヲ改正シ、軍事扶助法ノ適用ニ依ツテ其ノ急ニ應ジテ居ルコトモ御承知ノ通りダラウト思フノデアリマス、尙ホ此ノ外ニ入營中ノ官吏ノ身分ノ保障デアルトカ、或ハ又職ヲ持ツテ居ル人ノ職業ノ保障デアルトカ云フコトニ付テモ目下研究致シマシテ、此ノ負擔ノ公正化ヲ圖ルコトニ付テ出來ルダケノ努力研究ヲ致シテ居ル次第デアリマス

○伊藤委員 只今ノ御答デハ満足出來ナイノデアリマスケレドモ、私ハ別ノ機會ニ於テ色々御意見モ拜聽スルコトニ致シマシテ、其ノ點ハソレデ質問ヲ打切りマスガ、最後ニモウ一點伺ツテ置キマスコトハ、戦地ノ實地ヲ國民ニ理解セシメテ戴キタイト云フ一點デアリマス、國民ヲ代表シテ代議士ガ皇軍慰問ニ段々參リマス、私モ一回參リマシタ、又單獨デモ參リマシタ、占領地區殆ド見セテ戴クコトガ出來マシタガ、洵ニ得ル所ガ多カツタノデアリマス、唯私共皇軍慰問トシテ戦地ニ參リマシテ自ラ不満足ニ考ヘルコトハ、ドウモ衆議院ノ慰問團ガ形式的デアルト云フ此ノ一點デアアル、先ツ戦地ヘ參リマシテ司令官、師團長格ノ方ニ御目ニ懸ツテ慰問ノ辭ヲ申上ゲ、慰問文ヲ差上ゲルト云フ程度デアリマス、一番苦勞ヲシ、一番慰問ヲシテヤラナケレバナラヌ兵隊ハ、必ズ不満ヲ持ツテ居ルモノト私共想像致シマス、斯様ナ形式的ノ慰問ナラバヤラス方ガ宜イデヤナイカ、斯様ニ考ヘルノデアリマス、モウ少シ徹底シタ慰問ヲサレルコトガ必要デハナイカ、此ノ點ニ付テ私ハ南京デ畑司令官閣下トモ色々懇談シタ、其ノ當時丁度漢口作戰ノ當時デ、我が勇敢ナル兵ハ毎日非常ナル戦果ヲ收メツツ進撃シツツアツタノデアリマス、是非一ツ第一線ノ塹壕マデ行ツテ、ソシテ眞ニ苦勞シテ居ル勇士諸君ヲ慰問シタイガ許シテ呉

レト、色々懇談ヲ致シマシタケレドモ、遂ニ作戰上左様ナコトハ相成ラヌト云フ拒絶ヲ受ケマシタ、私共ノ考カラ致シマスルナラバ、サウ云フ熱意ヲ全部ガ持つて居ルノデアリマス、殊ニ軍民一致ト云フコトヲ能ク言ヒマスルガ、軍ヲ理解セシムルコトハ、本當ニ戰爭ヲ見セルコトデアルト思ヒマス、代議士ノ再教育ヲスルト云フコトハ、口デ教育スルヨリモ、戦地ニ全部代ルト、引張ツテ行ク、彈ノ下ニ於テ本當ニ體驗セシムルコトガ一番宜イト考ヘマス、代議士ガ鐵砲ノ彈ニ十人カ二十人當ツテ死シタ時ニ、初メテ本當ニ國民ト云フモノガ目ガ覺メテ、ソシテ何十年ノ戰爭デモ堪ヘ得ル覺悟ガ出來ルト私ハ思フデアリマス、ソコデ陸軍大臣ニ今後御願致シマスルコトハ、鐵砲ノ彈ノ下ニ遣ルコトハ危險デアアルカラ、御遣リニナリマスマイケレドモ、セメテ司令部ヤ師團アタリニ參リマシタ時ハ、一片ノ慰問デハナク、「トラック」ニ代議士ヲ乘セテ田舎マデ引ツ張り込シテ、本當ニ其ノ實情ヲ見セルコトガ一番宜イト思フデアリマス、ソレヲドウモ軍ハ厄介視セラレテ居ル、何故ニサウ云フコトヲ厄介視セラレルカ、私ハ進シテ積極的ニ軍ガ左様ナ希望ヲ容レルコトガ本當デアアル、斯様ニ存ズ

ルノデアリマス、尙ホ廣東モ古領致シマシタ、海南島モ取リマシタ、此ノ場合ニ私ハ戰地ニ少クトモ國民代表者ダケデモ積極的ニ派遣シ、實情ヲ見セテ、眞ニ理解セシメテ、此ノ長期建設ニ對シテ行クコトガ必要ダト思フデアリマス、獨リ代議士バカリデハナク、出來得ル限り各方面ノ代表者、就中教育ニ從事スルヤウナ人達ヲ戰地ニ送ツテ實情ヲ見セルコトヲ必要ダト思ヒマス、眞ノ軍民一致ノ態度ハ本當ノ理解カラ出發シナケレバナラスト私ハ信ジテ居リマスガ、此ノ點ニ對スル陸軍大臣ノ御意見ヲ承リタイト思ヒマス

○板垣國務大臣 戰地ノ實情ヲ普ク國民ニ知ラシメルコトノ必要ナルコトハ、軍ニ於キマシテモ痛感スル所デアリ、又切望スル所デアリマス、隨テ各軍司令部等ニ於キマシテモ、報道部等ヲ設ケ、出來ルダケノ努力ヲ致シテ居ル次第デアリマス、戰地ヘ慰問ニ見エラレル方々ニ對シテモ厄介視スルト云フヤウナ御言葉ガアリマシタガ、是ハサウ云フ風ニ御想像ニナツタカモ知レマセヌガ、恐ラクハ第一線ノ將兵ニ於テハ、一人ト雖モサウ云フ考ヲ持つて居ル者ハ絶對ニナイト私ハ確信ヲ致スデアリマス、但シ何サマ危險ノ地帯デモアリマスシ、第一線ニ近付キマスト輸送機關其ノ他ガ不便デモアリ、不足デモアリ、軍自體デモ不足ヲシテ居ルト云フノガ多ク戰地ノ現狀デアリマスカラ、一々御満足ヲ與ヘルコトハ出來ナカッタト云フコトハ、洵ニ是ハ已ムヲ得ナイ事情ガアツタト思フデアリマス、隨テ私ノ體驗スル所ニ依リマスレバ、内地カラ御出デニナツタ代議士等ノ方デ、親シク原隊ノ各兵卒ニマデ會ツテ戴イタ方モアリマス、或ハ代議士ノ方バカリデナク、市長サントカ、サウ云フ方モアツタノデアリマシタガ、現ニ一兵卒ニマデ會ツテ戴イタ方モアリノデアリマス、ソレハ事情ノ許ス範圍ニ於テ出來ルダケノ御便宜ヲ圖ツテ居ル譯デアリマス、此ノ點ハ誤解ノナイヤウニ希望致シマス

○多田委員 大臣ニ御質問申上ゲル點ガ一點殘ツテ居リマシタノデ、ソレダケヲ簡單ニ伺ヒマスガ、戰時ニナリマスト短期現役兵廢止ノ結果、小學校教員ニシテ召集サレル者ガ相當多カラウト思ヒマス、其ノ場合ニ國民教育ニモ相當ノ影響ヲ與ヘルコトハ申スマデモアリマセヌ、隨テ此ノ點ニ付テハ十分注意ヲスル必要ガアラウト思ヒマスノデ、此ノ法案提出ノ理由御説明ノ時ニモ御言及ニナツテ居ルヤウデアリマスガ、是ハ當然ナコトト思ヒマスガ、戰時ノ場合ニ應召サレタ小學校教員ノ不足ヲ如何ニシテ補給スルヤ、是ハ文部省ノ所管ニナルカモ知レマセヌガ、私ハ成べく影響ヲ少クシタイト云フ希望ヲ持つて居リマス、此ノ點ニ對シテ大臣ノ御考ヲ承ツテ置キタイト思ヒマス

○板垣國務大臣 將來戰ニ於キマシテハ、第一線ニ出ル者モ擴大スル、又後方デ生産ニ從事シ、其ノ他國力ヲ維持スル爲ニ働ク者モ自然擴大シナケレバナラス、ソレ等ノ人的資源ヲ如何ニ配置シ、戰時ニナツテモサウ云フ國家ノ當然必要トスル各般ノ專柄ガ遲滞ナク行クト云フコトハ、ヤハリ人ノ總動員ト云フ見地カラ、平素カラ計畫ヲシテ置カナケレバナラスコトニナルノデアリマス、隨ツテ政府ニ於テモ其ノ點ヲ研究シテ居ル次第デアリマス、軍ト致シマシテモサウ云フ場合ヲ顧慮致シマシテ、實際教育ニ支障ヲ生ゼシメナイヤウニ、召集ニ當ツテモ其ノ召集技術上ニ於テ手加減ヲスルサウ云フヤウナ用意ヲ持つて居ル次第デアリマス

第六類第二號 軍用自動車検査法案委員會議錄

第八回 昭和十四年二月二十二日

○多田委員 是ハ軍ノ何ト申シマスカ、召集上ノ技術ト云フコトデアリマシテ、餘リ斯ウ云フコトヲ突込シテ御質問申上ゲルコトモ如何カト思ヒマスカラ、先ヅ只今ノ御

三五

答辯ニ満足ヲ致シテ置キマス、唯繰返シテ申シマスガ、國民教育固ヨリ重大デアリマスカラ、此ノ點ニ支障ノナイヤウニ御注意ヲ御願致シテ私ノ質問ヲ終リマス

○田村委員 私ハ大臣ニ御尋スルノデスカラ、極メテ要點ダケヲ摘ンデ、皇軍ノ方針ニ關スル件ヲ承リタイト思フノデアリマス、尙卒簡單デ宜シウゴザイマスカラ、明確ニ御答ヲ願ヒタイノデアリマス

第一ハ今回ノ事變、是ハ所謂八紘一字ノ精神ニ基イテ東亞ノ新秩序ヲ建設スルト云フコトデ、現在長期建設ニ入ツテ居ルノデアリマス、ソレデ今後我國ノ國防ハ東亞ノ全體ヲ打ツテ一丸トスル國防計畫、國防ノ方針ヲ立テテ行カナケレバナラヌト思ヒマス、ソコデ兵ノ訓練ト云フコトモ、此ノ東亞全體ヲ打ツテ一丸トスル國防線ヲ基準トシテ施サナケレバナラヌト思フノデアリマス、此ノ兵ノ訓練ヲ從來ハ内地デヤツテ居リマシタガ、今後ハ全部之ヲ大陸ニ於テ訓練スルヤウニシナケレバナラヌ、駐兵ハ固ヨリノコトデアリマスガ、全部ノ兵ヲ大陸ヲ打ツテ一丸トスル、東亞ヲ打ツテ一丸トスル意味ニ於テ、大陸ニ於テ訓練スル、殊ニ大陸ニハ或ハ今後モ「ゲリラ」ト云フモノガアルデセウ、或ハ匪賊ト云フモノモ出テ來マ

セウ、是等ヲ討伐スル上ニ於テモ、其ノ土地ニ於テノ訓練ヲ經テ居レバ、十分其ノ效果ヲ發揮シ得ルト思フノデアリマス、ソコデ此ノ東亞ヲ打ツテ一丸トスル國防計畫ノ内容ヲ爲ス兵ノ訓練、之ニ對スル今後ノ軍ノ方針ニ付テ承リタイノデアリマス

○板垣國務大臣 今後長期建設ニ伴ヒマシテ、相當長期間ニ互ツテ支那ニモ駐兵ヲシナケレバナラヌ、又一方北ニモ備ヘナケレバナラヌト云フコトカラ見マシテモ、自然駐兵ハ大陸ニ重點ヲ置カナケレバナラヌ、斯ウ云フ状態ニナルノデアリマス、隨テ從來ノ如ク内地ニ師團ヲ置イテ、滿洲ニ出シタ師團ト交代スル、或ハ又動員ノ際ニ初メテ一舉ニ送ルトカ云フヤウナ方法ハ、是ハ改メナケレバナラヌト云フ趨勢ニアリマス、隨テ教育モ亦大陸ニ於テ行ハナケレバナラヌ、初メカラ大陸ノ兵營ニ入營スルト云フヤウナコトモ、自然生ジテ來ルモノト考ヘテ居リマス

○田村委員 大體諒解致シマシタガ、願クバ徵兵サレタ者全部ヲ大陸デ訓練スルヤウナ方針ヲ確立セラレンコトヲ希望致シテ置キマス

第二ハ、先程伊東君カラ一寸御尋ガアリマシタカラ、簡單ニ申上ゲタイノデアリマス

ガ、志願兵制度ヲ擴充スルコトニ依ツテ、皇軍ノ内容ヲ充實シテ貫ヒタイト云フ希望ヲ私ハ持ツテ居リマス、ソコデ軍ノ建前トシテ、上ニハ士官學校、大學ヲ出タ者ヲ幹部トシ、其ノ中間ニ自ラ進ンデ兵トナツテ國防ニ任ジタイト云フ熱烈ナ意思ヲ持ツタ志願兵ヲ下級幹部ニ置イテ、其ノ下ニ徵兵シタ兵ヲ置クト云フコトデ、力強イ皇軍ノ組織ヲシテ貫ヒタイト云フ考カラ、志願兵制度ヲ擴充スル意味ニ於テ、現在ノ志願兵制度ニ對スル待遇ヲ良クシテハドウカ、大體之ヲ擴充スル上ニ、殊ニ此ノ頃ハ軍ガ機械化シテ來テ居リマス、或ハ飛行機トカ、或ハ自動車、「タンク」ト云フヤウナ、機械化部隊ト云フモノガ非常ニ殖エテ來テ居リマスカラ、是等ニ對シテハ、主トシテ志願兵ヲ長ク訓練シテ充當スルト云フコトガ有效デハナイカト思フノデアリマス、現在海軍ノ方デハ兵種ニ依ツテ十五年マデ志願兵ヲ採ツテ居ルヤウデアリマスガ、陸軍ハ大體適齡未滿ハ十七年トナツテ居リマス、之ヲ擴充シテ十五年ニスル、機械化部隊、飛行部隊ハ十五年デ志願兵ヲ採ル、ソレニ對スル御用意御方針ガアリヤ否ヤ、又志願兵制度ヲ擴充スル意味ニ於テ、是等ノ階級ヲ――

トヲ承ツテ居リマスガ、其ノ中デモ優秀ナ者ハ特ニ大將マデ行ツテモ宜カラウト思フ、士官學校ナドノ入學率ヲ見マシテモ、希望者ハ非常ニ居ルガ、中々採用率ガ之ニ伴ハナイ、少イ時ニハ二十分ノ一、現在デモ十分ノ一ト云フ工合デ、皇軍ニ入ル希望ヲ持ツテ居ナガラ入レナイ者ガ非常ニ多イ、斯ウ云フ者ハ一面志願兵ニ採用スルト云フ途ヲ開イテ、優秀ナル者ハ大將ニマデモ昇リ得ルト云フ途ヲ開イテ行キマスナラバ、皇軍充實ノ上ニ、國ヲ打ツテ一體トナルト云フ上ニ、非常ニ價值ガアルト思フノデアリマスガ、此ノ志願兵制度ノ待遇ノ現狀ト、將來ニ對スル年齡並ニ階級的待遇ノ御方針ガアリマスレバ承リタイ

○板垣國務大臣 幹部ノ補充ト致シマシテハ特別志願ノ將校、是ハ可ナリ多數ニ採用シテ居リマス、而シテ優秀ナル者ハ進級ノ途ハ十分開ケテ居リマスノデ、特別志願ノ者ハ何處マデシカ昇セナイト云フヤウナ規則ハゴザイマセス、兵ノ方デアリマスガ、兵役法ニモ志願ニ依ツテ兵役ニ服スルコトガ出來ル規定モゴザイマスシ、現ニソレヲ採用シテ居ルノデアリマス、又最近ニ於キマシテハ少年航空兵ト云フモノモ採用シテ居リマス、兵ノ在營年限ニ付テハ、更ニ其

現在ハ承リマスト大佐マデ行ケルト云フコ

ノ人ガ下士官ニナリ進級ヲ致スト云フコト
ニナリマスレバ、自然其ノ職務デアアル専門
的ノ技術ニ永ク携ツテ、將校ニナルコトガ
出來ルノデアリマス、兵卒ダケデ十年モ十
五年モ留マルト云フコトハゴザイマセヌ、
年齢ノコトハ今ノ兵役法全般ノ關係——少
年航空兵ノ方ハ現在採用シテ居ル通りデ、
是ハ十七歳トナツテ居リマス

○田村委員 航空兵ノミデナク、一般ニ志
願兵ノ年齢ヲ低下シテヤラレタラドウカト
云フ私ノ質問デアツタノデアリマスガ、其
ノ點ニハ觸レラレナツタヤウニ思ヒマス

第三點トシテ、徵兵制度ヲ樺太ニ施行シ
タラドウカ、或ハ朝鮮ニ施行シタラドウカ
ト云フ聲ガ既ニ前カラアリマス、況シテ今
後ハ東亞ノ新秩序ヲ建設スル、東亞ヲ打ツ
テ一丸トスル國防計畫ヲ立テナケレバナラ
スト云フ場合ニ、皇恩ニ浴シテ居ル朝鮮、
樺太、臺灣、是等ニ徵兵制度ヲ適用スルコ
トモ、十分ニ研究スベキコトデアルト思フ
ノデアリマス、私ノ承知スル所ニ依リマス
ト、朝鮮ニハ既ニ志願兵制度ヲ採用シテ居
ルト云フコトデアリマスガ、現在ノ朝鮮ニ
行ハレテ居ル志願兵制度ノ現狀、ソレカラ
今申上ダゲテ徵兵制度ヲ朝鮮、樺太、臺灣等
ニ適用スルコトニ關スル御見解、御方針ヲ

承ルコトガ出來レバ幸デアリマス

○板垣國務大臣 樺太ハ内地デアリマスカ
ラ、是ハ問題アリマセヌ、朝鮮ハ今御話ノ
通りニ志願兵制度ニナツテ、昨年ハ四百人
募集シテ二百人入營セシメマシタ、尙ホ更
ニ朝鮮當局ニ於テハ之ヲ二百人、六百人ト
増加スル計畫デアリマス、現在マデノ所、
其ノ實施ノ成績ハ良好デアリマス、更ニ之
ヲ徵兵制度ニスルカドウカト云フコトハ、
現在ノ志願兵制度ノ實績ニ鑑ミテ是ハ實行
シタイ、臺灣ハマダ民度、其ノ事情等ヲ異
ニ致シマスルノデ、現在ニ於テハ其ノ時機
デナイト、斯ウ考ヘテ居リマス

○田村委員 次ニ伺ヒタイノハ滿洲國ノ警
備ノ問題デアリマスガ、滿洲國ニハ滿洲國
軍ト云フモノガ、今育テラレツツアル、滿
洲國ノ警備ニ當ツテ、皇軍ト滿洲國軍トノ
關係ハ、將來ドウ云フ風ニシテ行カレルカ
○板垣國務大臣 是ハ日滿議定書ノ精神ニ
從ヒマシテ共同防衛、隨テ滿洲ニ於キマシ
テハ、日滿兩國ノ軍ハ共同ヲシテ軍ニ從事
ヲスル、斯ウ云フコトニナツテ居リマス

○田村委員 モウ私ノ質問ハ是デ大體盡キ
マシタガ、最後ニ此ノ機會ニ承ツテ置キタ
イノハ、皇軍百万支那ノ天地ニ活躍シテ居
ル此ノ我國ノ事變ニ乘ジテ「ソ」聯ガ軍ニ蔣政

權ヲ援ケルノミサラズ、我儘ヲヤラウト云
フヤウナ態度ガ時々見エルトハ、國民ノ
憤懣ニ堪ヘナイ所デアリマス、其ノ一例ハ
北洋漁業ノ問題デアリマス、露西亞ハ滿蒙
國境ニ於ケル特ニ我ガ陸軍ノ勢力ト云フモ
ノニ對シテハ、非常ナ懼ヲ常ニ懷イテ居ル
ト、私ハ思ツテ居ル、然ルニ日支事變ガ起
ツタ此ノ虛ニ乘ジテ、我國ガ血ヲ以テ得タ
所ノアノ北洋漁業ニ關スル權益モ旨ク此ノ
機會ニ乘ジテ露西亞ガ取ツテシマフト云フ
ヤウナコトノ現レテ居ルノガ、最近ノ北洋
漁業入札ノ問題デアルト思フノデアリマス、
無論是ハドウスルカト云フコトニナレ
バ、統帥權ニ關スル問題ハ、御伺スル方ガ
無理デアルト思ヒマスルガ、併シ最近ドウ
モ外務省ガ色々折衝シテ居ルガ、中々要領
ヲ得ナイ、已ムヲ得ナケレバ結局自衛出漁
ヲ爲ス以外ニハナイノデヤナイカト云フコ
トガ傳ヘラレテ居リマス、自衛出漁ヲ爲ス
ト云フ場合ニハ、向フガ我儘ヲシテ來レバ、
斷乎タル處置ニ出ルダケノ決意ガ、我國ニ
ナケレバナラス、露西亞ハ私ハ恐ルルニ足
ヲナイト思フ、國內ニ於テハ血ノ齟齬ヲヤ
ツテ、外ニハ強イ「ゼスチユア」ヲヤツテ居
ル、斯ウ云フ強イ「ゼスチユア」ヲヤツテ居
ル露西亞ニ對シテハ、コツチノ決意次第デ、

向フニ一撃ヲ與ヘテ引込マスノハ、易々タ
ルモノデナイト思ヒマス、北洋漁業ガ
愈々自衛出漁ニナツタ場合ニ、向フガ無茶
ヲヤツテ來ル、我儘ヲヤツテ來ル、事變ニ乘
ジテ勝手ナコトヲヤツテ來ルト云フ態度ヲ
示シタ場合ニ、我軍トシテハ斷乎タル態度
ニ出ナケレバナラスト思ヒマス、此ノ血ヲ
流シテ吾々ノ先輩ガ取ツタ權益ノ擁護ニ關
シテ、軍ノ決意ヲ承ルコトガ此ノ際出來レ
バ幸デアリマス

○板垣國務大臣 政府ハ此ノ重大ナル國家
ノ權益問題ニ對シテ、有ユル方法ヲ講ジテ、
飽クマデ我ガ主張ヲ貫徹センコトニ努力シ
テ居ルコトハ御承知ノ通りデアリマス、萬
一ノ場合ニ於テ、最善ノ努力ヲ致ス覺悟ノ
アリマスルコトハ、從來申上ダゲテ通りデア
リマス

○小泉委員 戰爭ヲシテ居ラルル所ノ陸軍
大臣ガ、如何ニ御忙シイカト云フコトハ、
承知ヲ致シテ居リマスルカラ、極メテ簡單
ニ一二ノ質問ヲ致シマシテ、大臣ノ御見解
ヲ伺ツテ置キタイト思フノデアリマス、國
民生活ノ安定ト云フコトハ、廣義國防ノ見
地カラ、ココ數年來特ニ陸軍ニ於テ唱導シ
テ居ラルル所デアルト考ヘテ居リマス、今
回ノ事變ガ起リマシテ以來、入營出征者家

族ノ生活ニ、特ニ關心ヲ用ヒラレマシテ、
軍事扶助法等萬遺憾ナキヲ期セラレテ居ル
コトハ、萬々承知致シテ居リマススケレドモ、
長期體制下ノ現状カラ考ヘマシテ、入營、
出征者及ビ其ノ家族ニ對スル生活安定ヲ目
標トスル扶助法適用ノ範圍ヲバ、或ハ擴大
ヲセラルルカ、又是ガ徹底化ヲ更ニ考慮セ
ラルノ必要ハアリマセヌカ、此ノ點ヲ御
伺申上ゲマス

○板垣國務大臣 御同感デアリマス、最近
救護法ヲ改正致シマシテ、扶助法ニシテ、
其ノ擴充ヲ圖ツタ次第デアリマス、將來ト
モ出來ルダケ努力シタイト考ヘテ居リマス

○小泉委員 私大正十三年ニ、航空工兵ト
シテノ現役入營ノ體驗ヲ持ツテ居リマスカ
ラ、其ノ點カラ一言所感ヲ申述ベテ見タイ
ノデアリマススケレドモ、此ノ意見ヲ省略
致シマシテ、現役兵卒ノ在營中ノ俸給ヲ、
各種ノ社會情勢ニ順應致シマシテ、今日只
今出來ルダケ急速ニ引上ゲル必要アリト、
痛感ヲ致シテ居リマスルガ、此ノ點如何御
考デゴザイマセウカ

○板垣國務大臣 兵卒ノ俸給モ只今御意見
ノ通りニ、社會各種ノ情勢ニ順應シナケレ
バナラヌモノトハ存ジテ居リマススケレド
モ、目下ノ所之ヲ引上ゲル考ハ持ツテ居リ

マセヌ
○小泉委員 此ノ點ハ政府委員ノ方カラ御
答辯ヲ願ヘルト思ヒマスルガ、今回ノ改正
法ガ實施サレマシタ曉ニ於キマシテ、短期
現役ヲ廢止サレタル小學校教員ヨリノ入營
者ト、普通現役兵トノ、入營中ノ進級ノ程
度ヲ御説明ヲ願ヒタイトデアリマス

○中村政府委員 只今ノ短期現役兵ガ、兵
トシテ愈、入營ヲスルト云フヤウナコトニ
ナリマスレバ、爾後ノ待遇、進級、總テ一般
兵ト同一デアリマス、何等變リハアリマセ
ヌ、其ノ技術ニ應ジマシテ、或ハ下士官ト
ナリ、上等兵トナル、又幹部候補生ヲ志願
致シマシテ、其ノ試験ニ合格ヲシテ採用ヲ
セラレテ甲種トナリ、乙種トナリ、又甲種
ハ將校ニモナル、總テ同一デゴザイマス、
唯一ニ其ノ差ノ付ク所ハ、本人ノ技術ト努
力ノ如何ニ依ルコトデアリマス

○小泉委員 只今ノ兵務局長ノ御答辯ニ對
シマシテハ、兵營内ノ實力ニ依ル所ノ機會
均等ノ見地カラ、私最モ満足ノ意ヲ表スル
次第デアリマス、飽クマデモ兵營内ハ、學術
並ニ其ノ精神的、肉體的ノ訓練ノ途上ニ於
ケル、眞ニ人間ノ實力ノ競争ノ天地ガ軍隊
生活ノ中ニ原則トシテ織込マレテ行カナケ
レバナラスト考ヘテ居リマス、往々ニシテ

教育アル者ト、教育ナキ者トノ差——現下
ノ社會ニ於キマシテハ教育アル者ハ富メル
階級デアリ、教育ナキ者ハ貧シキ階級デア
ト云フヤウナ結果ヲ來シテ居リマシテ、此
ノ關係カラ今マデノ一年志願兵ト云フガ如
キ者ト、徴兵検査ヲ受ケテ其儘入營シタ者
トノ間ニ、實力ニ依ル昇級ノ機會均等ガ與
ヘラレズシテ、幾多ノ思想上ノ不安ノアツ
タコトヲ、私共ハ見受ケテ居ルノデアリマ
ス、此ノ點ニ於テ師範學校ヲ卒業シタ者モ、
高等小學校ケ徴兵検査ヲ受ケテ入ル者
モ、軍隊内ニ於ケル其ノ本人ノ實力ニ依ッ
テ昇進ノ途ヲ同ジクスルト云フ點ハ、洵ニ
軍隊教育ノ、殊ニ思想上ノ中心ヲ成スモノ
デアリマシテ、此ノ點ニ對シテハ贊意ヲ表
シ、今後外ノ兵種ノ問題ニ付テモ、軍隊内
コソハ本人自信ノ實力ノ天地デアルト云フ
コトニ主眼點ヲ置イテ、軍隊教育ヲサレン
コトヲ希望シテ置キマス

最後ニ一點御同致シタイトハ、是ハ陸軍
大臣カラ御答辯ヲ御願シタイトデアリマスガ、
軍需工業ノ躍進ヲ見マシテ以來、資本家重役
ハ言フヲ俟タズ、軍需工業ノ従業員ガ、素晴シ
キ景氣ノ波ニ乘リマシテ、嘗テハ想像モ出來
ナカツヤウナ莫大ナル收入ヲ得テ居ルノガ
現状デアリマス、而モ是等ノ收入ヲ得タル軍

需産業關係者ノ一部ノ人々ガ料理屋、待合
溫泉地其ノ他ノ歡樂街ニ盛シニ出入シ、全
國ヲ通ジテ軍需品關係者ノミ時局ニ逆行ス
ル殷盛ヲ續ケ、日ニ月ニ其ノ度ヲ増シツツ
アルノデアリマス、實例ヲ擧ゲルナラバ精
神的、道德的方面ニ於テ、國賊ニモ比スベ
キ驚クベキ事實ガアルノデアリマススケレド
モ、私ハ敢テ其ノ事實ヲ此ノ席上ニ申上ゲ
ルコトハ控ヘマス、平和産業關係ノ犧牲者
ハ姑ク措クト致シマシテモ、國家ノ爲ニ身
命ヲ擲ツテ大陸ニ奮戦セラレル勇士ノ諸君
ガ、戰地ニ在リマシテ此ノ銃後ノ状態ヲ
段々ト知ルニ及ビ、又凱旋セラレル勇士ノ
諸君ガ、銃後ニ於ケル殷盛産業者ノ状態ヲ
見聞スルニ及ンデ思想上ノ影響ハ、洵ニ
憂慮ニ堪ヘザルモノガアルト私ハ信ジテ居
ルノデアリマス、軍需工業關係者ガ、國難
ニ際會セルニモ拘ラズ餘リニ儲ケ過ギル、
又政府ガ餘リニ儲ケサセ過ギハシナイカト
ノ國民ノ疑念ヲ一掃シ、萬民等シク戰爭ノ
犠牲ヲ負擔スルノ立場カラ、精神的熱情ヲ
振作スルノ方圖ニ出ズルノ緊要ナルヲ、痛
感致シテ居ルノデアリマス、陸軍大臣ノ之
ニ對スル御所見ハ如何デゴザイマセウカ、
私ハ先程申上ゲタ通り、自ラ苦學生活
中、學業ノ中途ニ於キマシテ、大正十三年

現下
需産業關係者ノ一部ノ人々ガ料理屋、待合
溫泉地其ノ他ノ歡樂街ニ盛シニ出入シ、全
國ヲ通ジテ軍需品關係者ノミ時局ニ逆行ス
ル殷盛ヲ續ケ、日ニ月ニ其ノ度ヲ増シツツ
アルノデアリマス、實例ヲ擧ゲルナラバ精
神的、道德的方面ニ於テ、國賊ニモ比スベ
キ驚クベキ事實ガアルノデアリマススケレド
モ、私ハ敢テ其ノ事實ヲ此ノ席上ニ申上ゲ
ルコトハ控ヘマス、平和産業關係ノ犧牲者
ハ姑ク措クト致シマシテモ、國家ノ爲ニ身
命ヲ擲ツテ大陸ニ奮戦セラレル勇士ノ諸君
ガ、戰地ニ在リマシテ此ノ銃後ノ状態ヲ
段々ト知ルニ及ビ、又凱旋セラレル勇士ノ
諸君ガ、銃後ニ於ケル殷盛産業者ノ状態ヲ
見聞スルニ及ンデ思想上ノ影響ハ、洵ニ
憂慮ニ堪ヘザルモノガアルト私ハ信ジテ居
ルノデアリマス、軍需工業關係者ガ、國難
ニ際會セルニモ拘ラズ餘リニ儲ケ過ギル、
又政府ガ餘リニ儲ケサセ過ギハシナイカト
ノ國民ノ疑念ヲ一掃シ、萬民等シク戰爭ノ
犠牲ヲ負擔スルノ立場カラ、精神的熱情ヲ
振作スルノ方圖ニ出ズルノ緊要ナルヲ、痛
感致シテ居ルノデアリマス、陸軍大臣ノ之
ニ對スル御所見ハ如何デゴザイマセウカ、
私ハ先程申上ゲタ通り、自ラ苦學生活
中、學業ノ中途ニ於キマシテ、大正十三年

徴兵検査ニ甲種合格ノ榮譽ヲ有シ、航空兵
ヲ志願致シマシテ二箇年ノ現役ヲ勤メ、伍
長勤務上等兵トシテ 大元帥陛下ノ股肱ノ臣
タルヲ誇ト致シテ居ル者デアリマス、炎熱
酷暑ニ耐ヘ、敵彈雨飛ノ裡ニ 天皇陛下萬
歳ヲ叫ンデ吶喊スル忠勇義烈ナル戰友ノ心
事ニ想ヒ到リマシテ、敢テ此ノ質問ヲ爲
シ、陸軍大臣ノ御所見ヲ承ラントスル者デ
アリマス

○板垣國務大臣 國內ノ調整ト云フ問題

ハ、平沼總理ノ施政方針ノ中ニモ掲ゲテア
ルノデアリマスガ、只今御話ノ通りニ、現
在跛行的狀態ニアルト云フコトハ、洵ニ遺
憾ナコトデアルト考ヘルデアリマス、軍ト
致シマシテハ軍需關係ノ軍内ノ各機關ハ勿
論、又管下直接關係アル會社等ニハ、監督
將校ヲ配置シテアリマスノデ、其ノ將校ヲ
通ジテ今ノヤウナ點ニ付テ、十分物心兩方
面カラノ監督ヲ致シ、今ノヤウナ點ノ一掃
サレルコトヲ、折角努力シテ居ル次第デア
リマス、監督將校ヲ配置シテ居ル會社等
ハ、幾ラモナイノデアリマスガ、其ノ他ノ
會社、工場等ニ付キマシテモ、厚生省當局
ト十分連絡ヲ取リマシテ、只今御指摘ニナ
リマシタヤウナコトヲ一掃スルコトニ、折
角努力致ス積デアリマス

○小泉委員 只今大臣カラ、此ノ軍需工業

關係者ノ他ニ及ボス、影響ヲ考慮サレマシ
テ、其ノ一掃ニ十分ナル努力ヲスルトノ御
言明ガアツタノデアリマス、私ハ軍當局ヲ
信賴致シマシテ、只今ノ答辯ニ十分満足致
ス者デアリマスルケレドモ、尙ホ希望トシ
テ一言申上ゲテ置キタイコトハ、此ノ軍需
工業關係者ノ莫大ナル收入ニ依ル所ノ時局
逆行ノ風潮ハ、恐ラク戰爭中竝ニ戰後ヲ通
ジテノ、國民思想ノ問題ノ重心ヲ成スモノ
デアルト、私ハ憂ヘテ居リマス、殊ニ戰後
ニ起ルベキ所ノ國民思想ノ問題ヲ考ヘマス
ル時ニ、是非共軍當局ニ於キマシテハ、是等
ノ不平ナカラシメ、戰爭ニ依ツテ戰爭成金
ガ出ルト云フガ如キ、國民ノ不安ヲ一掃セ
ラレマシテ、長期戰ノ根本ヲ成ス國民思想
ノ健實ニ、今日カラ用意セラレシコトヲ切
ニ希望致シマシテ、私ノ大臣ニ對スル質問
ハ之ヲ以テ終リマス

○山本委員長 本日ハ是ニテ散會致シマス、

尙ホ明日ハ午前十時ヨリ開會致シマス

午後五時五十分散會

昭和十四年二月二十二日印刷

昭和十四年二月二十三日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局